

令和7年度
市民人権意識調査
—調査結果報告書—

令和8年（2026年）4月
横須賀市

目次

1. 調査目的および調査概要等	1
(1) 調査目的	
(2) 調査概要	
(3) その他	
2. アンケート結果のまとめ	2
3. 集計結果	5
3-0 属性	5
(1) 性別【F 1】	
(2) 年齢【F 2】	
(3) 働き方等【F 3】	
(4) 結婚の有無【F 4】	
(5) 未成年の子の有無【F 5】	
3-1 人権問題への関心	9
(1) 関心のある人権問題【問1, 2】	
(2) 世の中の人権意識は高くなっているか【問3】	
(3) 横須賀市の人権に関する取り組みで知っているもの【問4】	
3-2 いじめや差別	23
(1) 他人に対して「いじめ」や「差別」をしたことがあるか【問5】	
(2) 「いじめ」や「差別」をされたことがあるか【問6】	
3-3 様々な人権問題	35
(1) 子どもの人権が守られていないと感じること【問7】	
(2) 高齢者の人権が守られていないと感じること【問8】	
(3) 障害者の人権が守られていないと感じること【問9】	
(4) 「部落差別」、「同和問題」などの認知、初めて知ったきっかけ【問10】	
(5) 被差別部落(同和地区)出身の人との結婚【問11①, ②】	
(6) 部落差別(同和問題)で問題があると思うもの【問12】	
(7) 外国人の人権が守られていないと感じること【問13】	
(8) エイズやハンセン病、新型コロナウイルスなどの感染者の人権を守るために必要なこと【問14】	
(9) インターネット上で人権問題があると感じること【問15】	
(10) 地震などの災害時において人権問題があると感じること【問16】	

3-4	人権を守るための意識	92
	(1) 人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこと【問 17】	
	(2) 人権問題に関する知識や情報は何かから得たか【問 18】	
	(3) 人権意識の向上のために力を入れるべき取組み【問 19】	
	(4) 人権全般に関するご意見【問 20】	
4.	アンケート用紙	108

1. 調査目的および調査概要等

(1) 調査目的

市民の人権に対する意識を確認するとともに、横須賀市人権施策推進指針の改定へ向けて、市民の声を把握し、取り入れていくための基礎資料とし、今後の施策の方向性や評価に活用する。

(2) 調査概要

1) 調査実施時期

令和7年6月30日(月)から7月29日(火)まで

2) 調査対象

令和7年5月末日現在の横須賀市住民15歳以上の男女各1,000人、計2,000人を無作為に抽出

3) 配布・回収

- ・ 発送：郵送
- ・ 回収：紙の調査票による回収もしくはインターネット（電子申請システム）による回収
- ・ 調査票の発送および回収は人権・ダイバーシティ推進課が行う
- ・ 回収件数（率） 850 件（回収率 42.5%）
 - うち、郵送での回収 543 件
 - インターネットでの回収 307 件

(3) その他

- ・ 調査の企画・分析は、市長室人権・ダイバーシティ推進課で実施した。
- ・ 基数となるべき実数は、各設問に対する有効回答者数である。
- ・ なお、結果数値は表章単位未満を四捨五入しているため、計と内訳の合計が必ずしも一致しない。
また、複数回答の設問では、割合の合計が100.0%を超える。

2. アンケート結果まとめ

2-1. 人権問題への関心について（問1～問4）

○ 関心の高い人権問題（上位）

- ・「インターネットによる人権侵害」 48.0%
- ・「子どもの人権」 40.6%
- ・「障害者の人権」 33.6%
- ・「男女共同参画（ジェンダー平等）」 33.5%

○ 人権意識は高くなっていると感じているか

- ・「高くなっていると感じる（どちらかといえば感じるを含む）」は68.2%、「高くなっていると感じない（どちらかといえば感じないを含む）」は31.8%であり、人権意識は高くなっていると感じている方が多かった。

○ 市で行っている人権に関する取組みについての認知度（上位）

- ・「ピンクシャツデー運動」 23.5%
- ・「広報紙（誌）への記事の掲載」 22.8%
- ・「講演会・講座の開催」 13.1%
- ・一方で「知っているものはない」の割合は43.1%であった。

2-2. いじめや差別に関して（問5～問6）

○ いじめや差別をしたことがあるか。した場合はその理由（上位）

- ・「容姿」 9.8%
- ・「障害（精神、身体、知的）」 5.2%
- ・「人種・民族・国籍」 4.6%
- ・「思想・信条・宗教」 4.5%
- ・「いじめや差別をしたことはない」の割合は69.2%であった。

○ いじめや差別をされたことがあるか。された場合はその理由（上位）

- ・「容姿」 16.6%
- ・「特に理由なくいじめや差別をされた」 14.9%
- ・「学歴・出身校」 6.7%
- ・「家柄・家庭環境」 5.8%
- ・「いじめや差別をされたことはない」の割合は52.8%であった。

2-3. 様々な人権問題への関心（問7～問16）

○ 子どもの人権が守られていないと感じること（上位）

- ・「親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること」 44.6%
- ・「子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること」 38.8%
- ・「生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること」 30.6%

○ 高齢者の人権が守られていないと感じること（上位）

- ・「悪徳商法や詐欺などの被害を受けること」 34.0%
- ・「病院や福祉施設内において、虐待があること」 23.5%
- ・「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」 21.8%

○ 障害者の人権が守られていないと感じること（上位）

- ・「差別的な発言や行為を受けること」 31.3%
- ・「じろじろ見られたり、避けられたりすること」 29.3%
- ・「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」 28.4%

○ 同和問題についての認知度と知るきっかけ（上位）

- ・「知っている」は（61.2%）、「知らない」は（38.8%）であった。
- ・知ったきっかけとして多かった回答は下記のとおりであった。
- ・「学校の授業で教わった」 26.9%
- ・「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」 24.9%
- ・「家族(父母、きょうだいなど)から聞いた」 16.3%

○ 被差別部落（同和地区）出身の人との結婚について

- ・自分の結婚相手の場合、「相手の出身は気にせず、結婚する」（42.3%）が最も多く、「結婚は取りやめる」（3.7%）が最も低かった。「わからない」の割合は35.4%であった。
- ・自身の子どもの結婚相手の場合、「子どもの意志を尊重し、認める」（55.9%）が最も多く、「絶対に認めない」（2.1%）が最も低かった。「わからない」は26.8%であった。
- ・自身の子どもの結婚相手の場合の「子どもの意志を尊重し、認める」は、自身の結婚相手の場合の「相手の出身は気にせず、結婚する」よりも13.6%高かった。

○ 部落差別（同和問題）で問題があると思うこと（上位）

- ・「地域社会で不利な扱いを受けること」 26.2%
- ・「就職・職場において不利な扱いを受けること」 20.7%
- ・「差別的な発言や行為を受けること」 20.5%

- 外国人の人権が守られていないと感じること（上位）
 - ・「就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること」 24.5%
 - ・「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること」 23.1%
 - ・「名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること」 19.4%

- エイズやハンセン病、新型コロナウイルスなどの感染者の人権を守るために必要なこと（上位）
 - ・「市民一人ひとりが感染症等に関する正しい知識を身につけること」 61.3%
 - ・「学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実させること」 43.3%
 - ・「患者等のプライバシー保護を徹底すること」 38.8%

- インターネット上で人権問題があると感じること（上位）
 - ・「誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」 65.1%
 - ・「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」 40.6%
 - ・「人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと」 34.1%

- 災害時において人権問題があると感じること（上位）
 - ・「避難生活でプライバシーが守られないこと」 51.2%
 - ・「デマや風評などによる差別的な言動が起きること」 50.5%
 - ・「避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと」 32.1%

2-4. 人権を守るための意識について（問 17～問 20）

- 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこと（上位）
 - ・「人権についての正しい知識を身に付けること」 63.9%
 - ・「他人の立場や権利を尊重すること」 54.8%
 - ・「昔からのしきたりや先入観、誤った固定観念にとらわれないこと」 53.2%

- 人権問題に関する知識や情報は何かから得たか（上位）
 - ・「テレビ・ラジオ・新聞」 47.1%
 - ・「インターネット」 37.3%
 - ・「学校の授業」 36.8%

- 人権意識の向上のために力を入れるべき取組みはどのようなことか（上位）
 - ・「学校における人権教育の充実」 60.0%
 - ・「社会における不公平や格差解消のための行政施策の充実」 39.4%
 - ・「人権侵害に対する救済や支援」 23.9%
 - ・「人権施策に関する行政の指針をより良いものにする」 23.6%
 - ・「企業における人権研修の充実」 23.4%

3. 集計結果

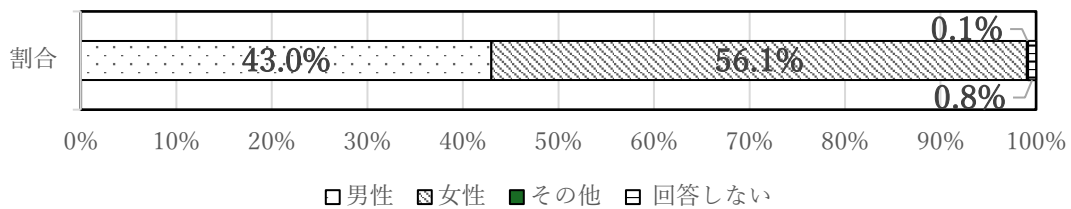
3-0 属性

(1) 性別 【F1】

表 3-0-1

① 性別	回答数	割合
男性	358	43.0%
女性	467	56.1%
その他	1	0.1%
回答しない	7	0.8%
	無回答	17
	無効回答	0
	有効回答数 (n)	833
		100.0%

図 3-0-1

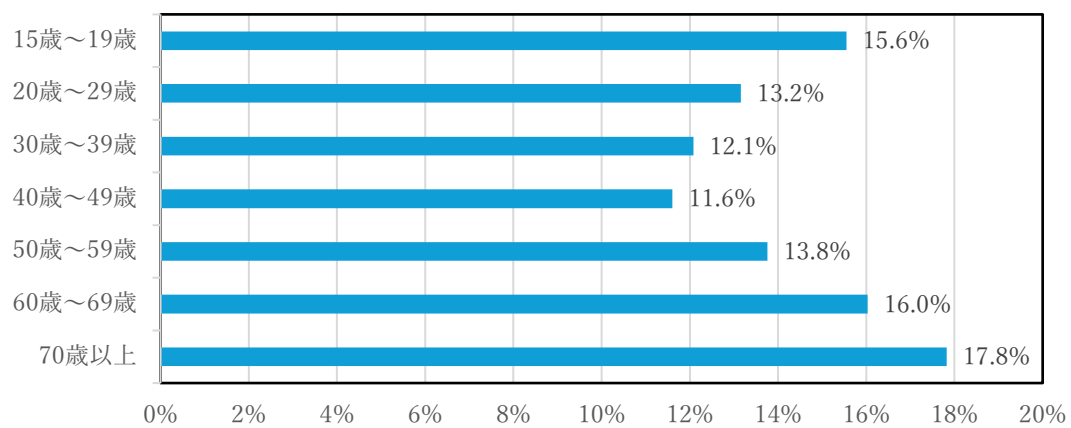


(2) 年齢 【F2】

表 3-0-2

② 年齢	回答数	割合
15歳～19歳	130	15.6%
20歳～29歳	110	13.2%
30歳～39歳	101	12.1%
40歳～49歳	97	11.6%
50歳～59歳	115	13.8%
60歳～69歳	134	16.0%
70歳以上	149	17.8%
	無回答	14
	無効回答	0
	有効回答数 (n)	836
		100.0%

図 3-0-2

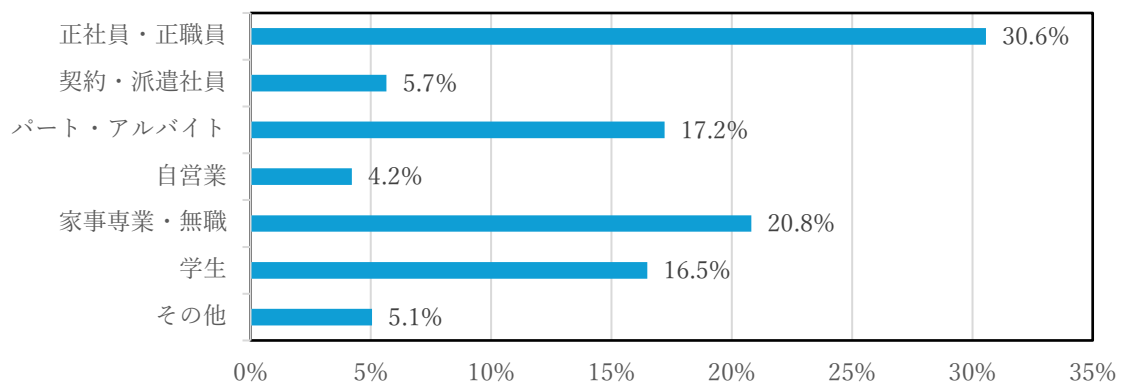


(3) 働き方等 【F3】

表 3-0-3

③ 働き方等	回答数	割合
正社員・正職員	254	30.6%
契約・派遣社員	47	5.7%
パート・アルバイト	143	17.2%
自営業	35	4.2%
家事専業・無職	173	20.8%
学生	137	16.5%
その他	42	5.1%
	無回答	16
	無効回答	3
	有効回答数 (n)	831
		100.0%

図 3-0-3

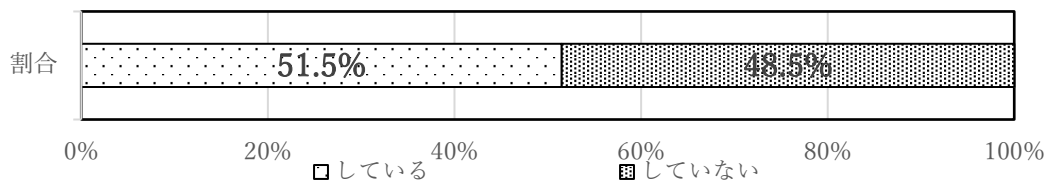


(4) 結婚の有無 【F 4】

表 3-0-4

④ 結婚していますか	回答数	割合
している	429	51.5%
していない	404	48.5%
無回答	17	
無効回答	0	
有効回答数 (n)	833	100.0%

図 3-0-4

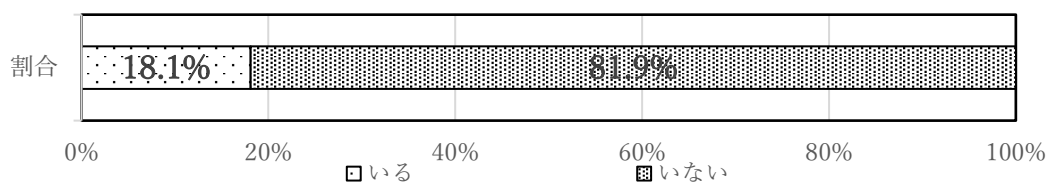


(5) 未成年の子の有無 【F 5】

表 3-0-5

⑤ 未成年（18歳未満）のお子さんはいますか	回答数	割合
いる	151	18.1%
いない	684	81.9%
無回答	15	
無効回答	0	
有効回答数 (n)	835	100.0%

図 3-0-5



3-1 人権問題への関心

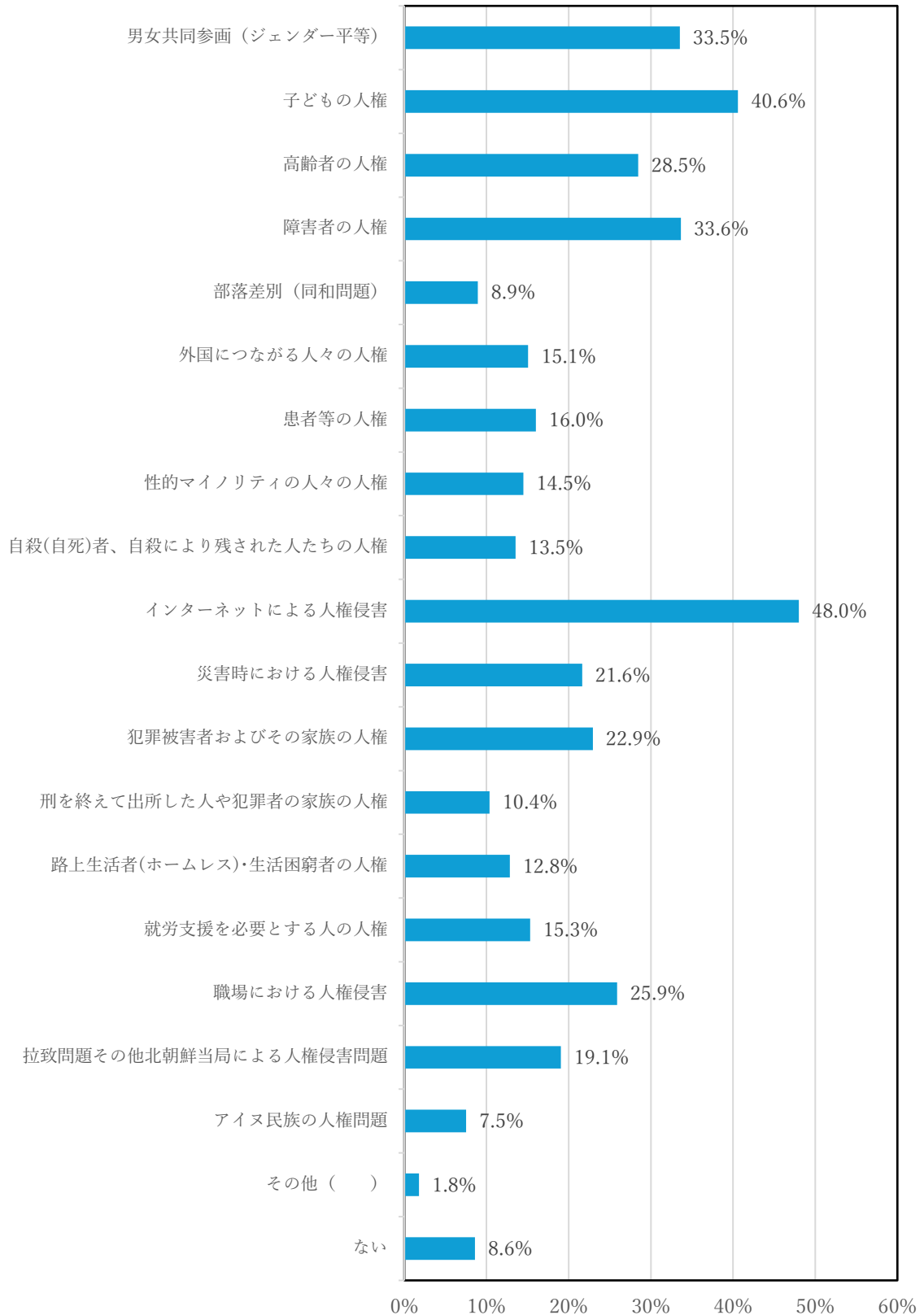
問1 あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(複数回答可)

「インターネットによる人権侵害」(48.0%)が最も多く、「子どもの人権」(40.6%)、「障害者の人権」(33.6%)、「男女共同参画(ジェンダー平等)」(33.5%)が続いた。

表 3-1-1

問1 あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(複数回答可)	回答数	割合
男女共同参画(ジェンダー平等)	285	33.5%
子どもの人権	345	40.6%
高齢者の人権	242	28.5%
障害者の人権	286	33.6%
部落差別(同和問題)	76	8.9%
外国につながる人々の人権	128	15.1%
患者等の人権	136	16.0%
性的マイノリティの人々の人権	123	14.5%
自殺(自死)者、自殺により残された人たちの人権	115	13.5%
インターネットによる人権侵害	408	48.0%
災害時における人権侵害	184	21.6%
犯罪被害者およびその家族の人権	195	22.9%
刑を終えて出所した人や犯罪者の家族の人権	88	10.4%
路上生活者(ホームレス)・生活困窮者の人権	109	12.8%
就労支援を必要とする人の人権	130	15.3%
職場における人権侵害	220	25.9%
拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題	162	19.1%
アイヌ民族の人権問題	64	7.5%
その他()	15	1.8%
ない	73	8.6%
無回答	21	
無効回答	0	
有効回答数(n)	3384	

図 3-1-1



■その他の内容 11 件（一部抜粋）

- ◇ 沖縄に暮す人々の人権 【60代・女性】
- ◇ 介護職員の人権 【40代・女性】
- ◇ 戦争に関する人権課題 【70歳以上・女性】
- ◇ テレビやメディア等による人権侵害問題 【40代・女性】
- ◇ 学歴、職業 【60代・女性】
- ◇ 人種差別 【15～19歳・女性】

問2 【問1】で選んだ理由

<自由意見> 別紙のとおり（396件）

■属性別の特徴

性別：男女ともに「インターネットによる人権侵害」（男性44.7%、女性49.5%）が最も多く、「子どもの人権」（男性36.3%、女性44.5%）が続いた。「男女共同参画（ジェンダー平等）」（男性25.7%、女性39.4%）、「犯罪被害者およびその家族」（男性16.5%、女性27.8%）は、女性が男性よりも10%以上高い傾向にあった。

年齢：「インターネットによる人権侵害」は、ほぼ全ての年齢層で関心が高いことがわかった。「男女共同参画（ジェンダー平等）」は、他の年齢層と比べて年齢層が低い世代で割合が高い傾向にあった。また、「高齢者の人権」は、他の年齢層と比べて年齢層が高い世代で割合が高い傾向にあった。

表 3-1-1-1 (各属性)

問1 あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(複数回答可)		男女共同参画 (ジェンダー 平等)			子どもの人権		高齢者の人権		障害者の人権		部落差別 (同和問題)		外国につながる 人々の人権		患者等の人権		性的マイノリ ティの人々の 人権		自殺(自死) 者、自殺によ り残された人 たちの人権	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数
① 性別	男性	358	92.5%	130	36.3%	85	23.7%	110	30.7%	33	9.2%	56	15.6%	47	13.1%	35	9.8%	38	10.6%	
	女性	467	184.4%	208	44.5%	151	32.3%	166	35.5%	41	8.8%	69	14.8%	85	18.2%	81	17.3%	74	15.8%	
	その他	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	回答しない	7	4.7%	3	42.9%	2	28.6%	3	42.9%	0	0.0%	1	14.3%	4	57.1%	4	57.1%	1	14.3%	
	無回答	17	5.0%	4	4.0%	4	4.0%	7	7.0%	2	2.0%	1	1.0%	0	0.0%	3	3.0%	2	2.0%	
	無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	有効回答数 (n)	833	280.0%	341	40.9%	238	28.6%	279	33.5%	74	8.9%	127	15.2%	136	16.3%	120	14.4%	113	13.6%	
② 年齢	15歳～19歳	130	67.7%	50	38.5%	19	14.6%	32	24.6%	10	7.7%	29	22.3%	9	6.9%	26	20.0%	23	17.7%	
	20歳～29歳	110	41.3%	51	46.4%	20	18.2%	35	31.8%	2	1.8%	16	14.5%	14	12.7%	20	18.2%	12	10.9%	
	30歳～39歳	101	38.2%	53	52.5%	18	17.8%	27	26.7%	9	8.9%	13	12.9%	19	18.8%	10	9.9%	15	14.9%	
	40歳～49歳	97	36.1%	42	43.3%	21	21.6%	31	32.0%	6	6.2%	16	16.5%	19	19.6%	17	17.5%	15	15.5%	
	50歳～59歳	115	43.2%	46	40.0%	37	32.2%	44	38.3%	12	10.4%	11	9.6%	26	22.6%	19	16.5%	17	14.8%	
	60歳～69歳	134	49.1%	53	39.6%	51	38.1%	57	42.5%	23	17.2%	24	17.9%	20	14.9%	18	13.4%	18	13.4%	
	70歳以上	149	54.3%	46	30.9%	72	48.3%	53	35.6%	13	8.7%	19	12.8%	29	19.5%	11	7.4%	13	8.7%	
	無回答	14	4.0%	4	4.0%	4	4.0%	7	7.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	2	2.0%	
	無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
有効回答数 (n)	836	281.0%	341	40.8%	238	28.5%	279	33.4%	75	9.0%	128	15.3%	136	16.3%	121	14.5%	113	13.5%		
③ 働き方等	正社員・正職員	254	85.3%	107	42.1%	57	22.4%	74	29.1%	23	9.1%	37	14.6%	39	15.4%	37	14.6%	31	12.2%	
	契約・派遣社員	47	15.7%	18	38.3%	11	23.4%	14	29.8%	4	8.5%	4	8.5%	4	8.5%	6	12.8%	4	8.5%	
	パート・アルバイト	143	48.3%	58	40.6%	47	32.9%	55	38.5%	12	8.4%	21	14.7%	31	21.7%	23	16.1%	21	14.7%	
	自営業	35	11.5%	13	37.1%	11	31.4%	13	37.1%	7	20.0%	3	8.6%	7	20.0%	2	5.7%	5	14.3%	
	家事専業・無職	173	57.3%	70	40.5%	78	45.1%	66	38.2%	13	7.5%	23	13.3%	34	19.7%	19	11.0%	21	12.1%	
	学生	137	45.3%	60	43.8%	23	16.8%	39	28.5%	10	7.3%	32	23.4%	11	8.0%	29	21.2%	24	17.5%	
	その他	42	13.8%	13	31.0%	11	26.2%	18	42.9%	6	14.3%	8	19.0%	10	23.8%	5	11.9%	6	14.3%	
	無回答	16	4.9%	5	5.0%	4	4.0%	7	7.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	2	2.0%	
	無効回答	3	0.9%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	
	有効回答数 (n)	831	280.0%	339	40.8%	238	28.6%	279	33.6%	75	9.0%	128	15.4%	136	16.4%	121	14.6%	112	13.5%	
④ 結婚して いますか	している	429	120.0%	190	44.3%	142	33.1%	146	34.0%	32	7.5%	72	16.8%	59	13.8%	74	17.2%	63	14.7%	
	していない	404	109.0%	150	37.1%	95	23.5%	132	32.7%	42	10.4%	54	13.4%	76	18.8%	46	11.4%	49	12.1%	
	無回答	17	4.6%	5	5.0%	5	5.0%	8	8.0%	2	2.0%	2	2.0%	1	1.0%	3	3.0%	3	3.0%	
	無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	有効回答数 (n)	833	280.0%	340	40.8%	237	28.5%	278	33.4%	74	8.9%	126	15.1%	135	16.2%	120	14.4%	112	13.4%	
⑤ 未成年 (18歳未満) のおさんは いますか	いる	151	46.3%	87	57.6%	34	22.5%	36	23.8%	7	4.6%	15	9.9%	20	13.2%	16	10.6%	18	11.9%	
	いない	684	205.7%	254	37.1%	204	29.8%	243	35.5%	68	9.9%	113	16.5%	116	17.0%	105	15.4%	95	13.9%	
	無回答	15	4.5%	4	4.0%	4	4.0%	7	7.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.0%	2	2.0%	
	無効回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
	有効回答数 (n)	835	281.0%	341	40.8%	238	28.5%	279	33.4%	75	9.0%	128	15.3%	136	16.3%	121	14.5%	113	13.5%	

インターネットによる人権侵害	災害時における人権侵害		犯罪被害者およびその家族の人権		刑を終えて出所した人や犯罪者の家族の人権		路上生活者(ホームレス)・生活困窮者の人権		就労支援を必要とする人の人権		職場における人権侵害		拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題		アイヌ民族の人権問題		その他()		ない		計	
160	44.7%	63	17.6%	59	16.5%	32	8.9%	44	12.3%	52	14.5%	79	22.1%	60	16.8%	24	6.7%	3	0.8%	42	11.7%	1244
231	49.5%	115	24.6%	130	27.8%	55	11.8%	62	13.3%	75	16.1%	137	29.3%	96	20.6%	39	8.4%	12	2.6%	30	6.4%	2041
1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
6	85.7%	4	57.1%	4	57.1%	1	14.3%	1	14.3%	1	14.3%	3	42.9%	2	28.6%	1	14.3%	0	0.0%	1	14.3%	46
10		2		2		0		1		2		1		4		0		0		0		50
0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
398	47.8%	182	21.8%	193	23.2%	88	10.6%	108	13.0%	128	15.4%	219	26.3%	158	19.0%	64	7.7%	15	1.8%	73	8.8%	3334
55	42.3%	11	8.5%	21	16.2%	21	16.2%	18	13.8%	8	6.2%	27	20.8%	20	15.4%	8	6.2%	1	0.8%	9	6.9%	464
44	40.0%	24	21.8%	26	23.6%	8	7.3%	8	7.3%	18	16.4%	27	24.5%	16	14.5%	7	6.4%	3	2.7%	12	10.9%	404
52	51.5%	26	25.7%	27	26.7%	12	11.9%	11	10.9%	18	17.8%	29	28.7%	7	6.9%	6	5.9%	0	0.0%	9	8.9%	399
39	40.2%	21	21.6%	20	20.6%	11	11.3%	11	11.3%	24	24.7%	37	38.1%	20	20.6%	7	7.2%	4	4.1%	14	14.4%	406
70	60.9%	35	30.4%	43	37.4%	8	7.0%	21	18.3%	19	16.5%	42	36.5%	28	24.3%	11	9.6%	3	2.6%	8	7.0%	531
75	56.0%	30	22.4%	29	21.6%	15	11.2%	23	17.2%	20	14.9%	35	26.1%	25	18.7%	15	11.2%	3	2.2%	7	5.2%	581
64	43.0%	35	23.5%	27	18.1%	13	8.7%	16	10.7%	22	14.8%	22	14.8%	42	28.2%	10	6.7%	1	0.7%	14	9.4%	555
9		2		2		0		1		1		1		4		0		0		0		44
0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
399	47.7%	182	21.8%	193	23.1%	88	10.5%	108	12.9%	129	15.4%	219	26.2%	158	18.9%	64	7.7%	15	1.8%	73	8.7%	3340
112	44.1%	58	22.8%	64	25.2%	21	8.3%	21	8.3%	40	15.7%	78	30.7%	40	15.7%	14	5.5%	6	2.4%	23	9.1%	967
23	48.9%	7	14.9%	5	10.6%	4	8.5%	6	12.8%	8	17.0%	7	14.9%	8	17.0%	5	10.6%	1	2.1%	1	2.1%	153
77	53.8%	35	24.5%	40	28.0%	12	8.4%	20	14.0%	24	16.8%	46	32.2%	27	18.9%	14	9.8%	3	2.1%	20	14.0%	632
22	62.9%	10	28.6%	11	31.4%	6	17.1%	9	25.7%	9	25.7%	8	22.9%	8	22.9%	2	5.7%	1	2.9%	4	11.4%	160
80	46.2%	43	24.9%	37	21.4%	18	10.4%	27	15.6%	33	19.1%	39	22.5%	40	23.1%	15	8.7%	3	1.7%	12	6.9%	715
64	46.7%	18	13.1%	25	18.2%	21	15.3%	18	13.1%	10	7.3%	33	24.1%	23	16.8%	10	7.3%	1	0.7%	9	6.6%	533
21	50.0%	10	23.8%	10	23.8%	5	11.9%	7	16.7%	5	11.9%	8	19.0%	12	28.6%	4	9.5%	0	0.0%	3	7.1%	173
9		3		3		0		1		1		1		4		0		0		0		47
0		0		0		1		0		0		0		0		0		0		1		4
399	48.0%	181	21.8%	192	23.1%	87	10.5%	108	13.0%	129	15.5%	219	26.4%	158	19.0%	64	7.7%	15	1.8%	72	8.7%	3333
183	42.7%	88	20.5%	98	22.8%	52	12.1%	62	14.5%	71	16.6%	110	25.6%	73	17.0%	36	8.4%	9	2.1%	33	7.7%	1713
215	53.2%	93	23.0%	94	23.3%	35	8.7%	45	11.1%	57	14.1%	108	26.7%	84	20.8%	27	6.7%	6	1.5%	40	9.9%	1608
10		3		3		1		2		2		2		5		1		0		0		63
0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
398	47.8%	181	21.7%	192	23.0%	87	10.4%	107	12.8%	128	15.4%	218	26.2%	157	18.8%	63	7.6%	15	1.8%	73	8.8%	3321
59	39.1%	29	19.2%	27	17.9%	11	7.3%	9	6.0%	19	12.6%	44	29.1%	24	15.9%	5	3.3%	2	1.3%	16	10.6%	524
340	49.7%	153	22.4%	166	24.3%	77	11.3%	99	14.5%	110	16.1%	175	25.6%	134	19.6%	59	8.6%	13	1.9%	57	8.3%	2816
9		2		2		0		1		1		1		4		0		0		0		44
0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		0
399	47.8%	182	21.8%	193	23.1%	88	10.5%	108	12.9%	129	15.4%	219	26.2%	158	18.9%	64	7.7%	15	1.8%	73	8.7%	3340

図 3-1-1-1 (性別)

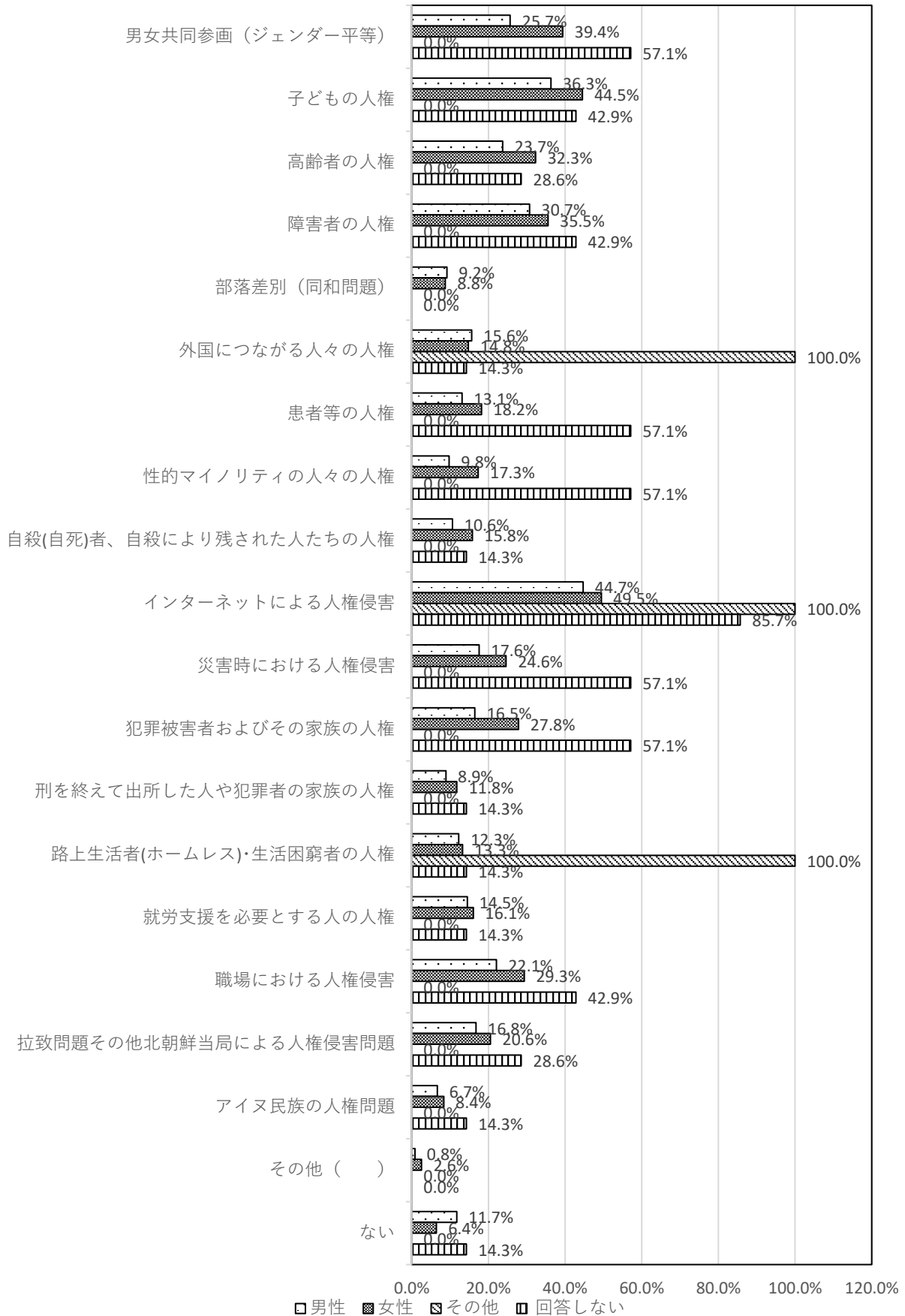


図 3-1-1-2 (年齢別) ①

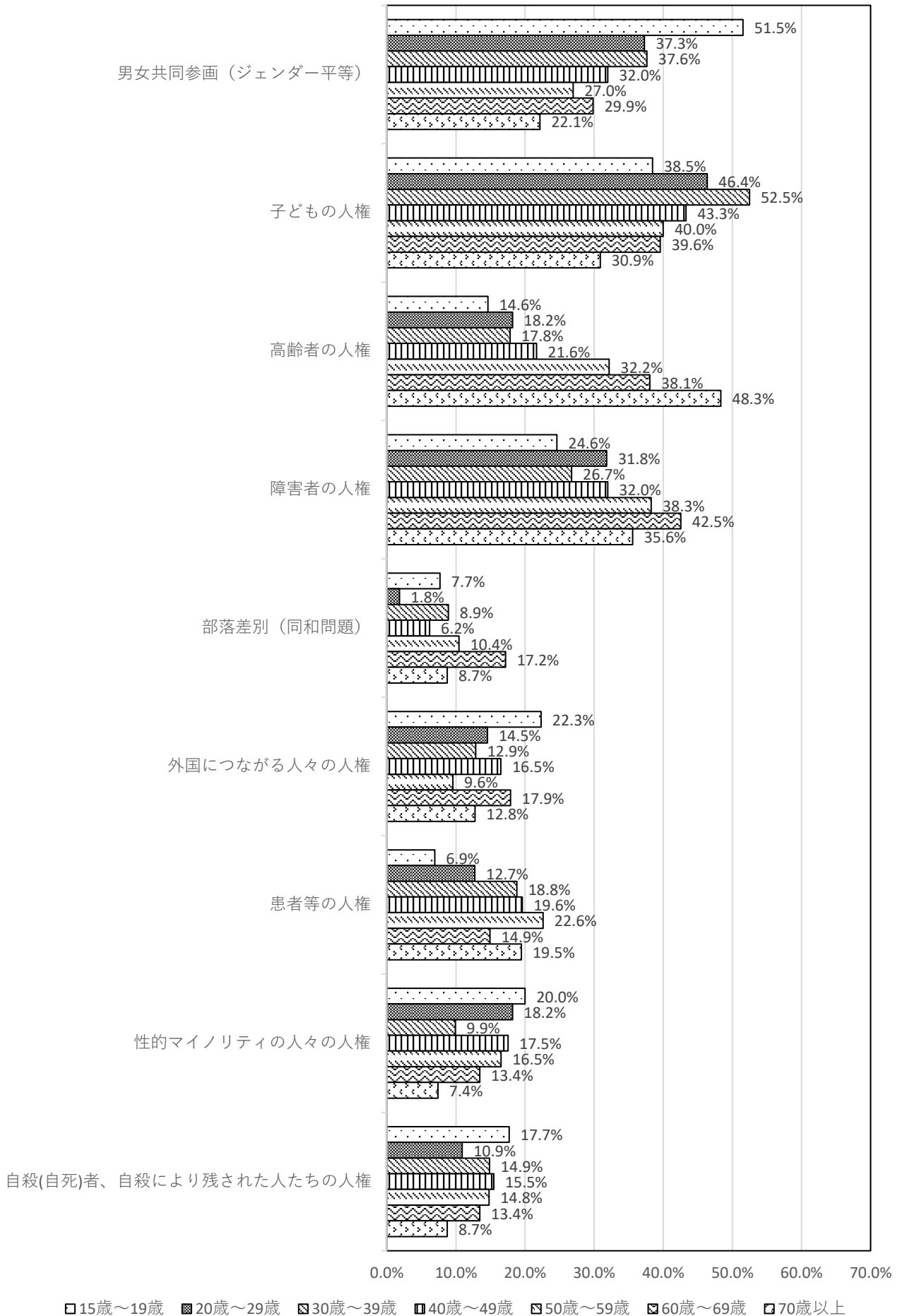
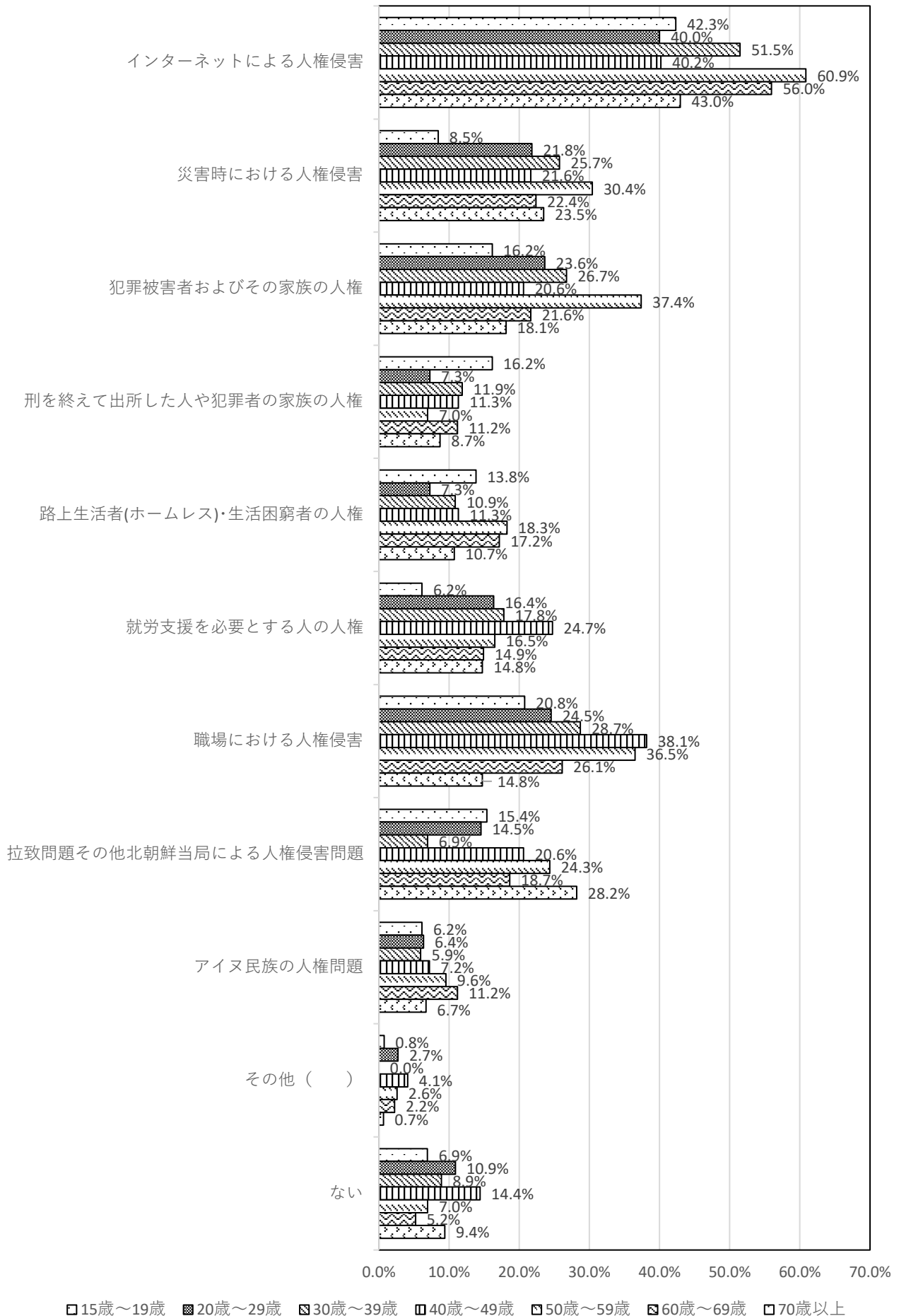


図 3-1-1-2 (年齢別) ②



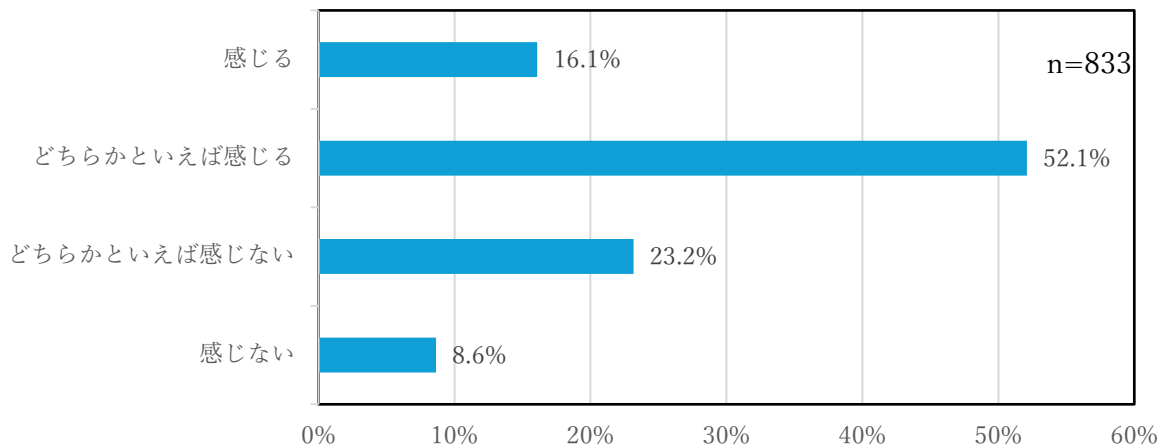
問3 あなたは世の中の人権意識は高くなっていると感じますか。(あてはまるもの1つ)

「高くなっていると感じる(どちらかといえば感じるを含む)」は68.2%、「高くなっていると感じない(どちらかといえば感じないを含む)」は31.8%であり、人権意識は高くなっていると感じている方が多かった。

表 3-1-2

問3 あなたは世の中の人権意識は高くなっていると感じますか。 (あてはまるもの1つ)	回答数	割合
感じる	134	16.1%
どちらかといえば感じる	434	52.1%
どちらかといえば感じない	193	23.2%
感じない	72	8.6%
	無回答	16
	無効回答	1
	有効回答数 (n)	833
		100.0%

図 3-1-2



■属性別の特徴

性別や年齢ではともに傾向に大きな差は見られなかった。

図 3-1-2-1 (性別)

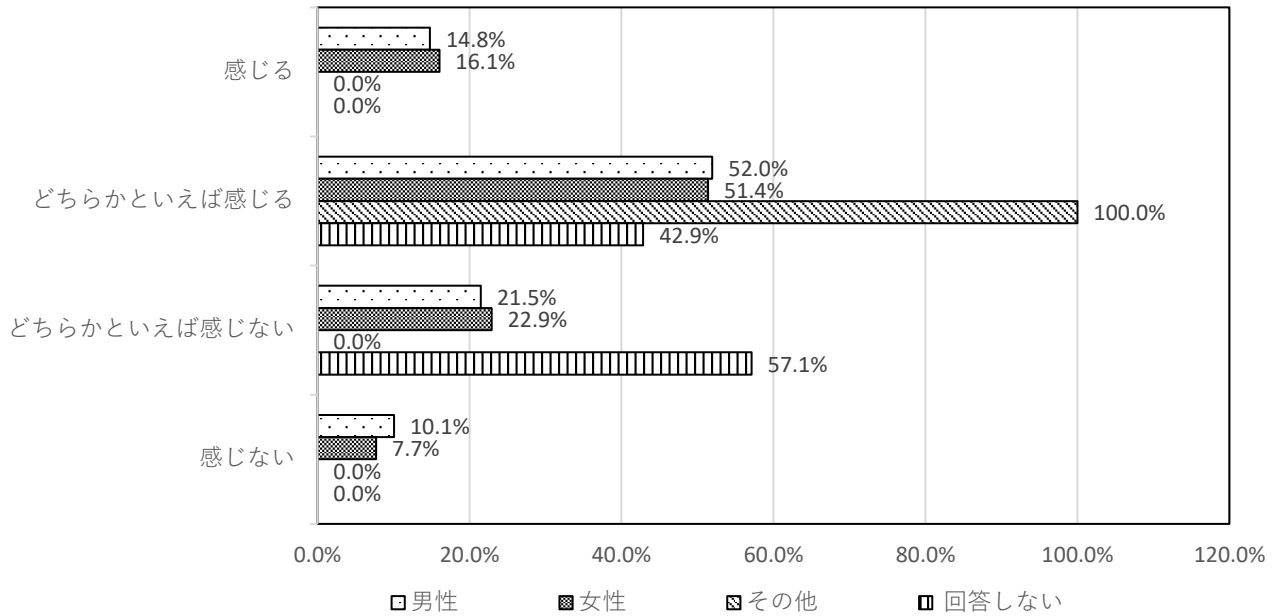
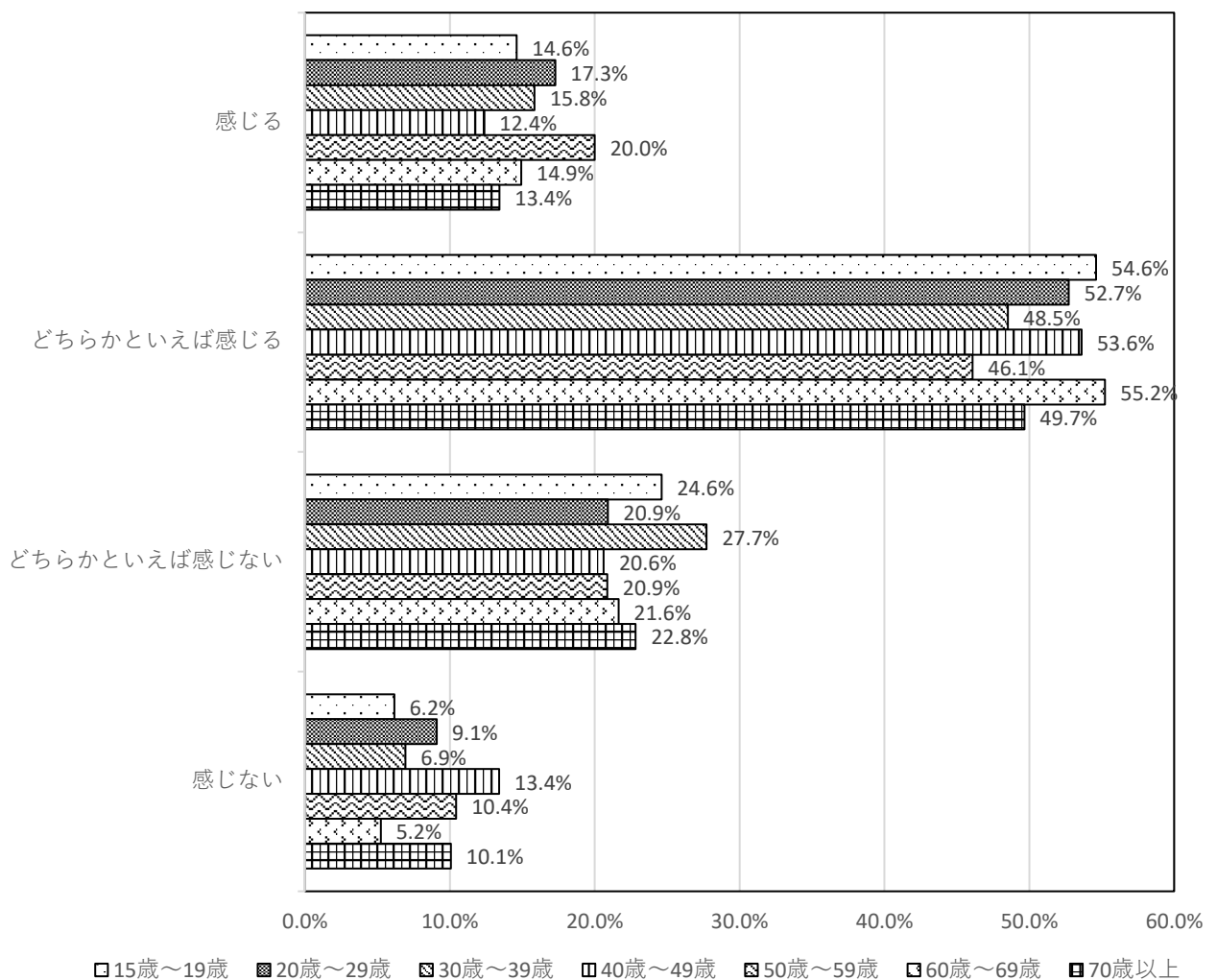


図 3-1-2-2 (年齢別)



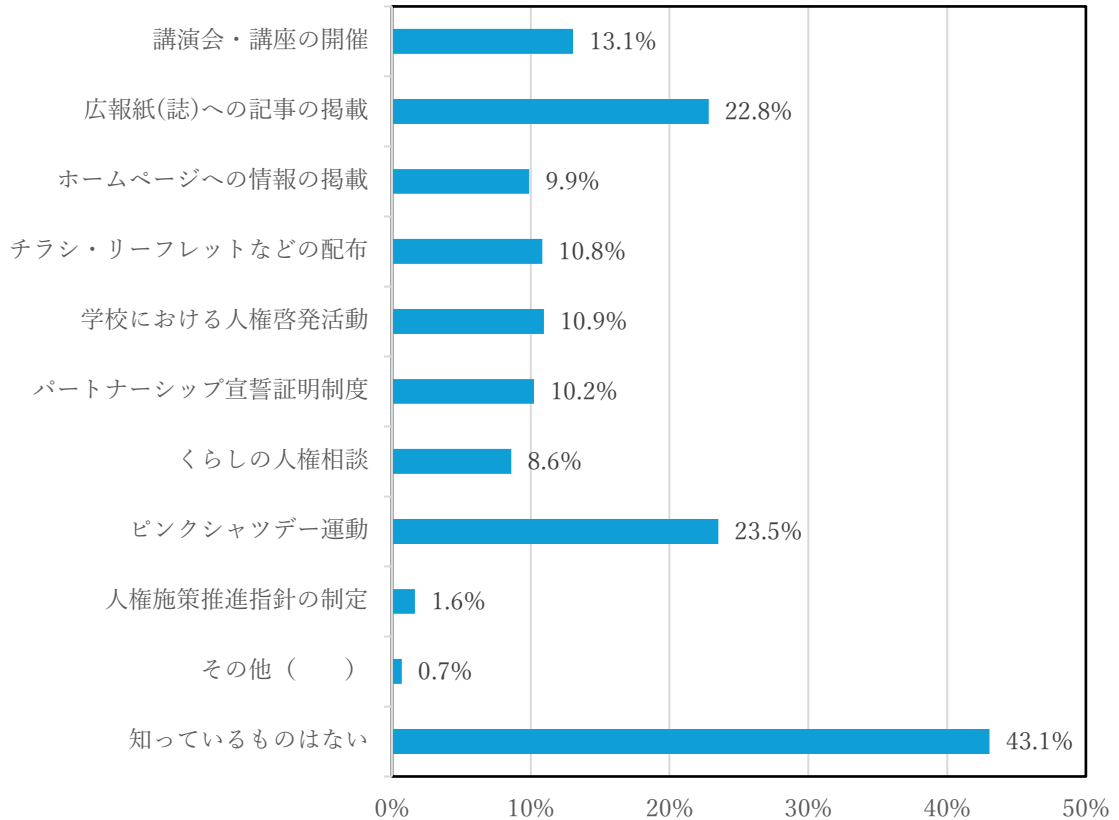
問4 あなたは横須賀市で行っている人権に関する取組みについて、
どのようなものをご存じですか。（複数回答可）

知っているものとして、「ピンクシャツデー運動」（23.5%）が最も多く、「広報紙(誌)への記事の掲載」（22.9%）、「講演会・講座の開催」（13.1%）が続いた。また、「知っているものはない」（43.1%）が最も多かった。

表 3-1-3

問4 あなたは横須賀市で行っている人権に関する取組みについて、どのようなものをご存じですか。（複数回答可）	回答数	割合
講演会・講座の開催	111	13.1%
広報紙(誌)への記事の掲載	194	22.8%
ホームページへの情報の掲載	84	9.9%
チラシ・リーフレットなどの配布	92	10.8%
学校における人権啓発活動	93	10.9%
パートナーシップ宣誓証明制度	87	10.2%
くらしの人権相談	73	8.6%
ピンクシャツデー運動	200	23.5%
人権施策推進指針の制定	14	1.6%
その他（ ）	6	0.7%
知っているものはない	366	43.1%
無回答	20	
無効回答	0	
有効回答数 (n)	1320	

図 3-1-3



■その他の内容 8件（一部抜粋）

- ◇ LINEでの情報発信【70歳以上・男性】
- ◇ オレンジカフェ（認知症への理解）【50代・女性】
- ◇ ピンクアンドブルーリボン活動【40代・女性】
- ◇ 人権への意識はあるが、行政の取組みを知る機会がほとんどない【60代・男性】

■属性別の特徴

性別：知っているものとして割合の高い「ピンクシャツデー運動」（男性 17.0%、女性 29.3%）は、女性が男性よりも 12.3% 高かった。また、男女ともに「知っているものはない」（男性 52.8%、女性 35.3%）が最も多かった。

知っているものの項目の中で、男性は「広報紙(誌)への記事の掲載」（20.4%）が最も多く、「ピンクシャツデー運動」（17.0%）が続いた。

女性は「ピンクシャツデー運動」（29.3%）が最も多く、「広報紙(誌)への記事の掲載」（24.8%）が続いた。

年齢：「ピンクシャツデー運動」や「学校における人権啓発活動」は、他の年齢層に比べて年齢層が低い世代で割合が高い傾向にあった。また、「広報紙(誌)への記事の掲載」は、他の年齢層に比べて年齢層の高い世代で割合が高い傾向にあった。

図 3-1-3-1 (性別)

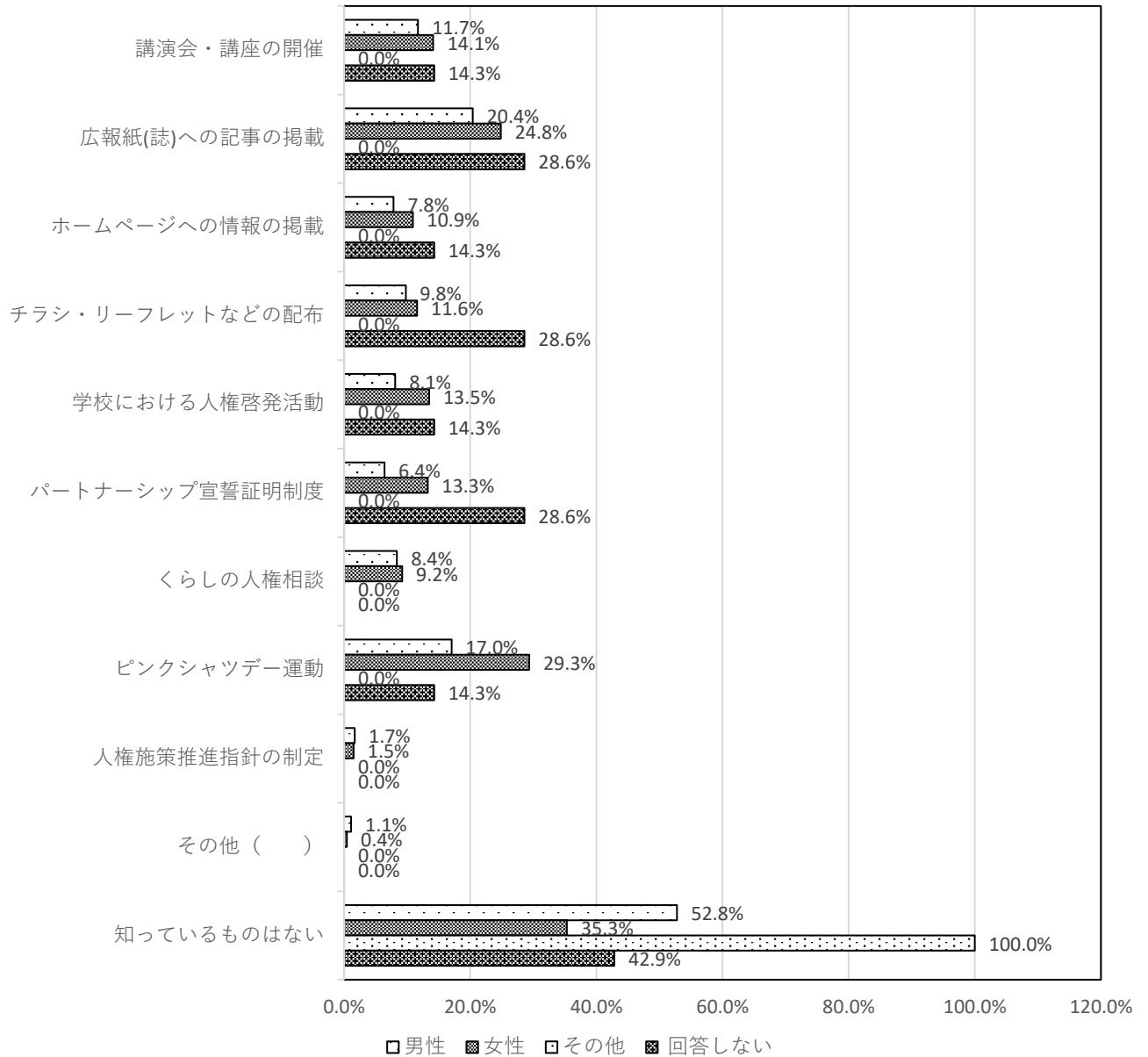
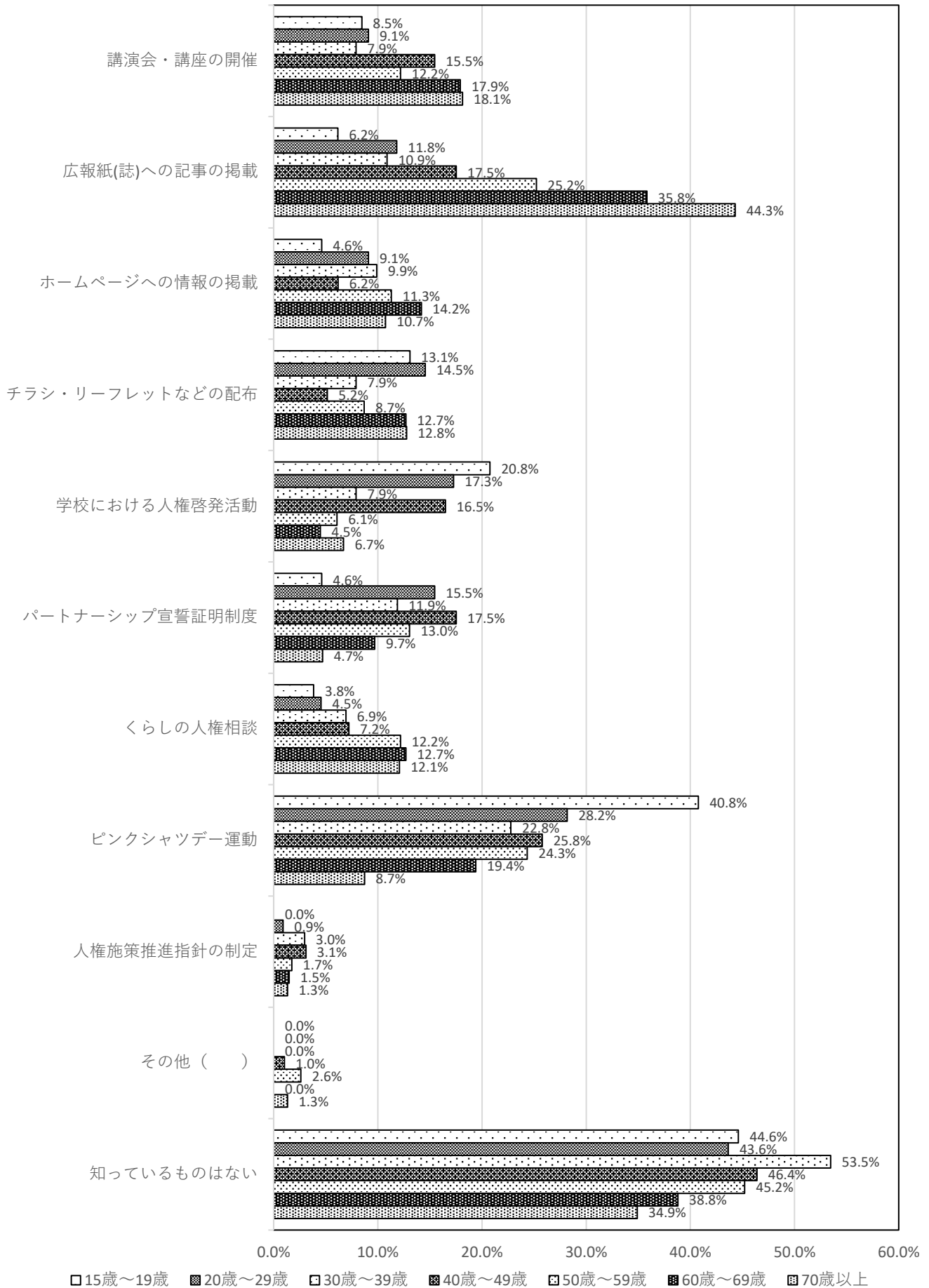


図 3-1-3-2 (年齢別)



3-2 いじめや差別に関して

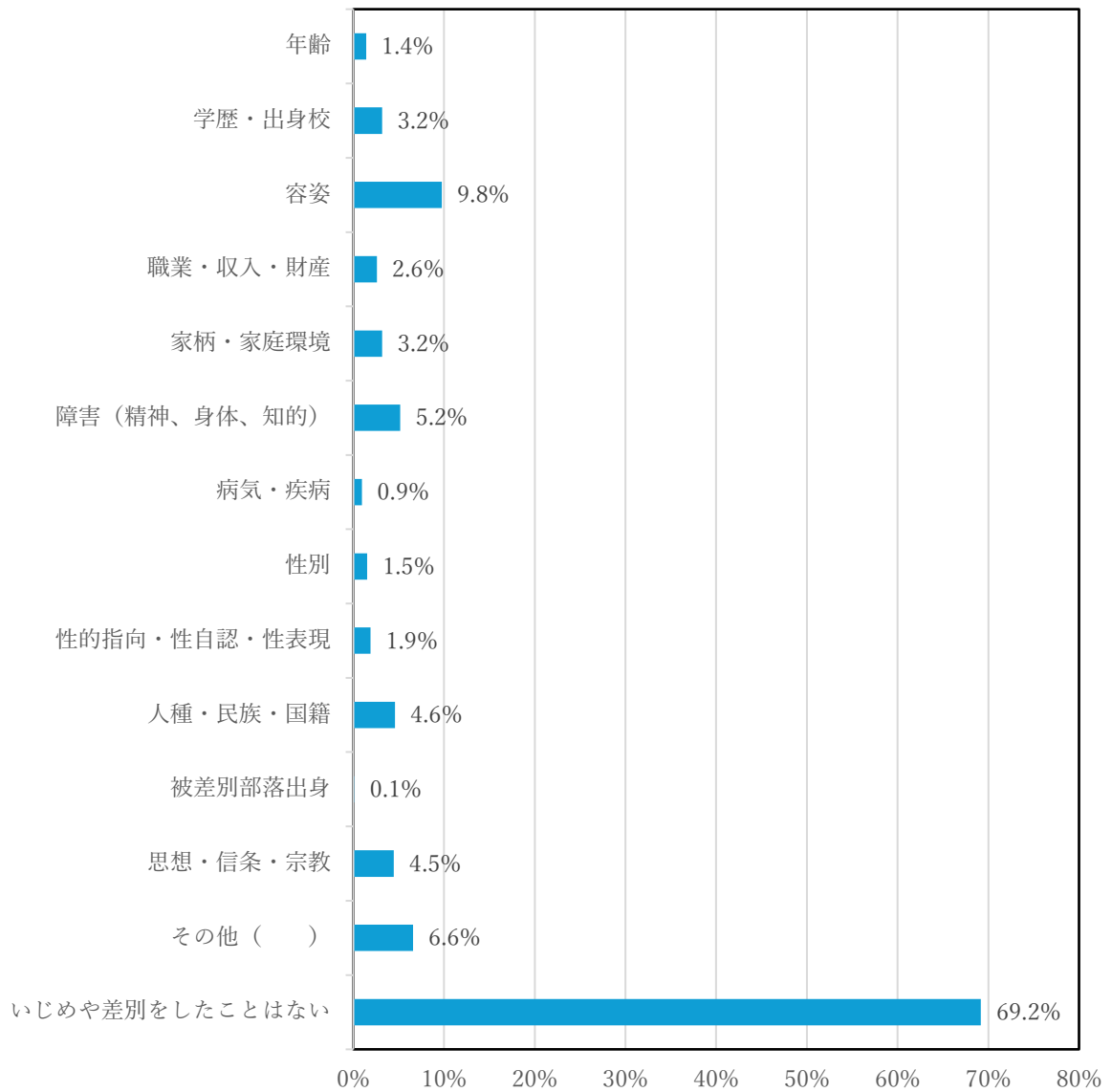
問5 あなたはこれまでに、他人に対して「いじめ」や「差別」をしたことがありますか。
ある場合は、何についていじめや差別をしたことがありますか。（複数回答可）

いじめや差別をした理由として、「容姿」（9.8%）が最も多く、「障害（精神、身体、知的）」（4.6%）、「人種・民族・国籍」（4.6%）、「思想・信条・宗教」が続いた。また、「いじめや差別をしたことはない」（69.2%）が最も多かった。

表 3-2-1

問5 あなたはこれまでに、他人に対して「いじめ」や「差別」をしたことがありますか。 ある場合は、何についていじめや差別をしたことがありますか。（複数回答可）	回答数	割合
年齢	12	1.4%
学歴・出身校	27	3.2%
容姿	83	9.8%
職業・収入・財産	22	2.6%
家柄・家庭環境	27	3.2%
障害（精神、身体、知的）	44	5.2%
病気・疾病	8	0.9%
性別	13	1.5%
性的指向・性自認・性表現	16	1.9%
人種・民族・国籍	39	4.6%
被差別部落出身	1	0.1%
思想・信条・宗教	38	4.5%
その他（ ）	56	6.6%
いじめや差別をしたことはない	588	69.2%
	無回答	24
	無効回答	0
	有効回答数（n）	974

図 3-2-1



■その他の内容 56 件（一部抜粋）

- ◇ 自分はしてないつもり 13 件
- ◇ 性格 10 件
- ◇ 理由なく・わからない 9 件
- ◇ 無自覚にいじめ・差別になっていたかもしれない 8 件
- ◇ 風呂に入っていないこと 2 件
- ◇ 不誠実な言動 【70 歳以上・男性】
- ◇ 心の中で差別していたかも 【70 歳以上・女性】
- ◇ 学生時代に女子特有のじゅんぼんにまわってくる理由もないムシかいじめ 【40 代・女性】
- ◇ イジメられたから、逆にイジメた 【40 代・女性】
- ◇ 暗い子を仲間に入れなかった 【40 代・女性】
- ◇ 他人をいじめてる人を差別しました 【50 代・男性】
- ◇ 子ども同士の仲間はずれ 【50 代・女性】
- ◇ 自分のミスをおそれ、人のせいにしたのを今でも後悔 【50 代・女性】
- ◇ 言葉や行動に表さずとも差別の意識はあったと思う 【60 代・女性】
- ◇ 容姿や態度の生意気な子を暴力で正したつもりでいた 【60 代・男性】

■属性別の特徴

性別：男女ともにいじめや差別をした理由として、「容姿」（男性 14.5%、女性 6.6%）が最も多く、男性が女性よりも 7.9% 高かった。続いて、「障害（精神、身体、知的）」（男性 5.9%、女性 4.7%）が多かった。また、男女ともに「いじめや差別をしたことはない」（男性 64.5%、女性 72.8%）が最も多かった。

年齢：いじめや差別をした理由として、ほぼ全ての年齢層で「容姿」の割合が高い傾向にあった。「人種・民族・国籍」や「思想・信条・宗教」は、他の年齢層と比べて年齢層が低い世代で割合が低い傾向があった。

図 3-2-1-1 (性別)

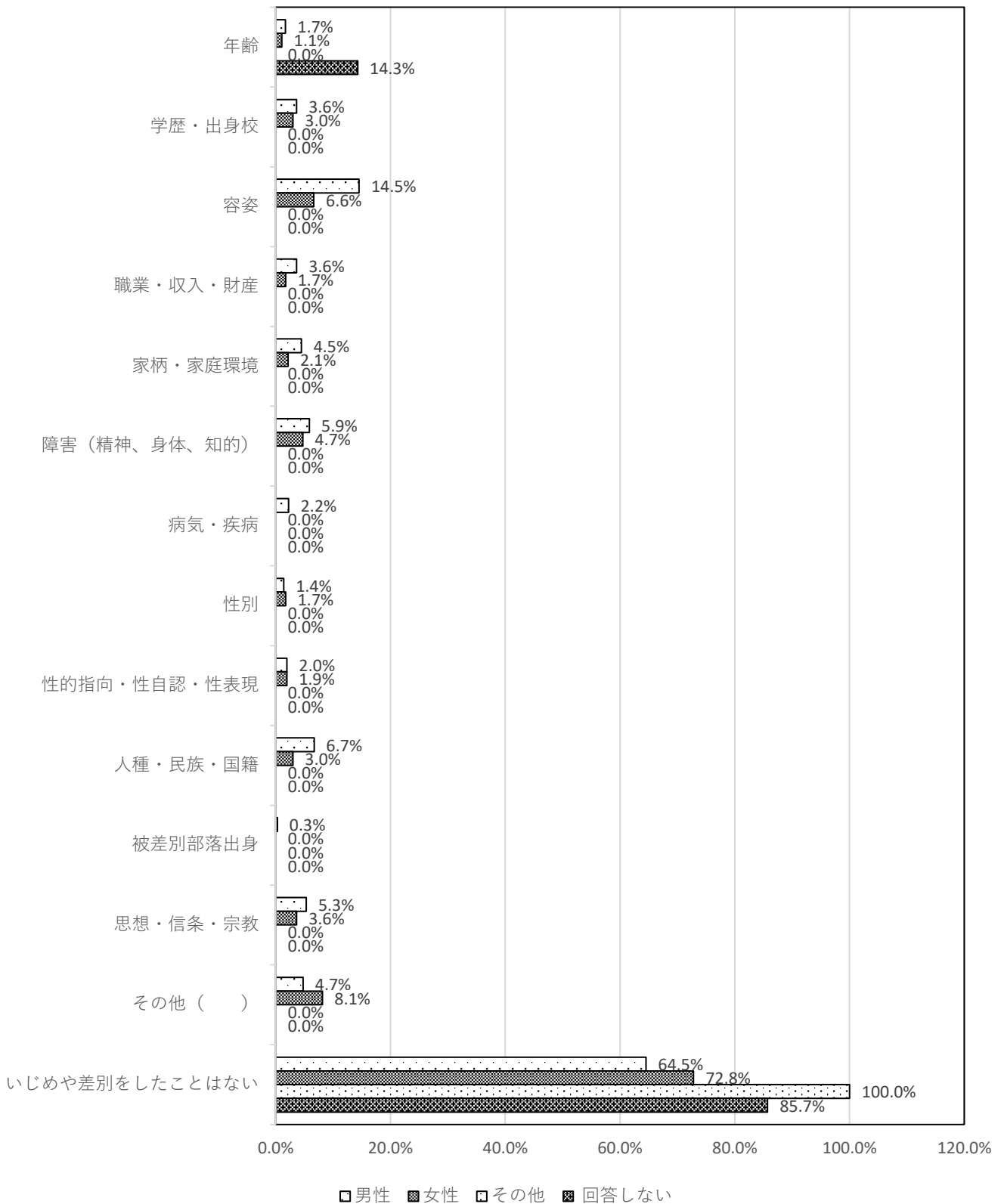
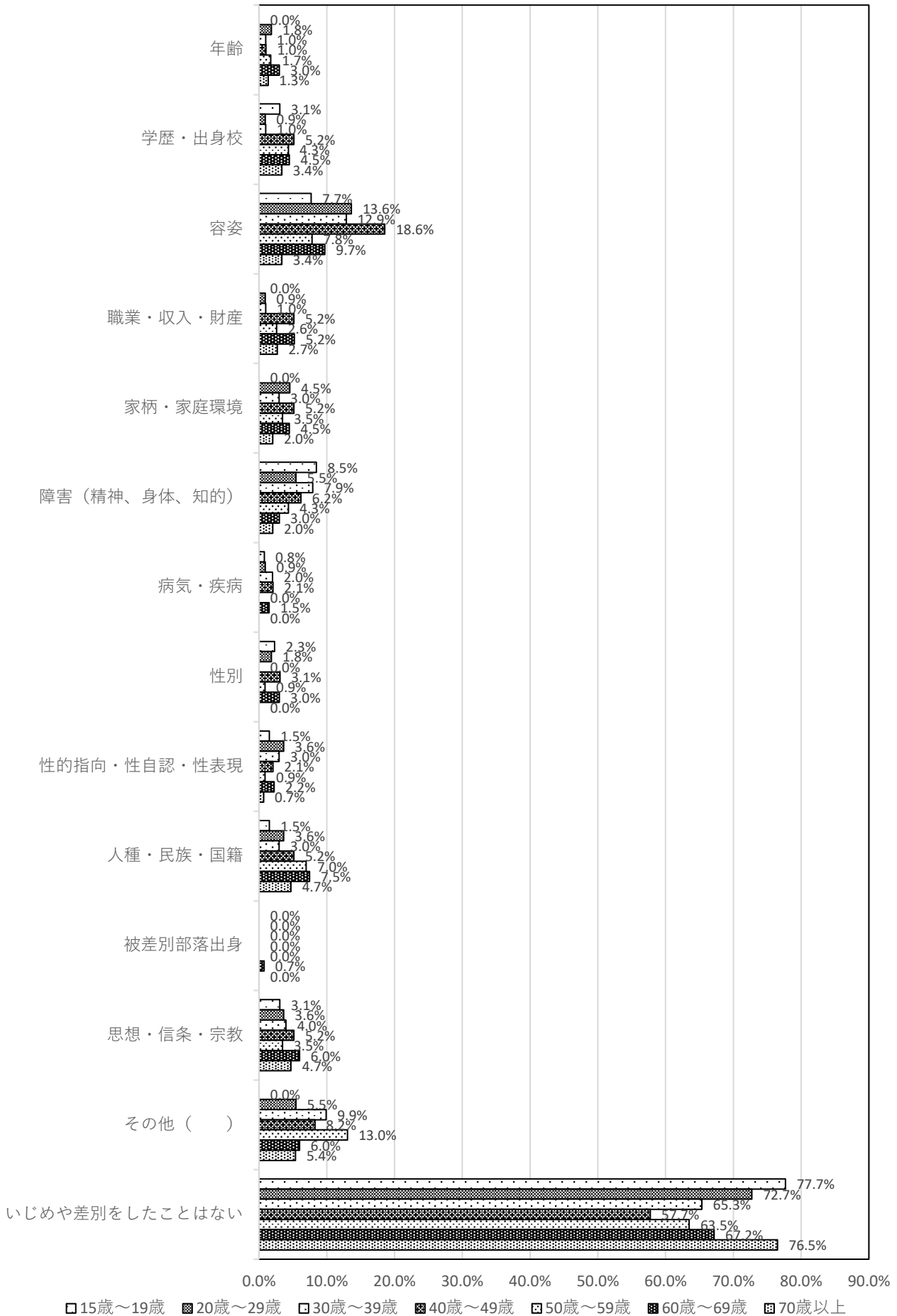


図 3-2-1-2 (年齢別)



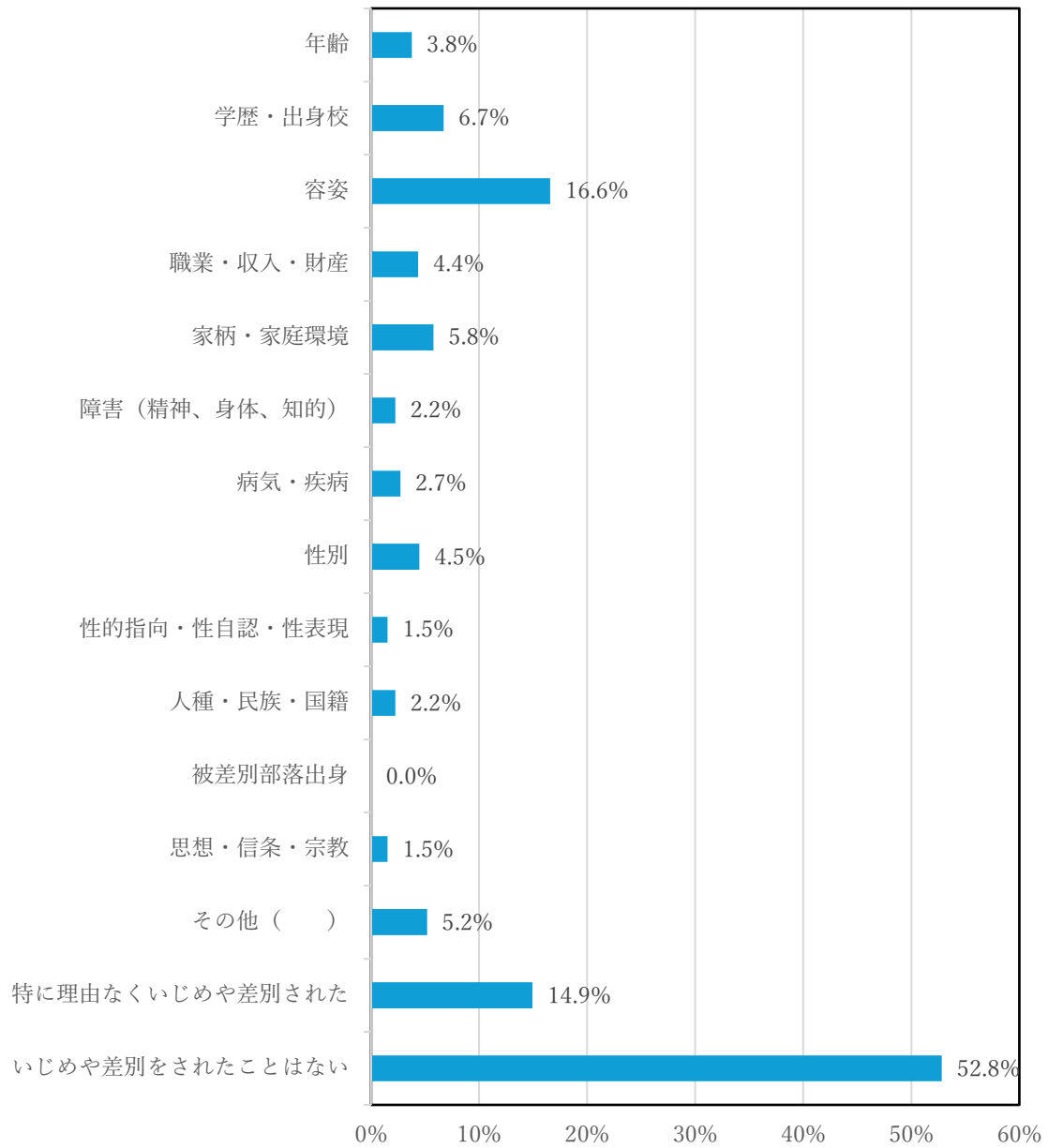
問6 あなたはこれまでに、「いじめ」や「差別」をされたことがありますか。
ある場合は、何についていじめや差別をされましたか。(複数回答可)

いじめや差別をされた理由として、「容姿」(16.6%)が最も多く、「特に理由なくいじめや差別された」(14.9%)、「学歴・出身校」(6.7%)、「家柄・家庭環境」(5.8%)が続いた。また、「いじめや差別をされたことはない」(52.8%)が最も多かった。

表 3-2-2

問6 あなたはこれまでに、「いじめ」や「差別」をされたことがありますか。 ある場合は、何についていじめや差別をされましたか。(複数回答可)	回答数	割合
年齢	32	3.8%
学歴・出身校	57	6.7%
容姿	141	16.6%
職業・収入・財産	37	4.4%
家柄・家庭環境	49	5.8%
障害(精神、身体、知的)	19	2.2%
病気・疾病	23	2.7%
性別	38	4.5%
性的指向・性自認・性表現	13	1.5%
人種・民族・国籍	19	2.2%
被差別部落出身	0	0.0%
思想・信条・宗教	13	1.5%
その他()	44	5.2%
特に理由なくいじめや差別された	127	14.9%
いじめや差別をされたことはない	449	52.8%
	無回答	16
	無効回答	0
	有効回答数(n)	1061

図 3-2-2



■その他の内容 39 件（一部抜粋）

- ◇ 自分の気が付かない行動 5件
- ◇ 性格や所作、意見の相違 4件
- ◇ あっても大して感じない 3件
- ◇ 能力（職場） 3件
- ◇ 自身への嫉妬 2件
- ◇ 部活動で優れていた、実力が低かった 2件
- ◇ 仲間はずれや悪口を言われた 【20代・女性】
- ◇ 耳が遠くて差別された 【70歳以上・男性】
- ◇ あだなによるいじめ 【60代・男性】
- ◇ 集団に入れない 合わせられない 【30代・男性】
- ◇ 行いが悪い 【40代・男性】
- ◇ 学校の転校 【60代・男性】
- ◇ いじり 【15～19歳・男性】
- ◇ 方言 【50代・女性】
- ◇ 親の介護をしていること 【50代・女性】
- ◇ 低身長 【15～19歳・女性】
- ◇ 正社員ではない立場だから 【40代・女性】

■属性別の特徴

性別：男女ともにいじめや差別をされた理由として、「容姿」（男性 15.1%、女性 18.0%）が最も多かった。男性は「学歴・出身校」（7.5%）、女性は「家柄・家庭環境」（7.7%）が続いた。また、男女ともに「いじめや差別をされたことはない」（男性 55.6%、女性 50.1%）が最も多かった。

年齢：ほぼ全ての年齢層で「容姿」の割合が高い傾向にあった。「年齢」や「学歴・出身校」、「性別」は、他の年齢層に比べて 40代や 50代で割合が高い傾向にあった。

図 3-2-2-1 (性別)

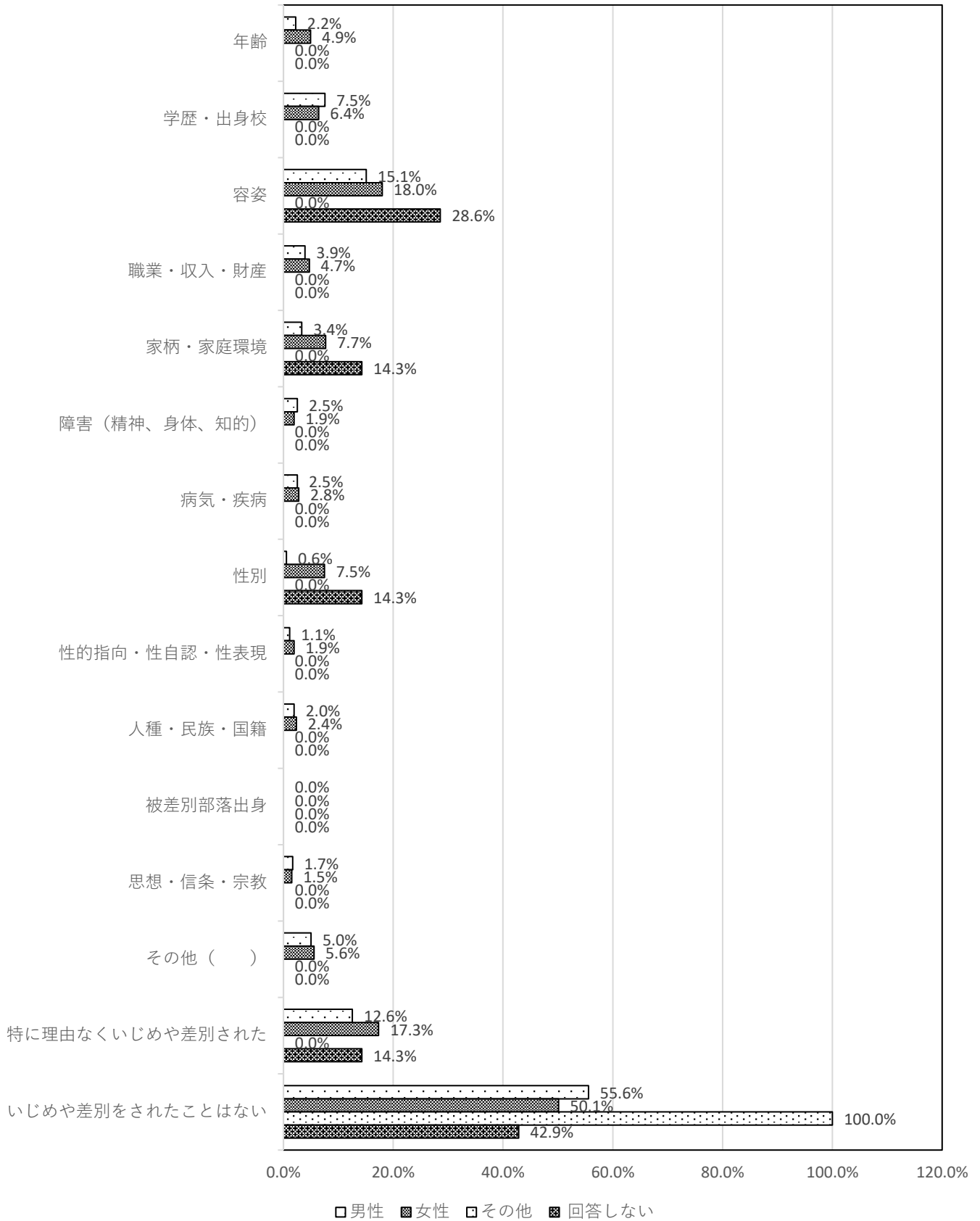
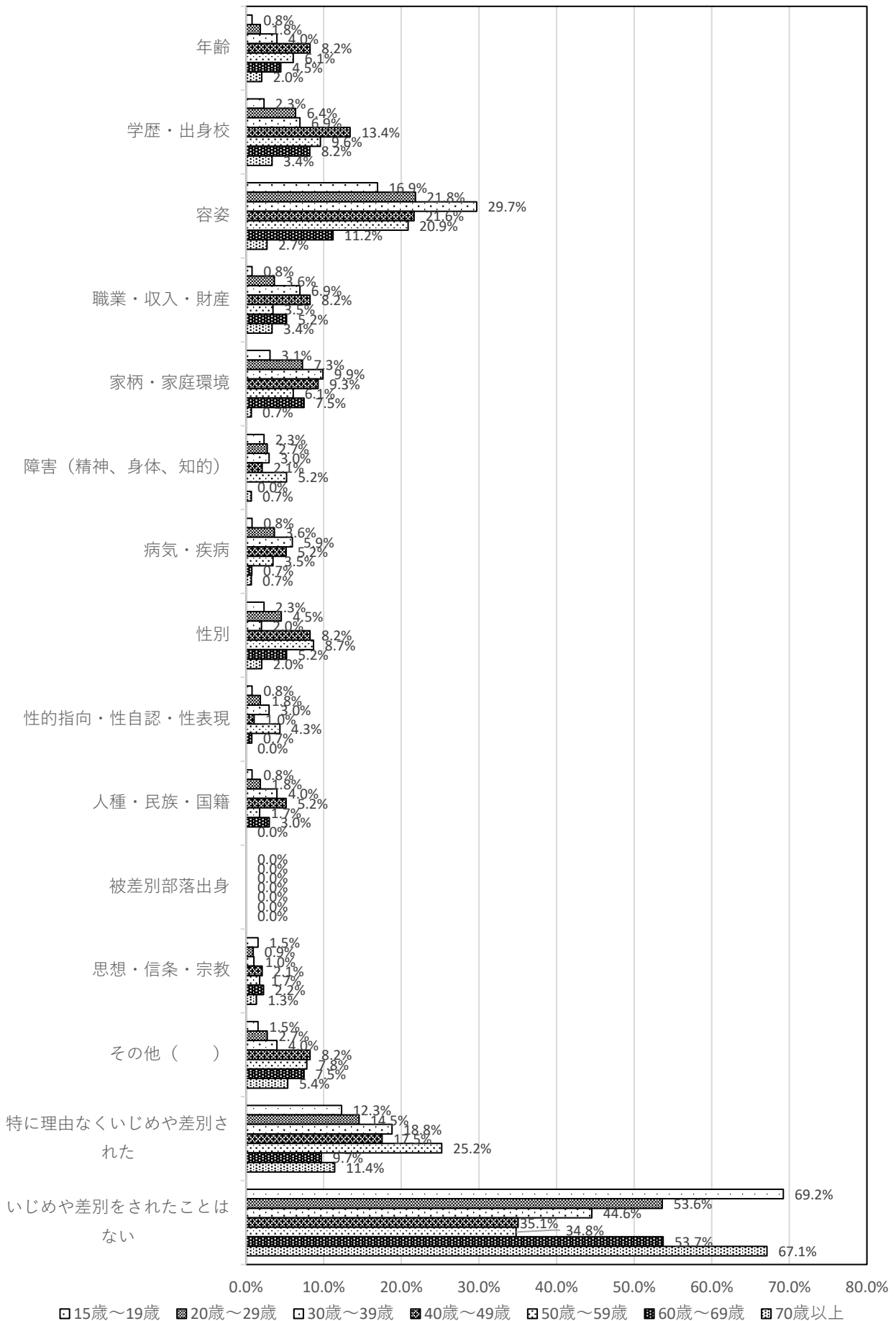


図 3-2-2-2 (年齢別)

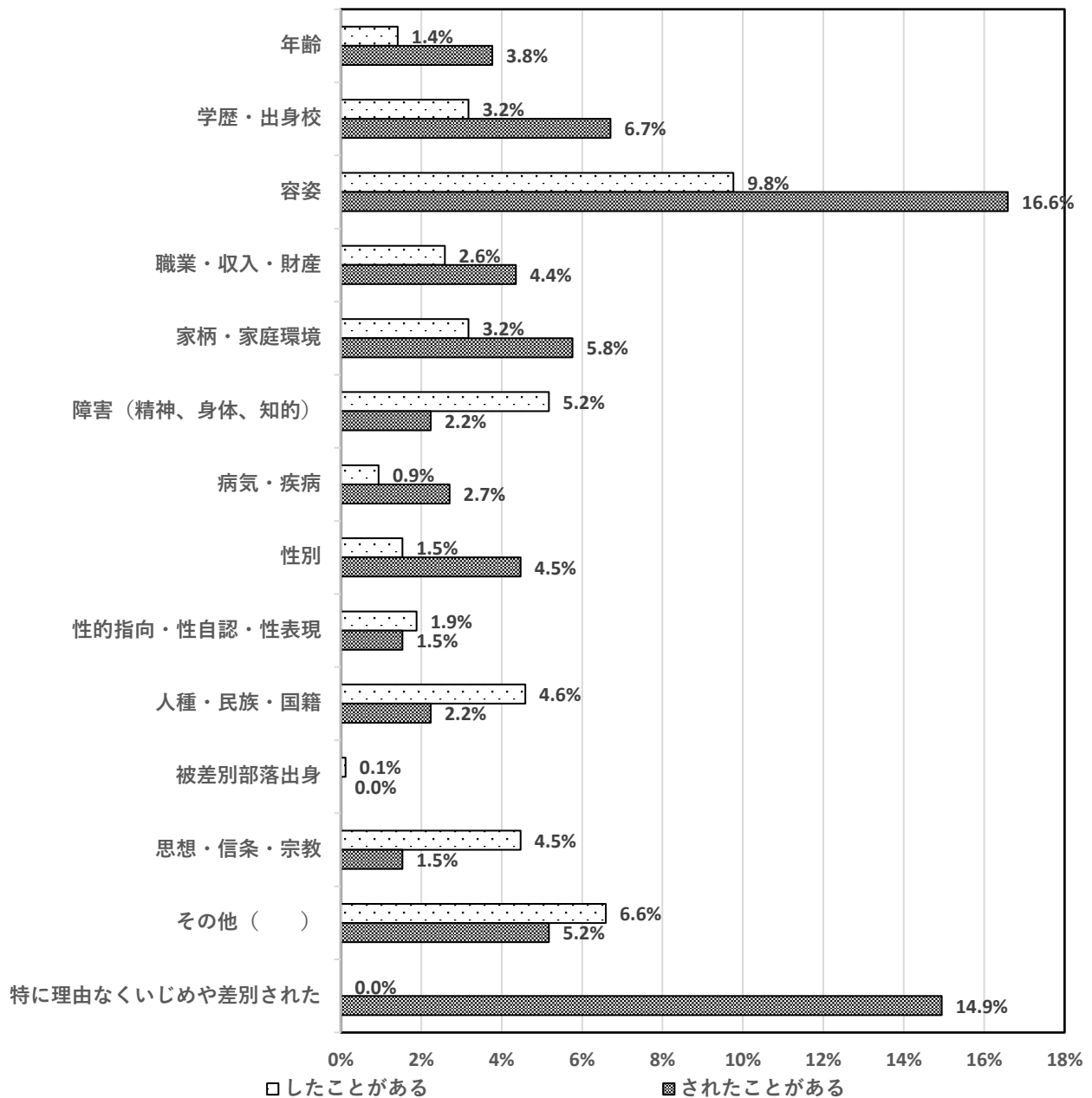


問5と問6の比較

表 3-2-3 (比較)

問5と問6の比較	問5 あなたはこれまでに、他人に対して「いじめ」や「差別」をしたことがありますか。		問6 あなたはこれまでに、「いじめ」や「差別」をされたことがありますか。	
	回答数	割合	回答数	割合
年齢	12	1.4%	32	3.8%
学歴・出身校	27	3.2%	57	6.7%
容姿	83	9.8%	141	16.6%
職業・収入・財産	22	2.6%	37	4.4%
家柄・家庭環境	27	3.2%	49	5.8%
障害（精神、身体、知的）	44	5.2%	19	2.2%
病気・疾病	8	0.9%	23	2.7%
性別	13	1.5%	38	4.5%
性的指向・性自認・性表現	16	1.9%	13	1.5%
人種・民族・国籍	39	4.6%	19	2.2%
被差別部落出身	1	0.1%	0	0.0%
思想・信条・宗教	38	4.5%	13	1.5%
その他（ ）	56	6.6%	44	5.2%
特に理由なくいじめや差別された			127	14.9%
無回答	24		16	
無効回答	0		0	
有効回答数（n）	386		612	

図 3-2-3 (比較)



問5と問6の回答で特に差があった項目は、「容姿」が6.8%の差で、「学歴・出身校」が3.5%の差であった。いじめや差別をした側386件に対し、された側は612件であることから、“いじめや差別”をした、されたに関する認識には違いがあるということがわかる。

3-3 様々な人権問題

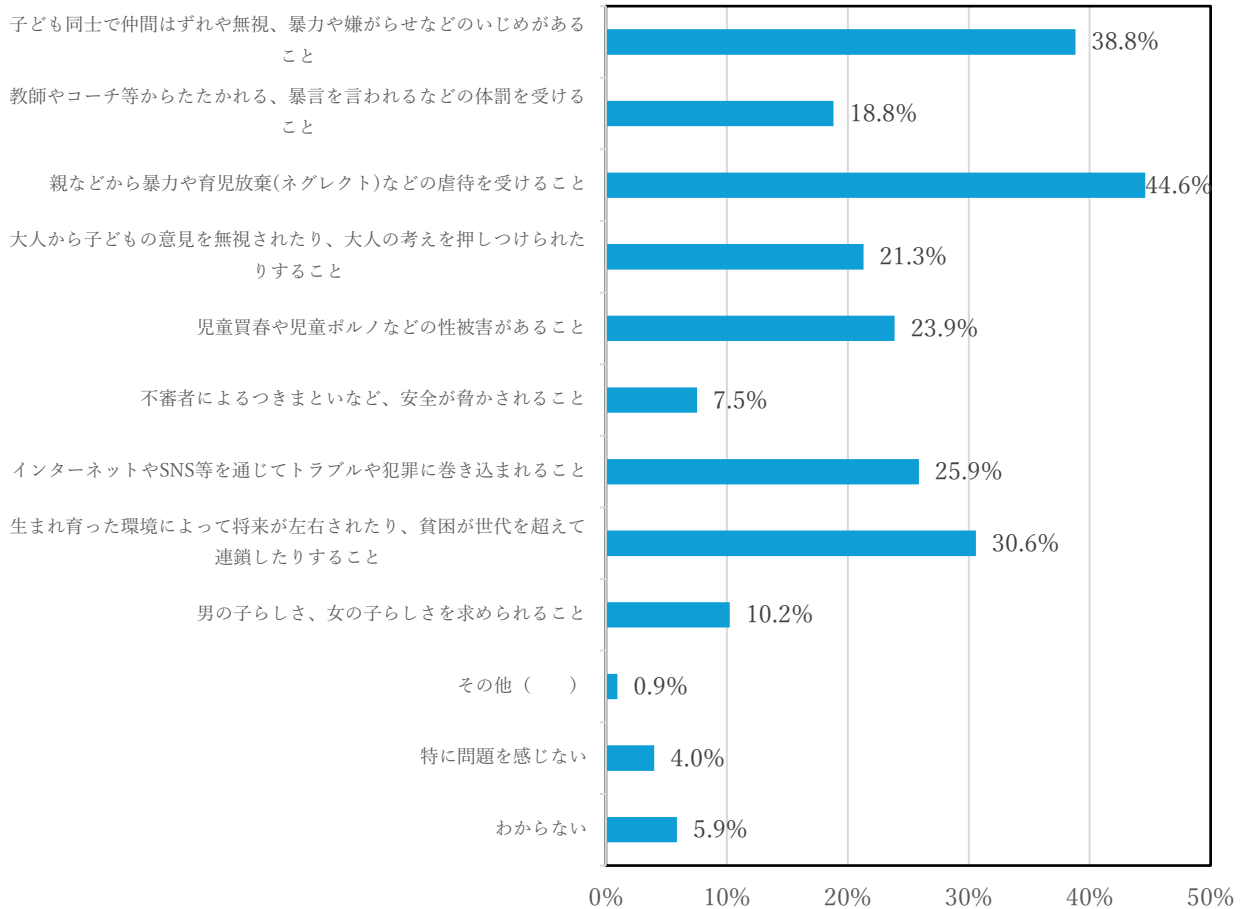
問7 子どもの人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

「親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること」(44.6%)が最も多く、「子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること」(38.8%)、「生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること」(30.6%)が続いた。

表 3-3-1

問7 子どもの人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。 (特に強く感じるもの3つ以内)	回答数	割合
子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること	330	38.8%
教師やコーチ等からたたかれる、暴言を言われるなどの体罰を受けること	160	18.8%
親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること	379	44.6%
大人から子どもの意見を無視されたり、大人の考えを押しつけられたりすること	181	21.3%
児童買春や児童ポルノなどの性被害があること	203	23.9%
不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること	64	7.5%
インターネットやSNS等を通じてトラブルや犯罪に巻き込まれること	220	25.9%
生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること	260	30.6%
男の子らしさ、女の子らしさを求められること	87	10.2%
その他 ()	8	0.9%
特に問題を感じない	34	4.0%
わからない	50	5.9%
	無回答	9
	無効回答	30
	有効回答数 (n)	1976

図 3-3-1



■その他の内容 9件（一部抜粋）

- ◇ 子どもの意見を確認せずに保育施設に入れること【50代・男性】
- ◇ 皆が同じことをするのが正しいという風習【40代・女性】

■属性別の特徴

性別：男女ともに「親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること」（男性 40.8%、女性 47.5%）が最も多く、「子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること」（男性 38.0%、女性 40.5%）が続いた。「児童買春や児童ポルノなどの性被害があること」は、女性が男性よりも 11.8% 高かった。

年齢：ほぼ全ての年齢層で「親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること」の割合が高かった。また、「大人から子どもの意見を無視されたり、大人の考えを押し付けられたりすること」は、他の年齢層に比べて年齢層が低いほど割合が高かった。

子の有無：子の有無に関わらず「親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること」、「子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること」の割合が高かった。「インターネットや SNS 等を通じてトラブルや犯罪に巻き込まれること」は、未成年の子がいる場合がいない場合よりも 11.6% 高かった。

図 3-3-1-1 (性別)

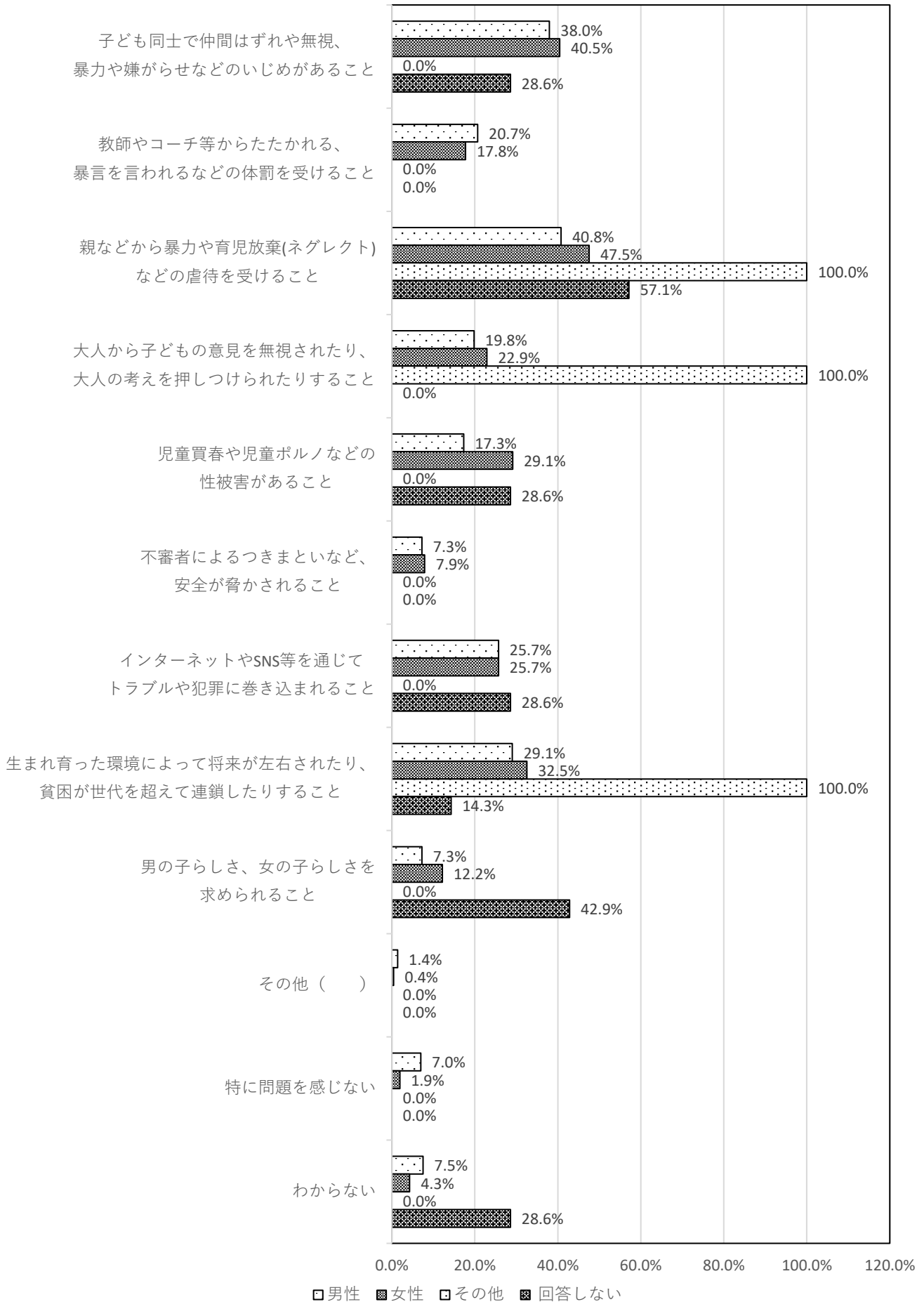


図 3-3-1-2 (年齢別)

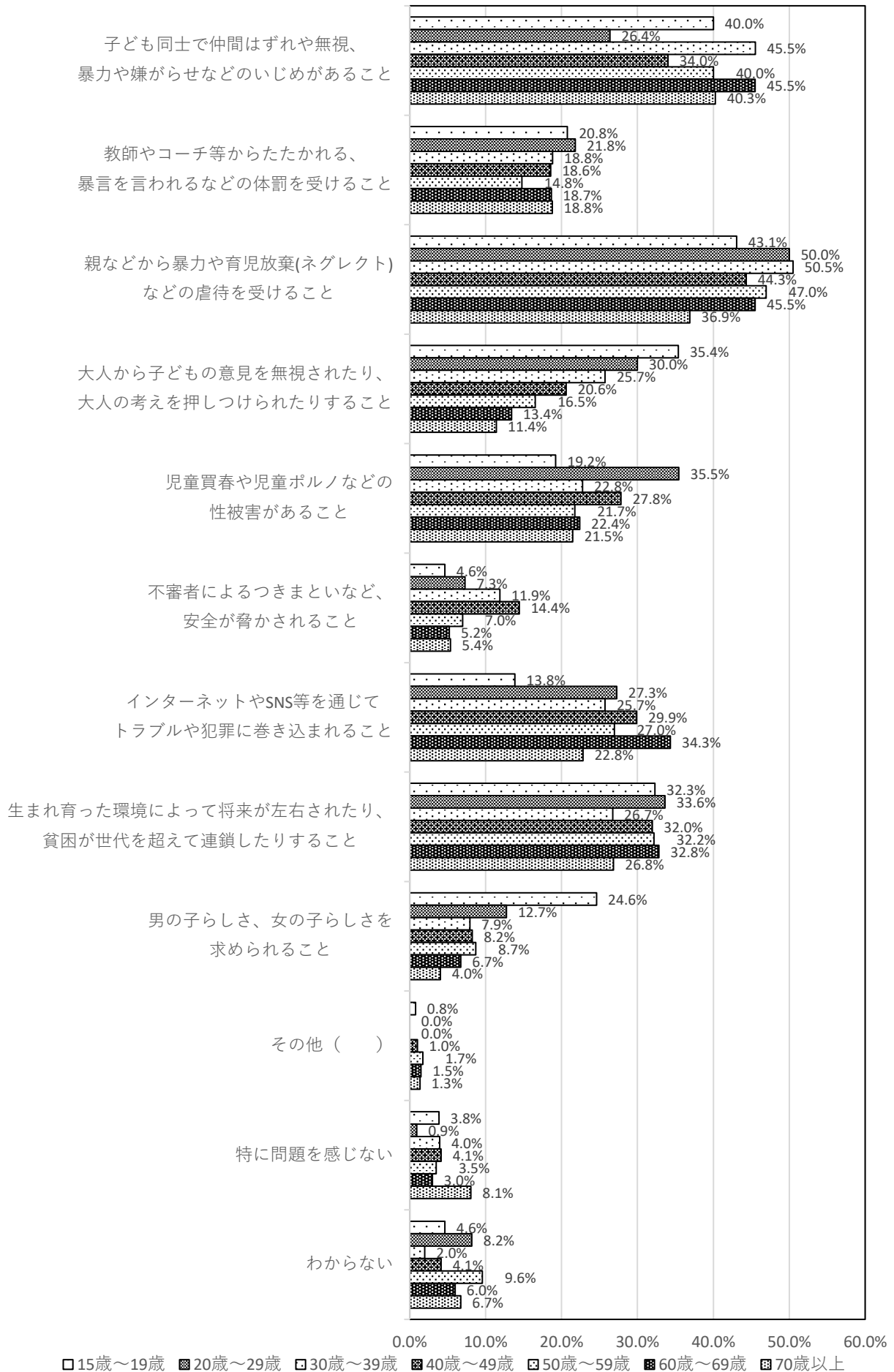
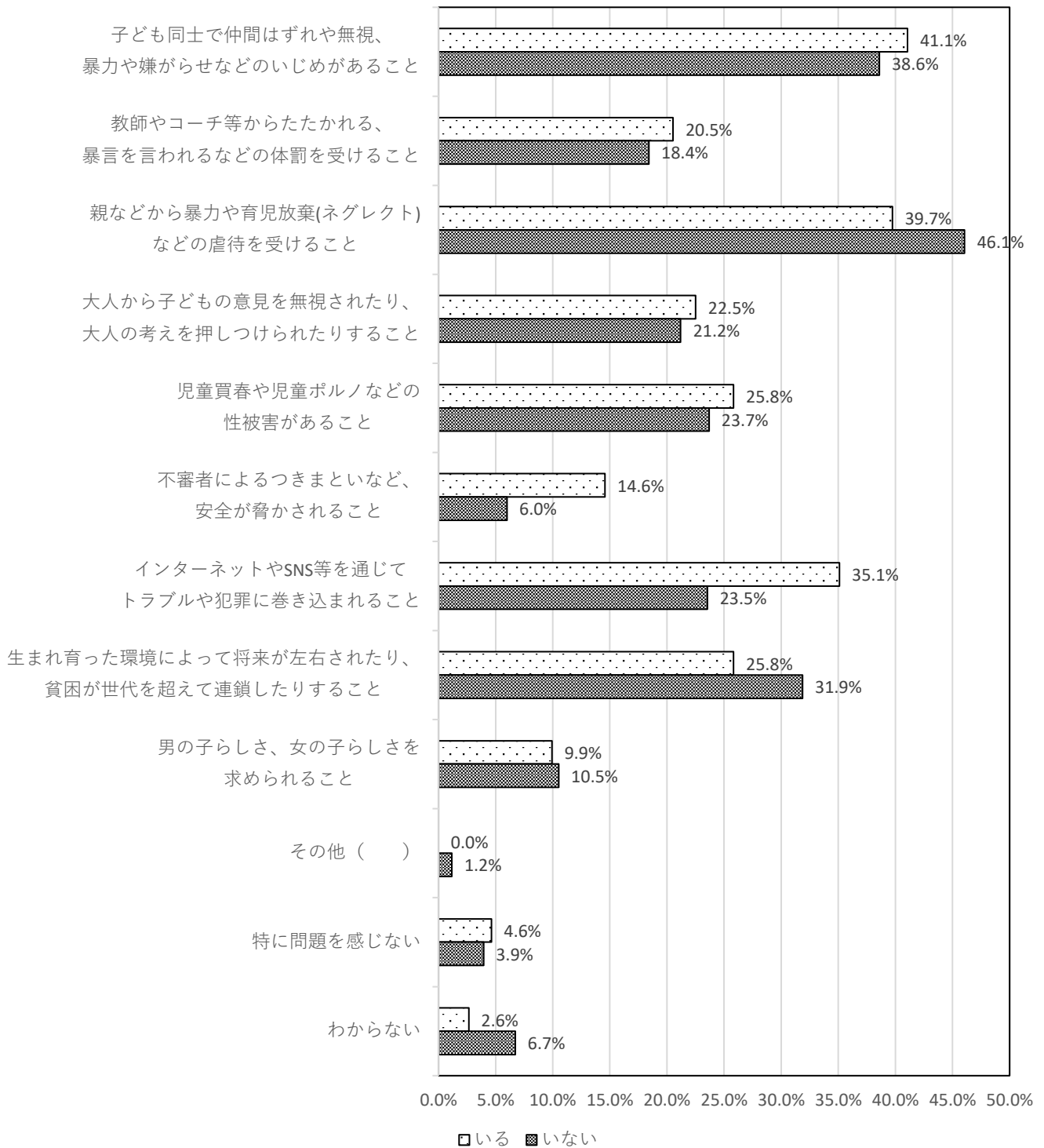


図 3-3-1-3 (未成年の子の有無)



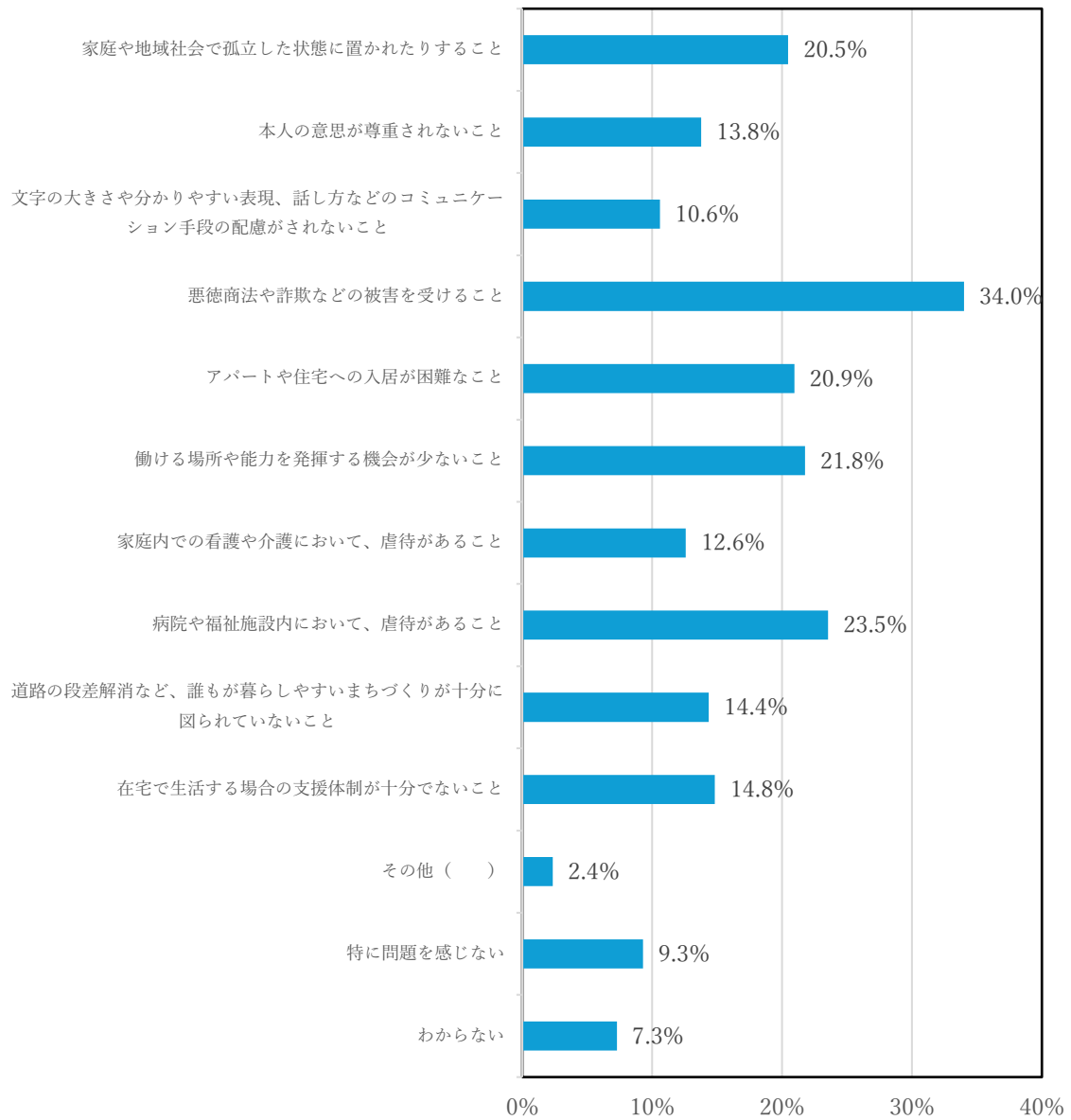
問8 高齢者の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

「悪徳商法や詐欺などの被害を受けること」(34.0%)が最も多く、「病院や福祉施設内において、虐待があること」(23.5%)、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(21.8%)が続いた。

表 3-3-2

問8 高齢者の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。 (特に強く感じるもの3つ以内)	回答数	割合
家庭や地域社会で孤立した状態に置かれたりすること	174	20.5%
本人の意思が尊重されないこと	117	13.8%
文字の大きさや分かりやすい表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと	90	10.6%
悪徳商法や詐欺などの被害を受けること	289	34.0%
アパートや住宅への入居が困難なこと	178	20.9%
働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	185	21.8%
家庭内での看護や介護において、虐待があること	107	12.6%
病院や福祉施設内において、虐待があること	200	23.5%
道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	122	14.4%
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	126	14.8%
その他 ()	20	2.4%
特に問題を感じない	79	9.3%
わからない	62	7.3%
	無回答	13
	無効回答	16
	有効回答数 (n)	1749

図 3-3-2



■その他の内容 18 件（一部抜粋）

- ◇ 何でもネット化（予約や申し込みなど） 5件
- ◇ 様々な公共施設で老人が一人で手続きをするには複雑で困難な状況があること【60代・男性】
- ◇ 高齢で一人暮らしをしている方が不便なことがあった場合に、誰にも助けを求められない時【20代・女性】
- ◇ 地方自治体によって介護度の認定に差があること。加えて交通費の補助金等に差があること【60代・女性】
- ◇ 年金をもらう年齢になっても働かないと暮らしていけない貧困者が増えていること【30代・女性】

■属性別の特徴

- 性別：男女で大きな差は見られなかったが、女性が男性よりも回答の割合が高い傾向にあった。
男女ともに「悪徳商法や詐欺などの被害を受けること」（男性 33.2%、女性 34.3%）が最も多かった。
- 男性は「アパートや住宅への入居が困難なこと」（19.0%）、「病院や福祉施設内において、虐待があること」（19.0%）が続いた。
- 女性は「病院や福祉施設内において、虐待があること」（26.3%）、「働ける場所や能力の発揮する機会が少ないこと」（24.2%）が続いた。
- 年齢：世代間で大きな差はみられなかったが、他の年齢層と比べて年齢層が低い世代で割合が低い傾向にあった。

図 3-3-2-1 (性別)

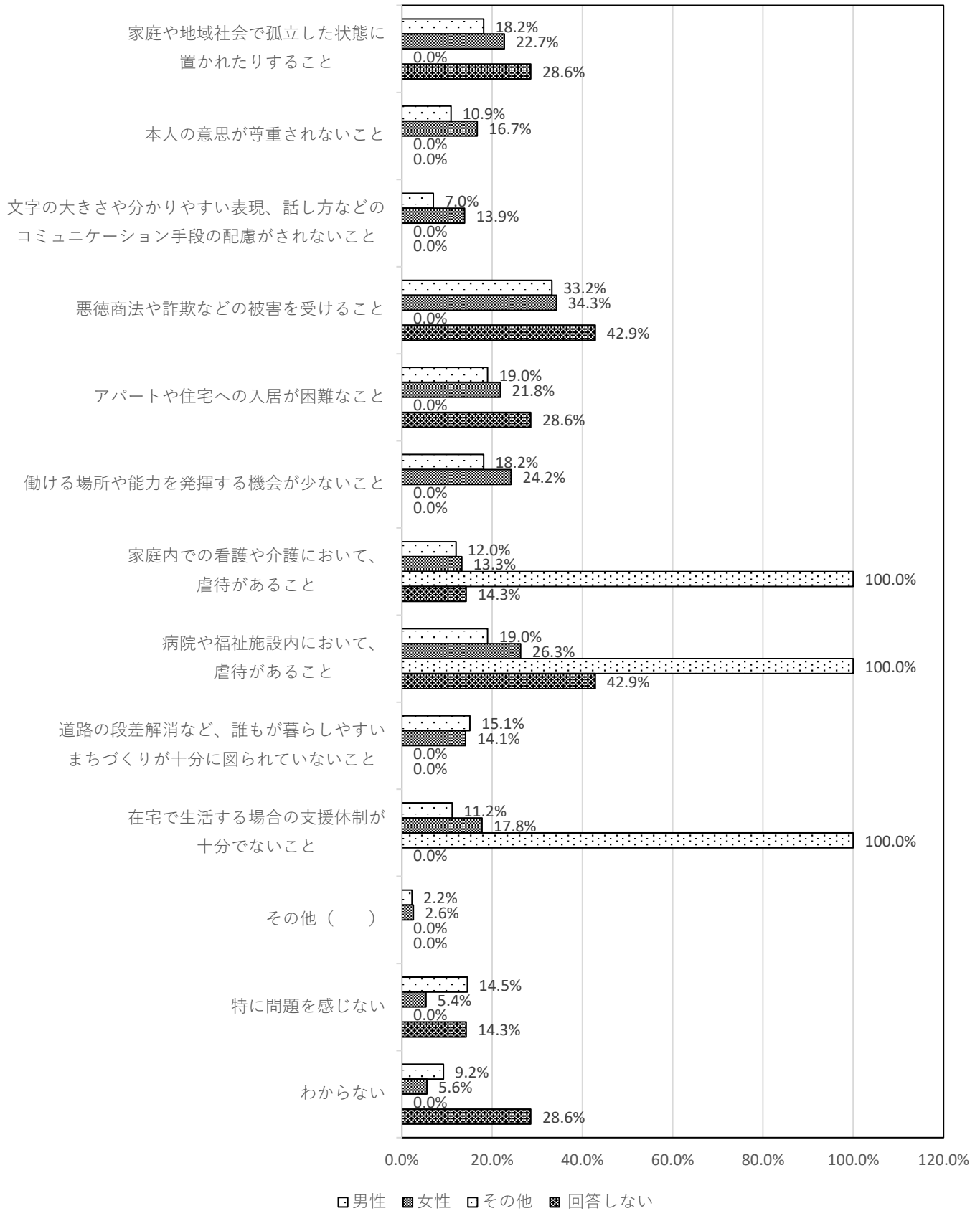
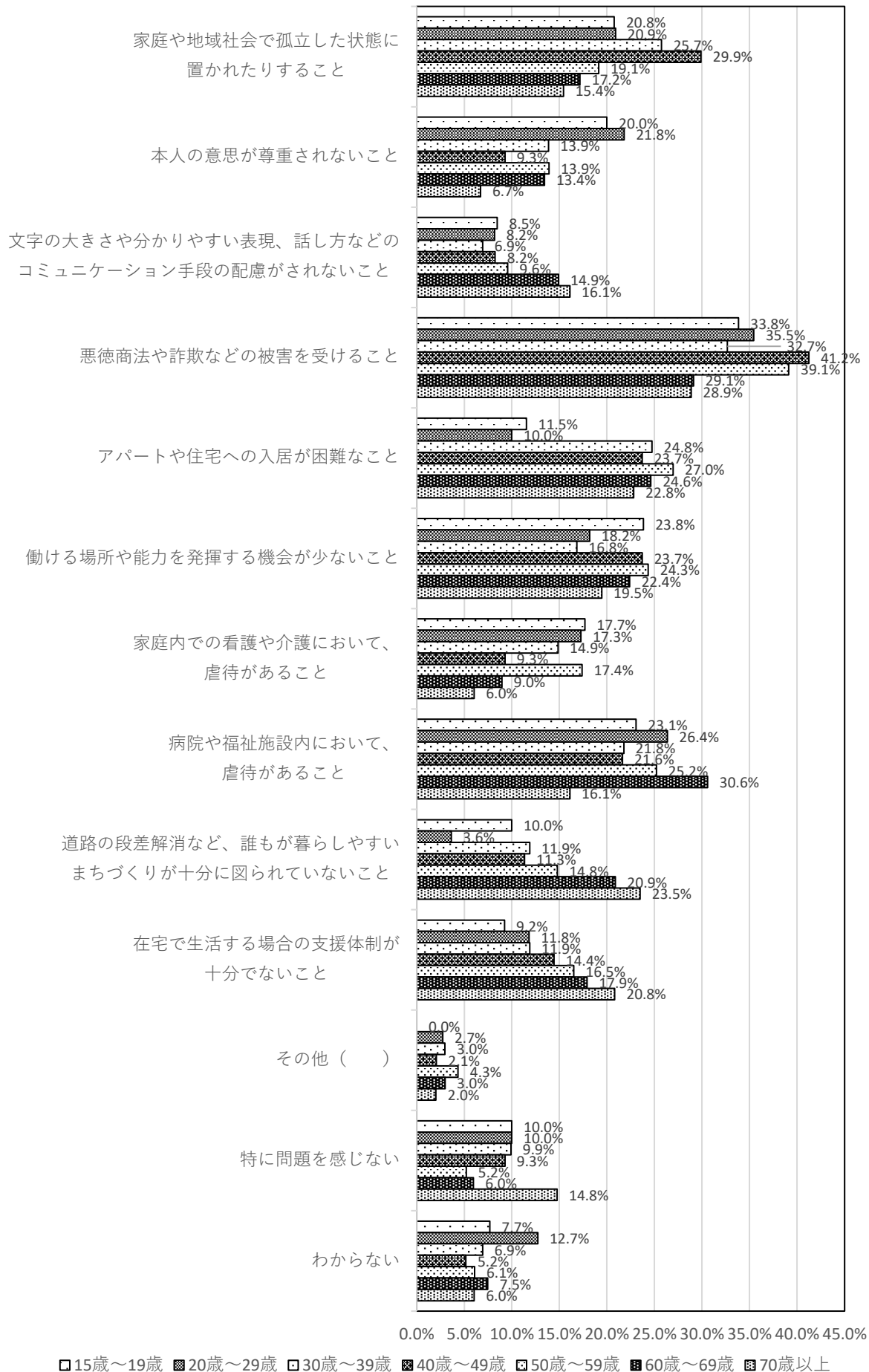


図 3-3-2-2 (年齢別)



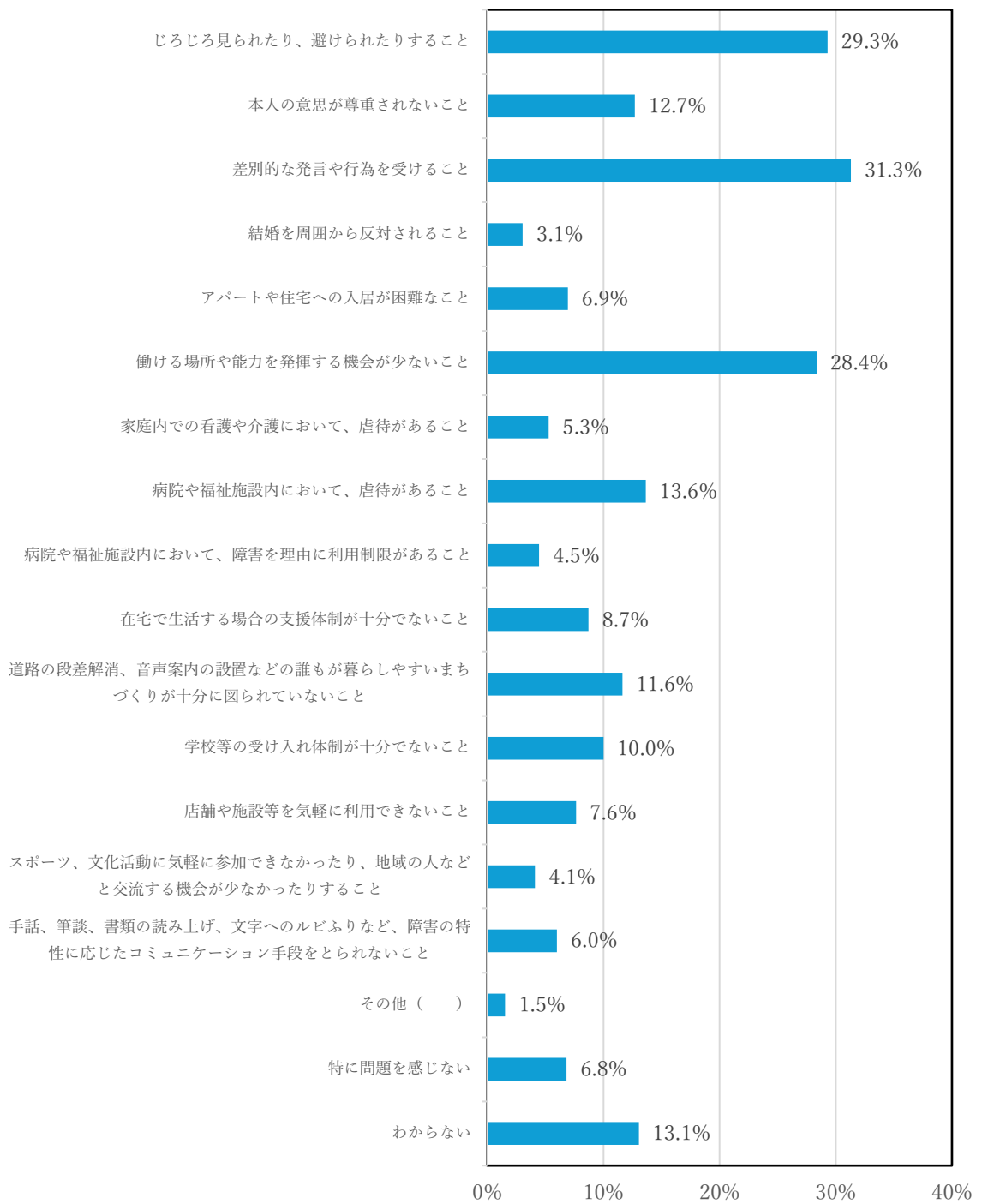
問9 障害者の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

「差別的な発言や行為を受けること」(31.3%)が最も多く、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」(29.3%)、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」(28.4%)が続いた。

表 3-3-3

問9 障害者の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。 (特に強く感じるもの3つ以内)	回答数	割合
じろじろ見られたり、避けられたりすること	249	29.3%
本人の意思が尊重されないこと	108	12.7%
差別的な発言や行為を受けること	266	31.3%
結婚を周囲から反対されること	26	3.1%
アパートや住宅への入居が困難なこと	59	6.9%
働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと	241	28.4%
家庭内での看護や介護において、虐待があること	45	5.3%
病院や福祉施設内において、虐待があること	116	13.6%
病院や福祉施設内において、障害を理由に利用制限があること	38	4.5%
在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと	74	8.7%
道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと	99	11.6%
学校等の受け入れ体制が十分でないこと	85	10.0%
店舗や施設等を気軽に利用できないこと	65	7.6%
スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること	35	4.1%
手話、筆談、書類の読み上げ、文字へのルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと	51	6.0%
その他 ()	13	1.5%
特に問題を感じない	58	6.8%
わからない	111	13.1%
無回答	18	
無効回答	16	
有効回答数 (n)	1739	

図 3-3-3



■その他の内容 14 件（一部抜粋）

- ◇ 健常者として認めてもらえない 【50 代・男性】
- ◇ 障害があることが回りの人にわからない 【60 代・男性】
- ◇ ヘルプマークの普及活動等が不十分。優先席等精神障害者への配慮がもう少しほしい 【40 代・女性】
- ◇ 本人の同意なく SNS に動画をアップロードされたり撮影されたりすること 【20 代・男性】
- ◇ 見た目で判断されること 【50 代・男性】
- ◇ 交通機関での優先席が正しく機能していない 【60 代・女性】
- ◇ 障害者手帳を持つ事の気持ちが周囲に理解されていない 【60 代・男性】
- ◇ 過度な意識や過剰なサービスを受けられる 【20 代・男性】

■属性別の特徴

性別：男女で大きな差はみられず、男女ともに「差別的な発言や行為を受けること」（男性 29.3%、女性 33.2%）が最も多かった。

男性は「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」（26.5%）、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」（25.7%）が続いた。

女性は「じろじろ見られたり、避けられたりすること」（32.8%）、「働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと」（30.0%）が続いた。

年齢：「差別的な発言や行為を受けること」や「じろじろ見られたり、避けられたりすること」は、他の年齢層に比べて年齢層が低い世代で割合が高い傾向にあった。また、「道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと」は、他の年齢層に比べて年齢層が高い世代で割合が高い傾向にあった。

図 3-3-3-1 (性別)

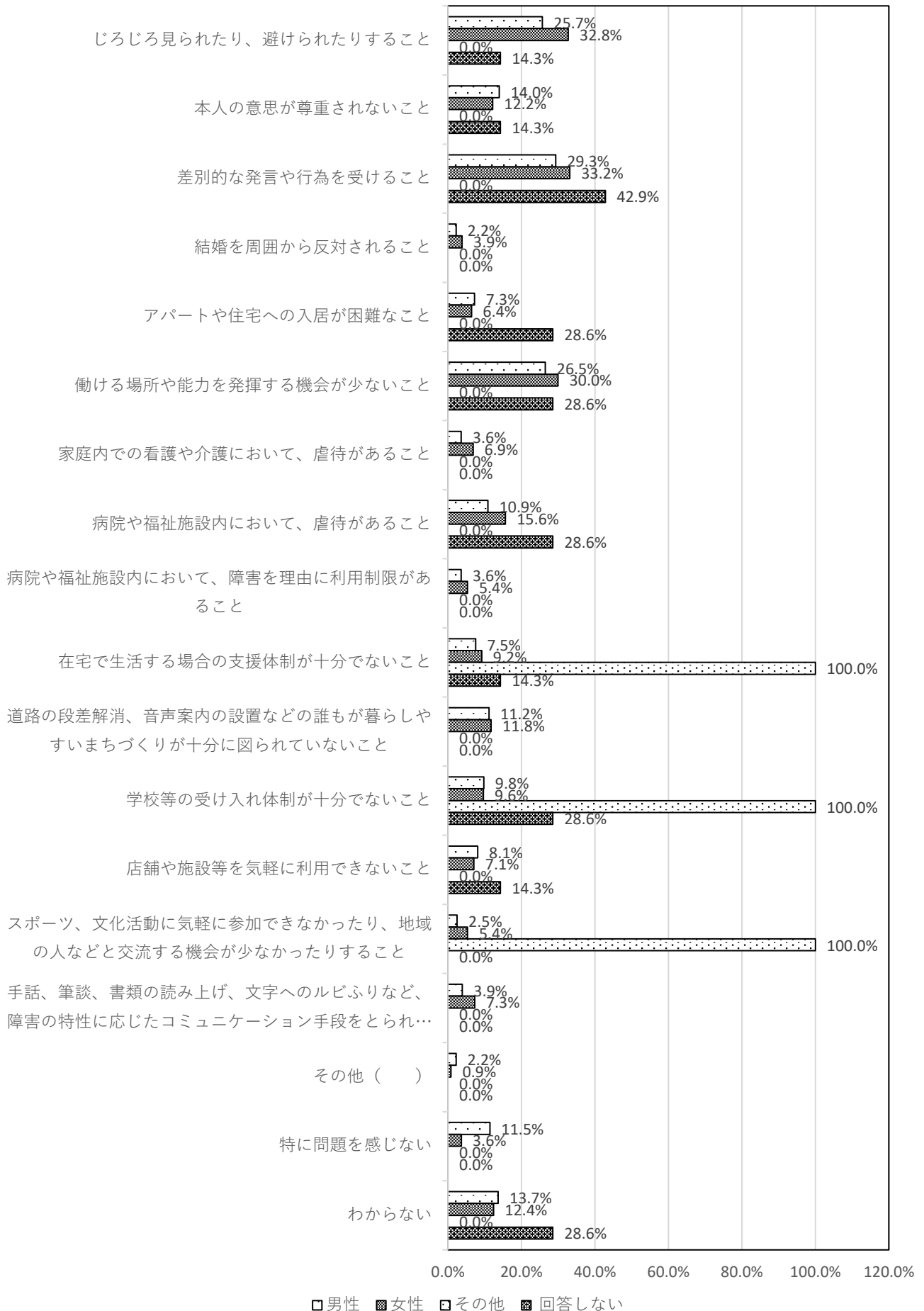
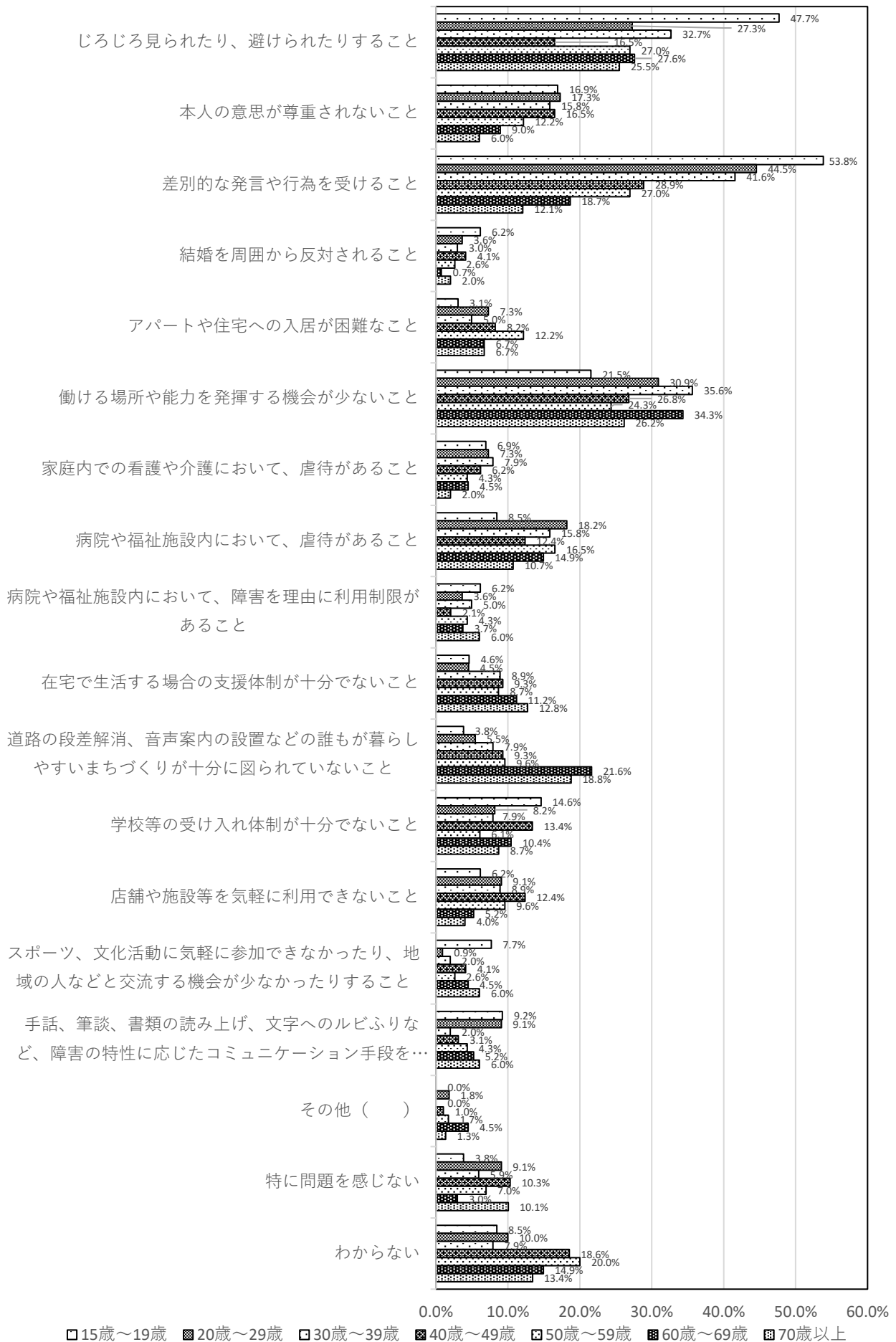


図 3-3-3-2 (年齢別)



- 問10 ① あなたは、日本の社会に「部落差別」、「同和問題」などと言われる問題があることを知っていますか。知っている場合、初めて知ったきっかけは何ですか。
- ② 問10 で知っているとお答えの方。初めて知ったきっかけについてもお答えください。

部落差別・同和問題の認知度は61.2%であった。

初めて知ったきっかけとしては、「学校の授業で教わった」(26.9%)が最も多く、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」(24.9%)、「家族(父母、きょうだいなど)から聞いた」(16.3%)が続いた。

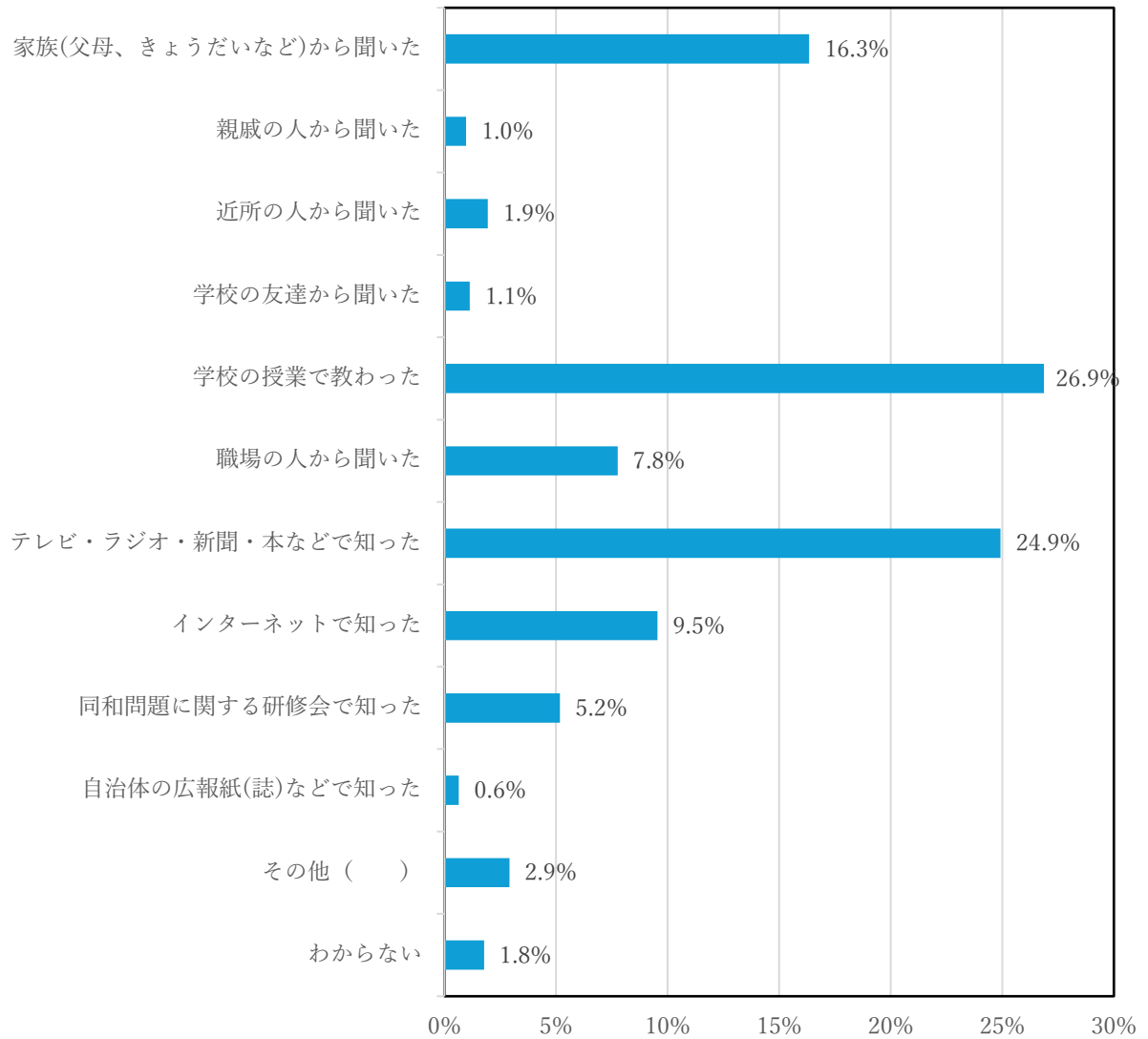
表 3-3-4 ①

問10 あなたは、日本の社会に「部落差別」、「同和問題」などと言われる問題があることを知っていますか。知っている場合、初めて知ったきっかけは何ですか。	回答数	割合
知っている	507	61.2%
知らない	321	38.8%
無回答	22	
無効回答	0	
有効回答数 (n)	828	100.0%

表 3-3-4 ②

問10で知っているとお答えの方。初めて知ったきっかけについてもお答えください。	回答数	割合
家族(父母、きょうだいなど)から聞いた	101	16.3%
親戚の人から聞いた	6	1.0%
近所の人から聞いた	12	1.9%
学校の友達から聞いた	7	1.1%
学校の授業で教わった	166	26.9%
職場の人から聞いた	48	7.8%
テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った	154	24.9%
インターネットで知った	59	9.5%
同和問題に関する研修会で知った	32	5.2%
自治体の広報紙(誌)などで知った	4	0.6%
その他 ()	18	2.9%
わからない	11	1.8%
	無回答	17
	無効回答	321
	有効回答数 (n)	618
		100.0%

図 3-3-4 ②



■その他の内容 20 件（一部抜粋）

- ◇ テーマとなっている映画を見た 3 件
- ◇ いつ知ったか記憶にない 2 件
- ◇ 知人から聞いた 2 件
- ◇ 組合活動をしてから 【60 代・男性】
- ◇ 僧侶の勉強会 【70 歳以上・男性】
- ◇ 職場の研修 【60 代・女性】
- ◇ 仕事 【50 代・女性】
- ◇ 子どもの学校役員での人権問題に関わっていたから 【50 代・女性】
- ◇ 表現・言葉は聞いたことはあるが内容は知らない 【70 歳以上・女性】
- ◇ そういふものの存在を感じ取れる環境が身近にあった 【40 代・男性】
- ◇ エセ同和団体から金銭を間接的に要求された 【60 代・男性】

■属性別の特徴

性別：男女ともに「知っている」の割合（男性 62.3%、女性 57.8%）に大きな差はみられなかった。また、「学校の授業で教わった」（男性 26.0%、女性 28.0%）が最も多く、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」（男性 22.1%、女性 27.4%）が続いた。

年齢：「知っている」は、他の年齢層と比べて年齢層が低い世代で割合が低い傾向にあり、年齢層が高い世代で割合が高い傾向にあった。

また、「学校の授業で教わった」は、年齢層が低いほど割合が高かった。「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」は、他の年齢層と比べて年齢層が高い世代で割合が高い傾向にあった。

図 3-3-4-1 ① (性別)

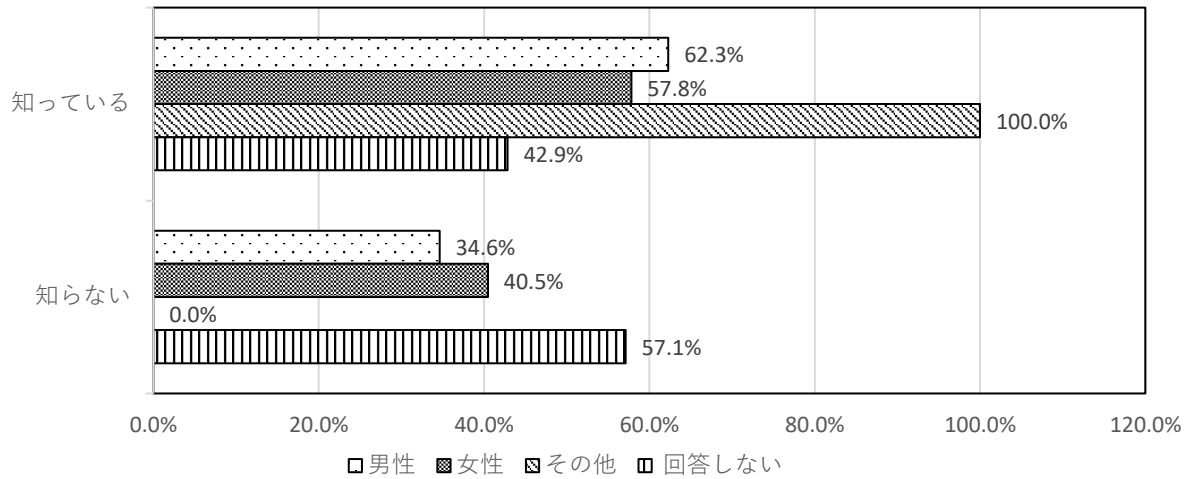


図 3-3-4-2 ① (年齢別)

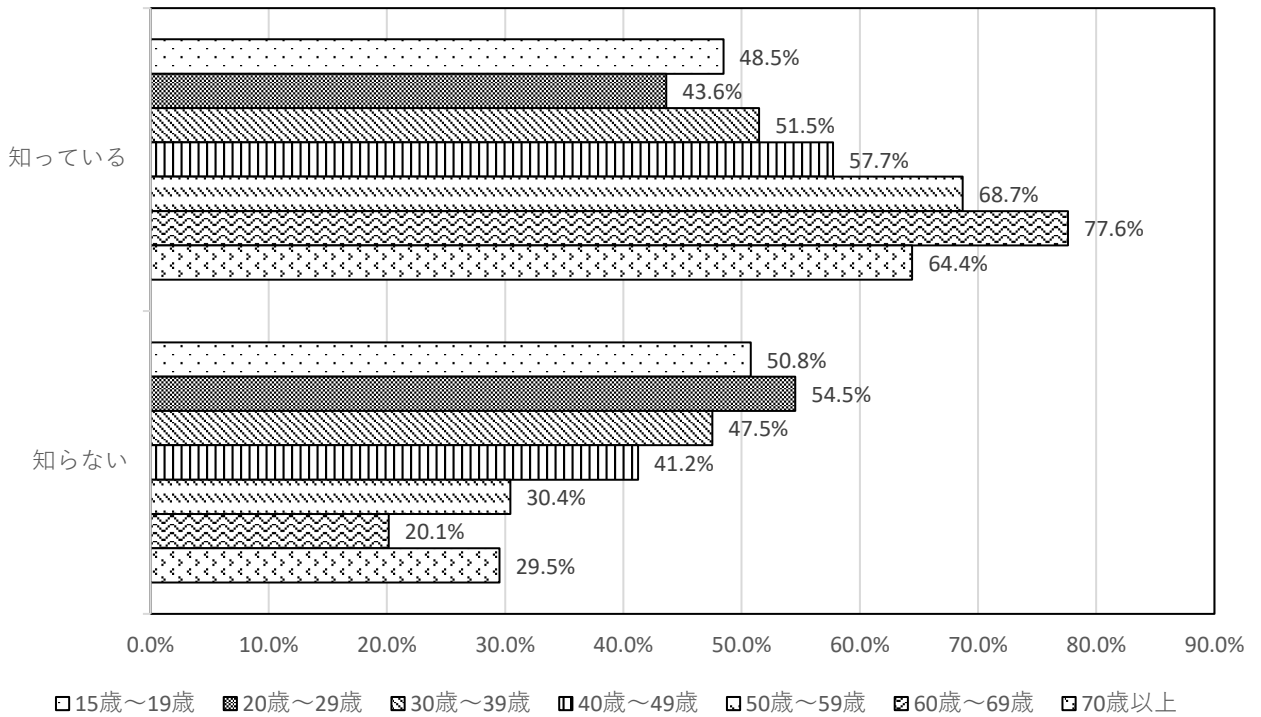


図 3-3-4-1 ② (性別)

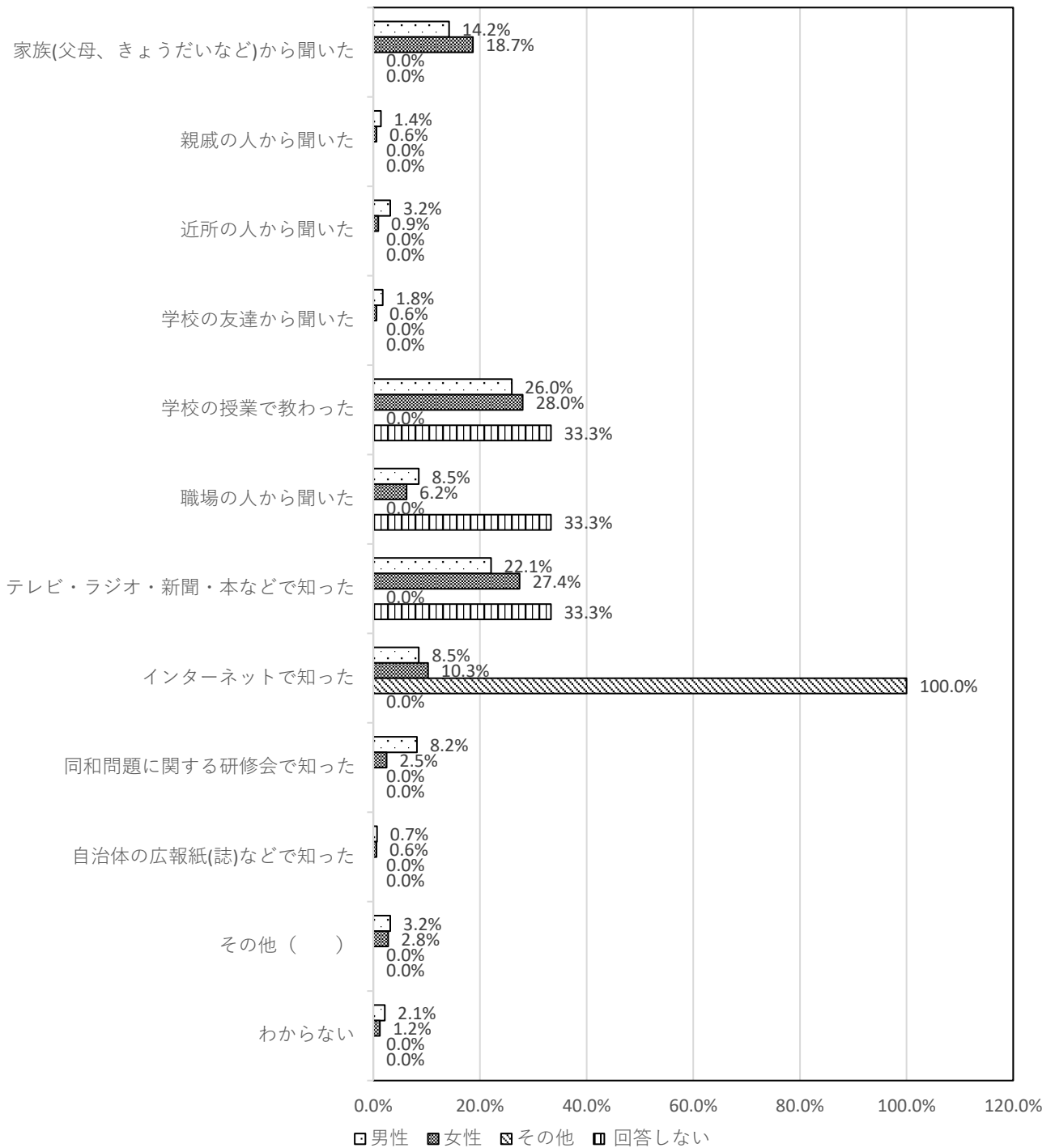
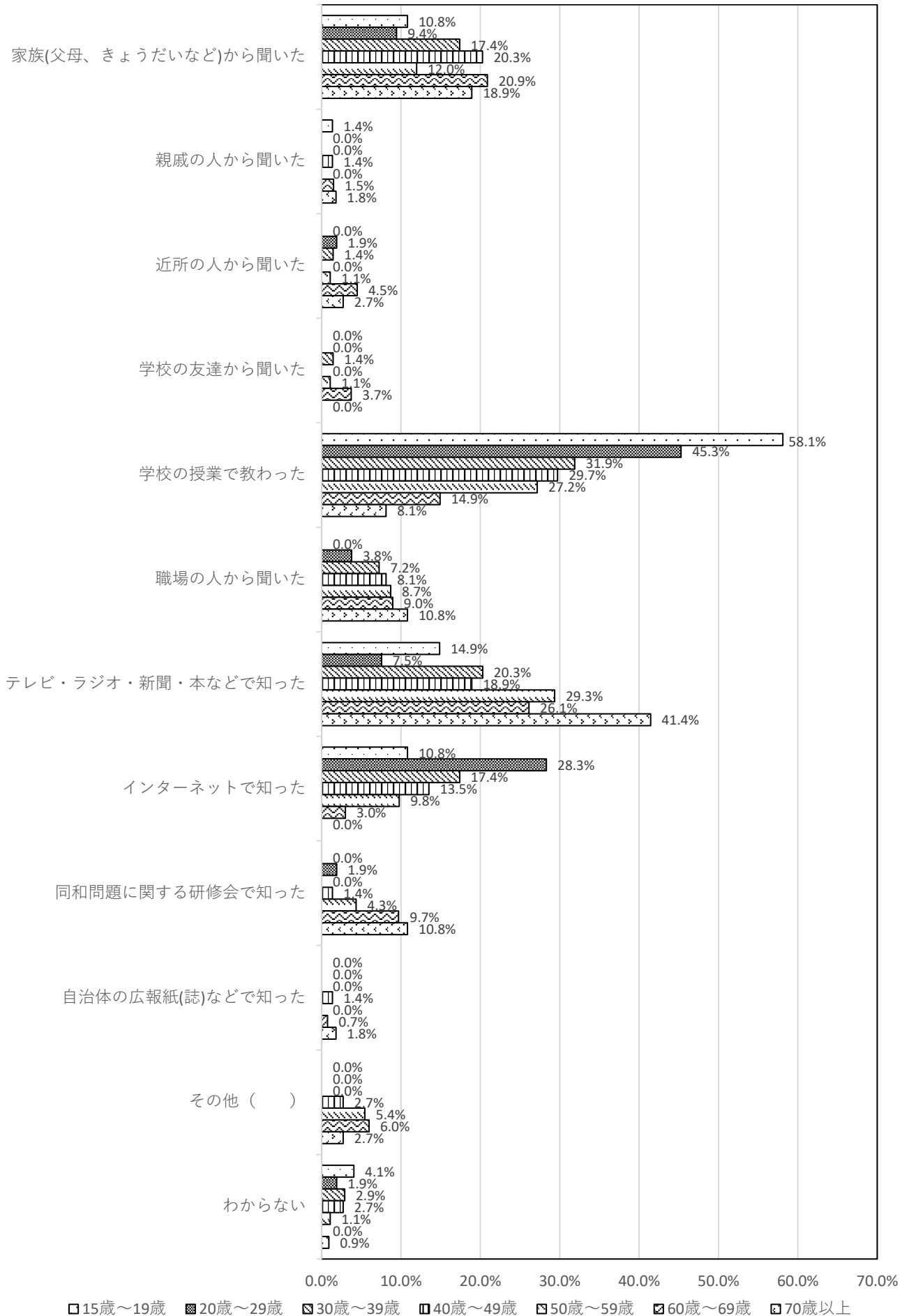


図 3-3-4-2 ② (年齢別)



- 問 11 ① これから自分が結婚しようとする相手が被差別部落(同和地区)出身の人であるとわかった場合どうしますか。(あてはまるもの1つに○)
- ② もし、あなたの子どもの結婚相手が被差別部落(同和地区)出身の人であるとわかった場合あなたはどうしますか。(あてはまるもの1つに○)

自分の結婚相手の場合、「相手の出身は気にせず、結婚する」(42.3%)が最も多く、「結婚は取りやめる」(3.7%)が最も低かった。「わからない」の割合は35.4%であった。

自身の子どもの結婚相手の場合、「子どもの意志を尊重し、認める」(55.9%)が最も多く、「絶対に認めない」(2.1%)が最も低かった。「わからない」は26.8%であった。

自身の子どもの結婚相手の場合の「子どもの意志を尊重し、認める」は、自身の結婚相手の場合の「相手の出身は気にせず、結婚する」よりも13.6%高かった。

表 3-3-5 ①

問11 ①これから自分が結婚しようとする相手が被差別部落(同和地区)出身の人であるとわかった場合どうしますか。(あてはまるもの1つに○)	回答数	割合
相手の出身は気にせず、結婚する	216	42.3%
親や親戚の反発があっても説得し、意志を貫いて結婚する	63	12.3%
親や親戚の反発があれば関係を解消する	23	4.5%
結婚は取りやめる	19	3.7%
その他()	9	1.8%
わからない	181	35.4%
無回答	18	
無効回答	321	
有効回答数 (n)	511	100.0%

表 3-3-5 ②

問11 ②もし、あなたの子どもの結婚相手が被差別部落(同和地区)出身の人であるとわかった場合あなたは どうしますか。(あてはまるもの1つに○)	回答数	割合
子どもの意志を尊重し、認める	286	55.9%
親戚や周りの人間から反対があっても、親として認める	53	10.4%
親戚や周りの人間から反対があれば、認めない	14	2.7%
絶対に認めない	11	2.1%
その他()	11	2.1%
わからない	137	26.8%
無回答	16	
無効回答	322	
有効回答数 (n)	512	100.0%

図 3-3-5 ①

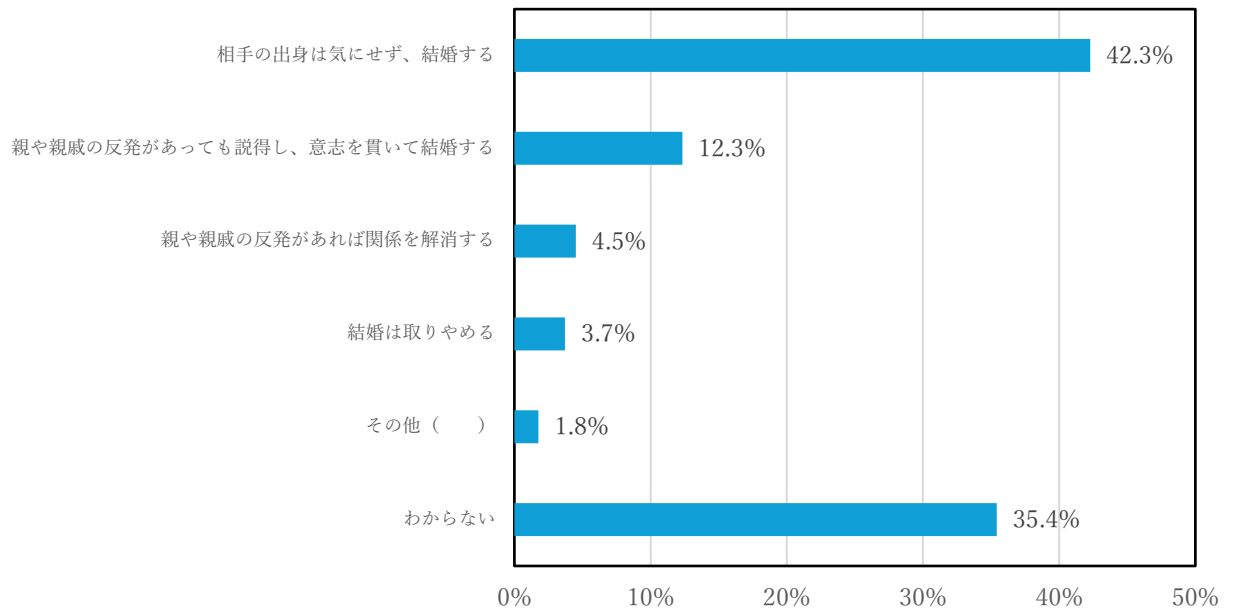


図 3-3-5 ②

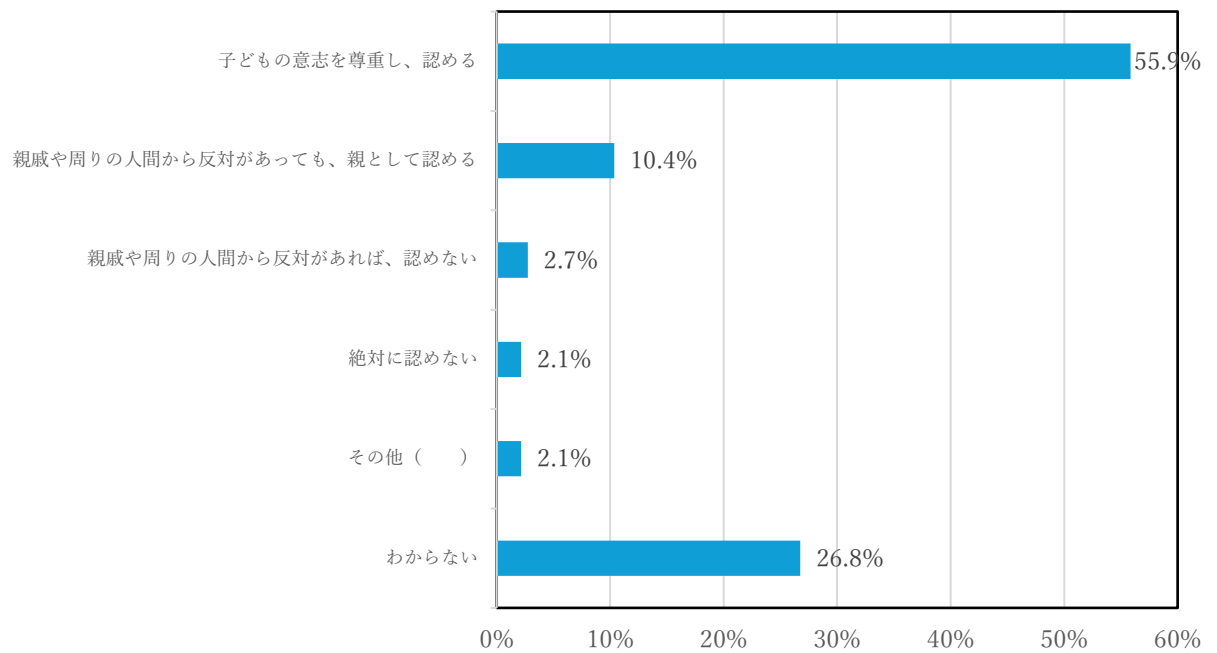
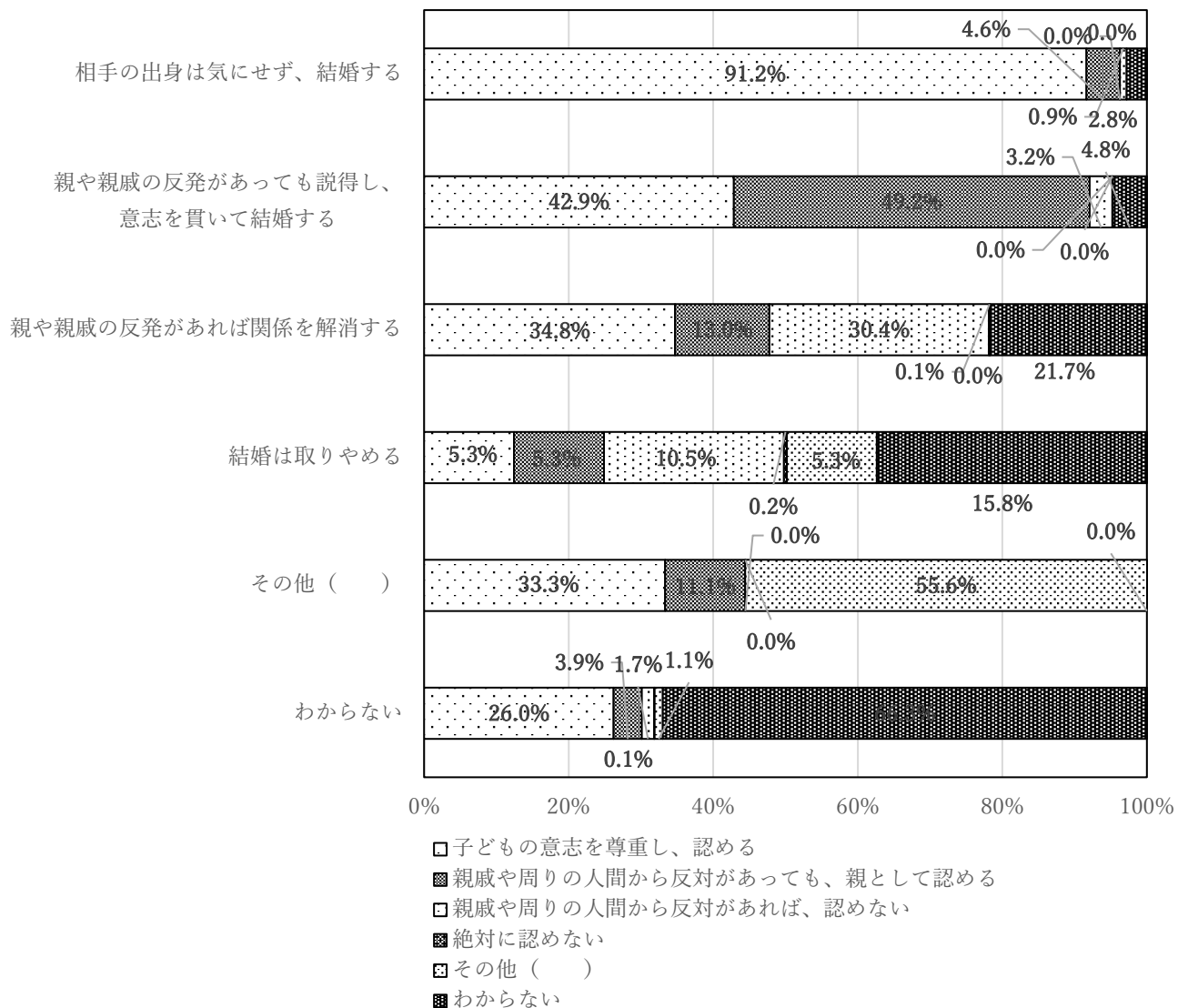


表 3-3-5-1 (①×②)

有効回答数 508 件

問11①×問11②	子どもの意志を尊重し、認める		親戚や周りの人間から反対があっても、親として認める		親戚や周りの人間から反対があれば、認めない		絶対に認めない		その他 ()		わからない		計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
相手の出身は気にせず、結婚する	216	91.2%	10	4.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%	6	2.8%	215	
親や親戚の反発があっても説得し、意志を貫いて結婚する	63	42.9%	31	49.2%	2	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.8%	63	
親や親戚の反発があれば関係を解消する	23	34.8%	3	13.0%	7	30.4%	0	0.0%	0	0.0%	5	21.7%	23	
結婚は取りやめる	19	5.3%	1	5.3%	2	10.5%	11	57.9%	1	5.3%	3	15.8%	19	
その他 ()	9	33.3%	1	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	5	55.6%	0	0.0%	9	
わからない	181	26.0%	7	3.9%	3	1.7%	0	0.0%	2	1.1%	120	66.3%	179	
有効回答数 (n)	511		283		53		14		11		10		137	508

図 3-3-5-1 (①×②)



■その他の内容（一部抜粋）

① 自分の結婚相手が被差別部落(同和地区)出身の人であるとわかった場合 10件

- ◇ 相手方の親族と話して決める 【20代・女性】
- ◇ 相手の人柄などその人自身の性質による 【15～19歳・男性】
- ◇ 相手次第 【50代・男性】
- ◇ 結婚を決める判断材料ではない 【60代・女性】
- ◇ 部落出身ということが、日本社会でどれほど大きいことなのかを知らない 【40代・女性】

② 子どもの結婚相手が被差別部落(同和地区)出身の人であるとわかった場合 11件

- ◇ 相手の人柄などその人自身の性質による 3件
- ◇ 認めない方向で説得するが、最終的に本人の意思を尊重すると思います 【20代・女性】
- ◇ 相手と親族の対応が問題なければ問題ない 【40代・女性】
- ◇ 人間として真っ当であるなら認める。部落だろうがなかろうが人としての問題だと思う 【30代・女性】
- ◇ 親や親戚に決める権限はない 【60代・女性】

■属性別の特徴

性別：自分の結婚相手の場合では、「相手の出身は気にせず、結婚する」（男性49.1%、女性36.7%）は、男性が女性よりも12.4%高かった。「わからない」は大きな差が見られなかった。

一方で、子どもの結婚相手の場合では、「子どもの意志を尊重し、認める」（男性61.6%、女性50.9%）は、男性が女性よりも10.7%高かった。「わからない」は5.0%の差であった。

年齢：自分の結婚相手の場合では、「相手の出身は気にせず、結婚する」は、他の年齢層と比べて年齢層が低い世代で割合が高い傾向にあった。

一方で、子どもの結婚相手の場合では、「子どもの意志を尊重し、認める」は、10代（71.0%）が最も多く、20代（67.3%）が続いた。「わからない」は、他の年齢層と比べて10代と20代で割合が低かった。

結婚の有無：「相手の出身は気にせず結婚する」は、自分が結婚していない場合がある場合よりも14.6%高かった。

子の有無：子どもが結婚する場合の回答には大きな差はなく、ともに「子どもの意志を尊重し、認める」が最も多かった。

設問間でのクロス集計では、自分の場合で「相手の出身は気にせず、結婚する」と回答した方の9割が、子どもの場合でも「子どもの意志を尊重する」という傾向にあった。

図 3-3-5-3 ① (性別)

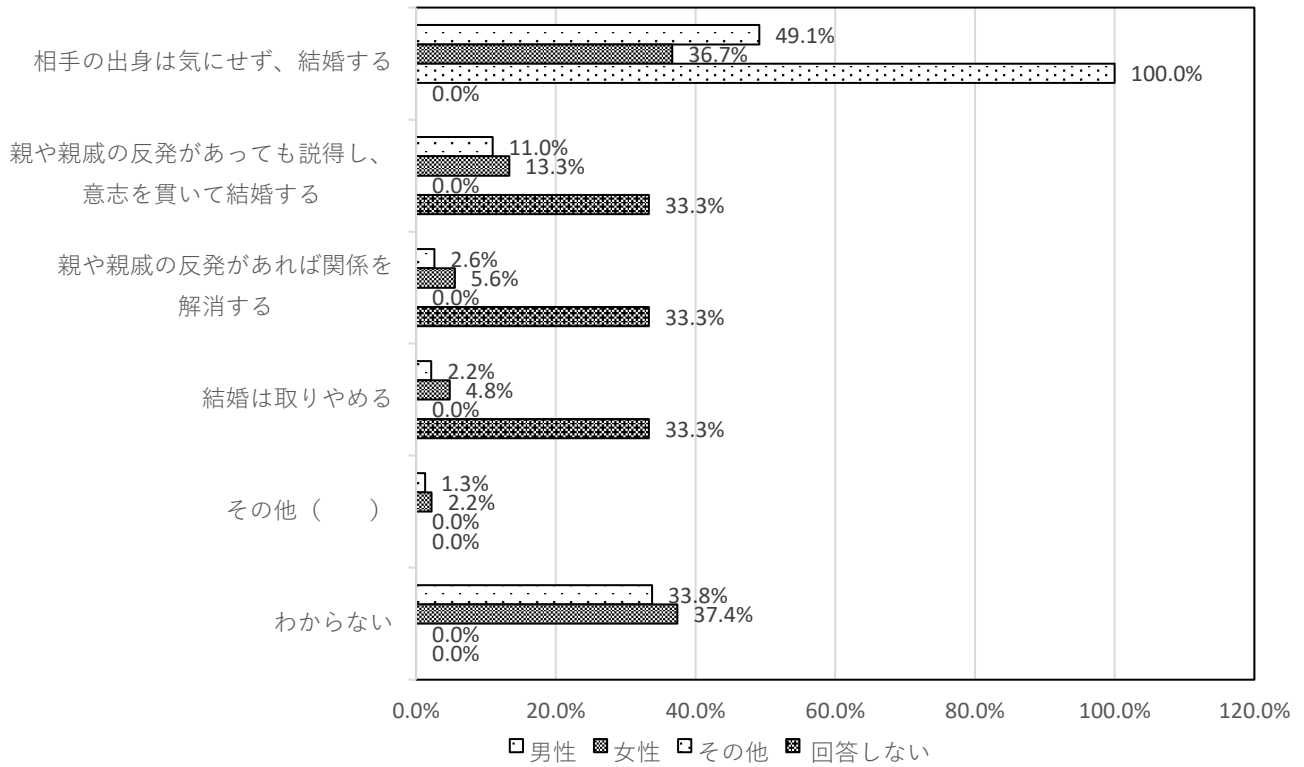


図 3-3-5-3 ② (性別)

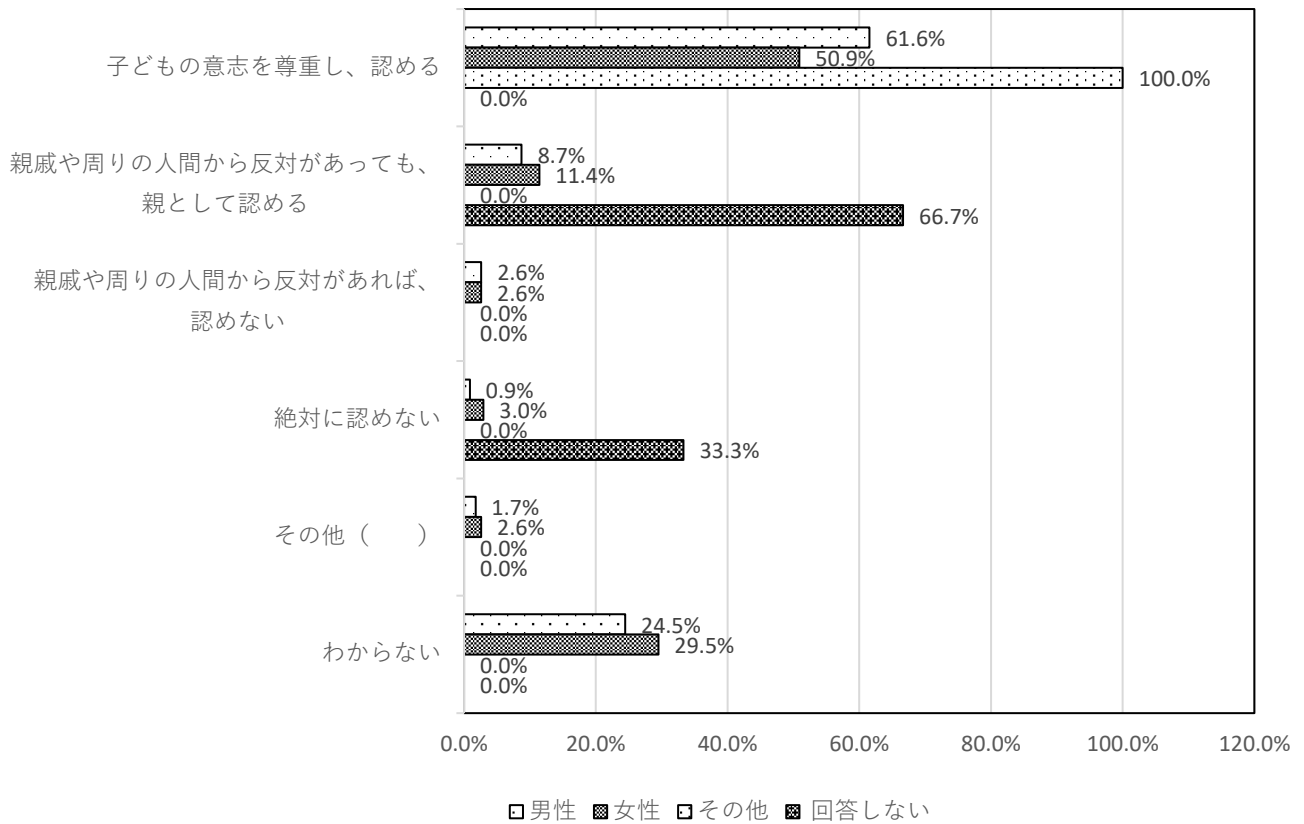


図 3-3-5-4 ① (年齢別)

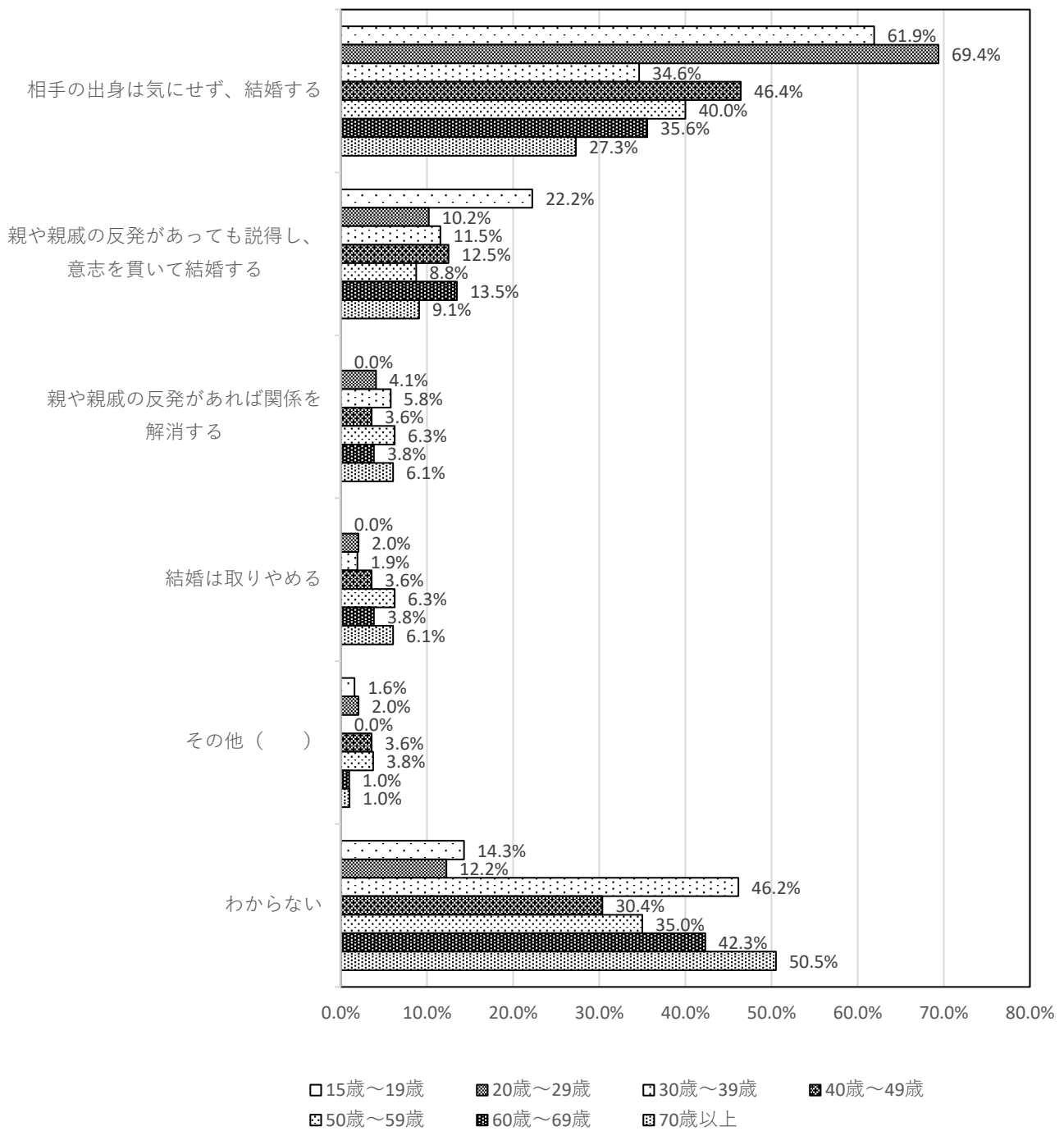


図 3-3-5-4 ② (年齢別)

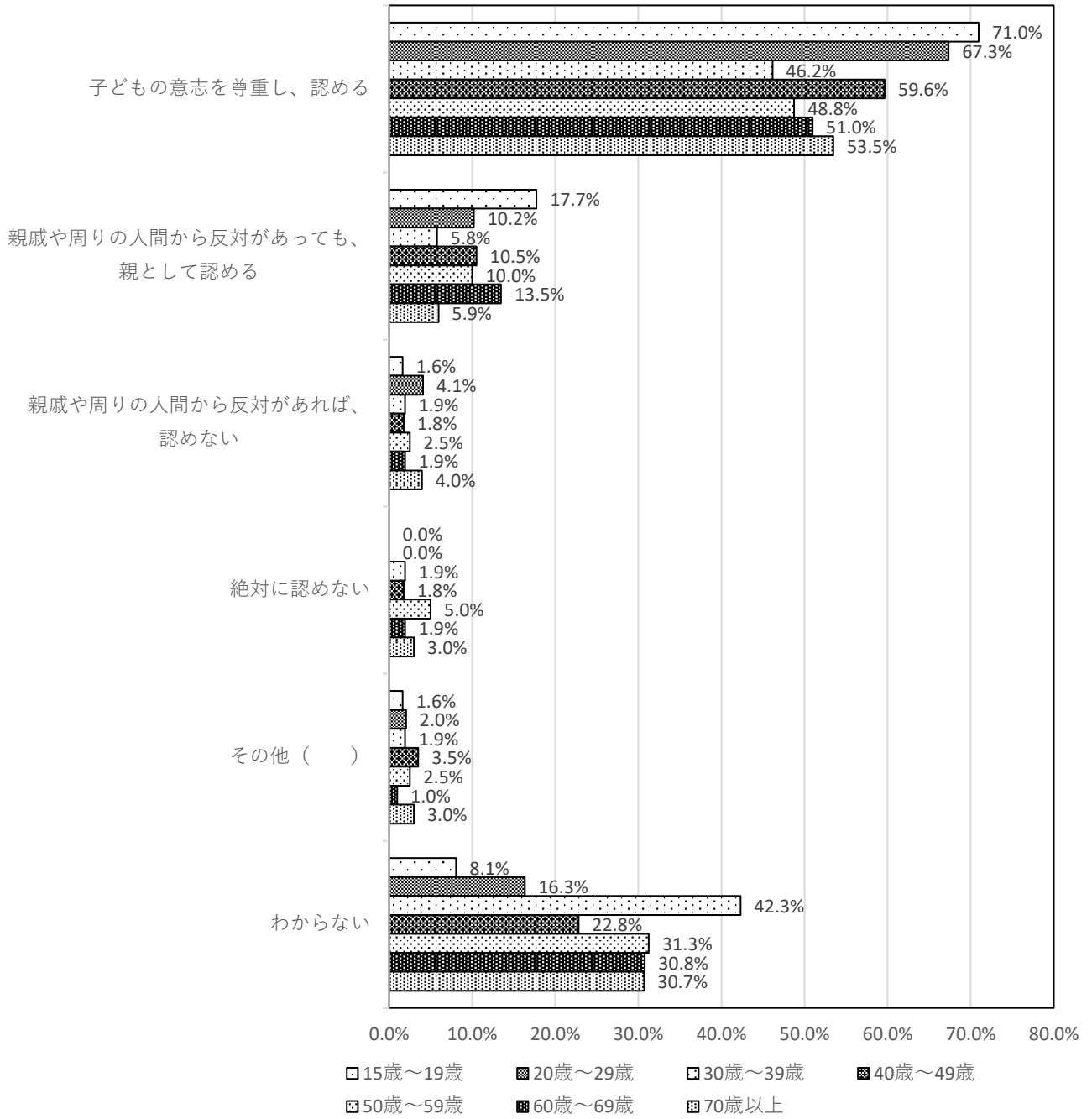


図 3-3-5-6 ① (結婚の有無)

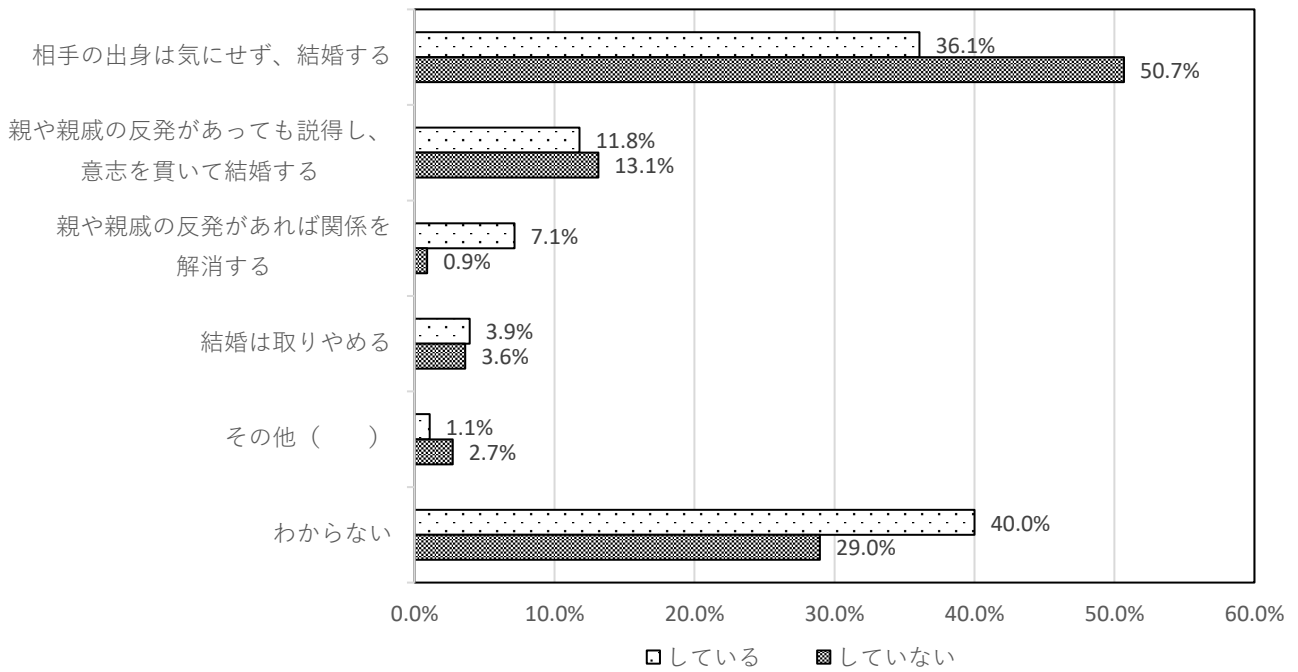


図 3-3-5-6 ② (結婚の有無)

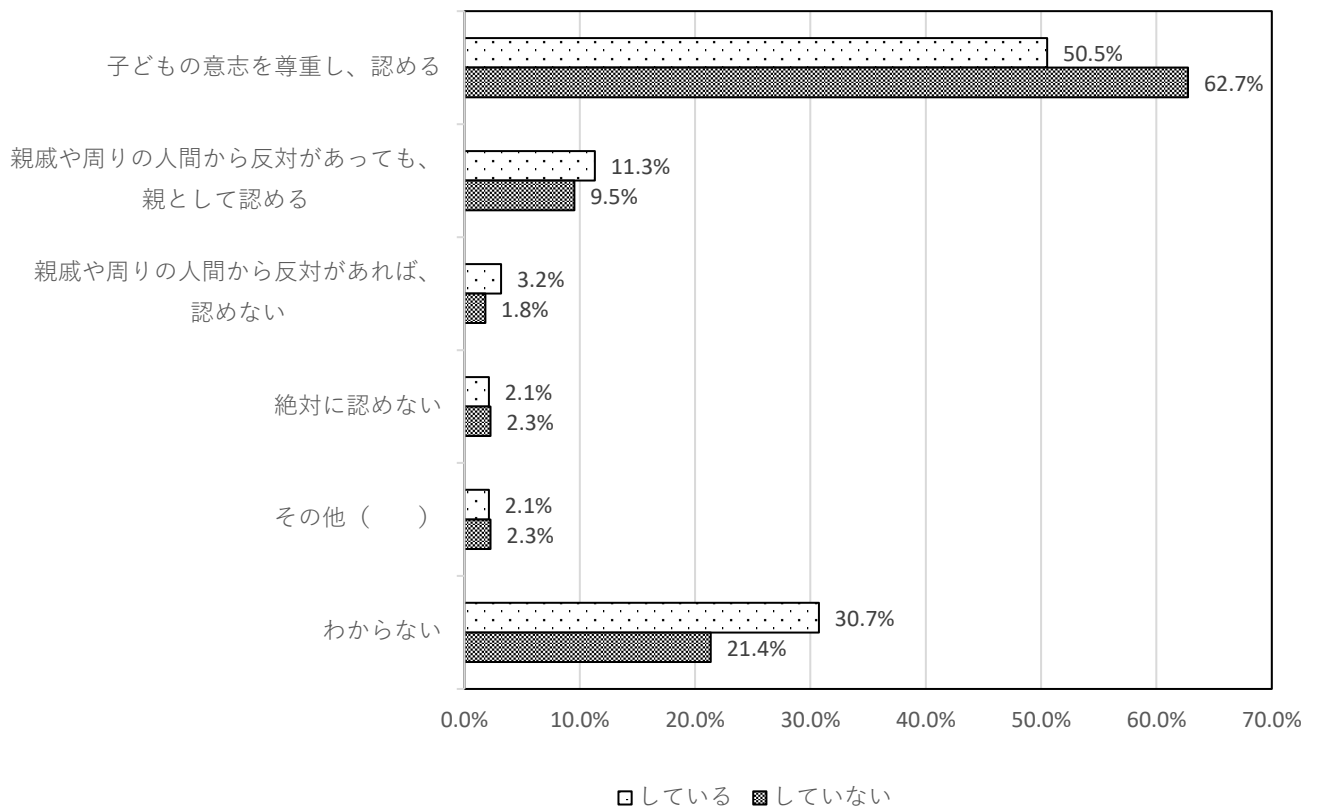


図 3-3-5-7 ① (未成年の子の有無)

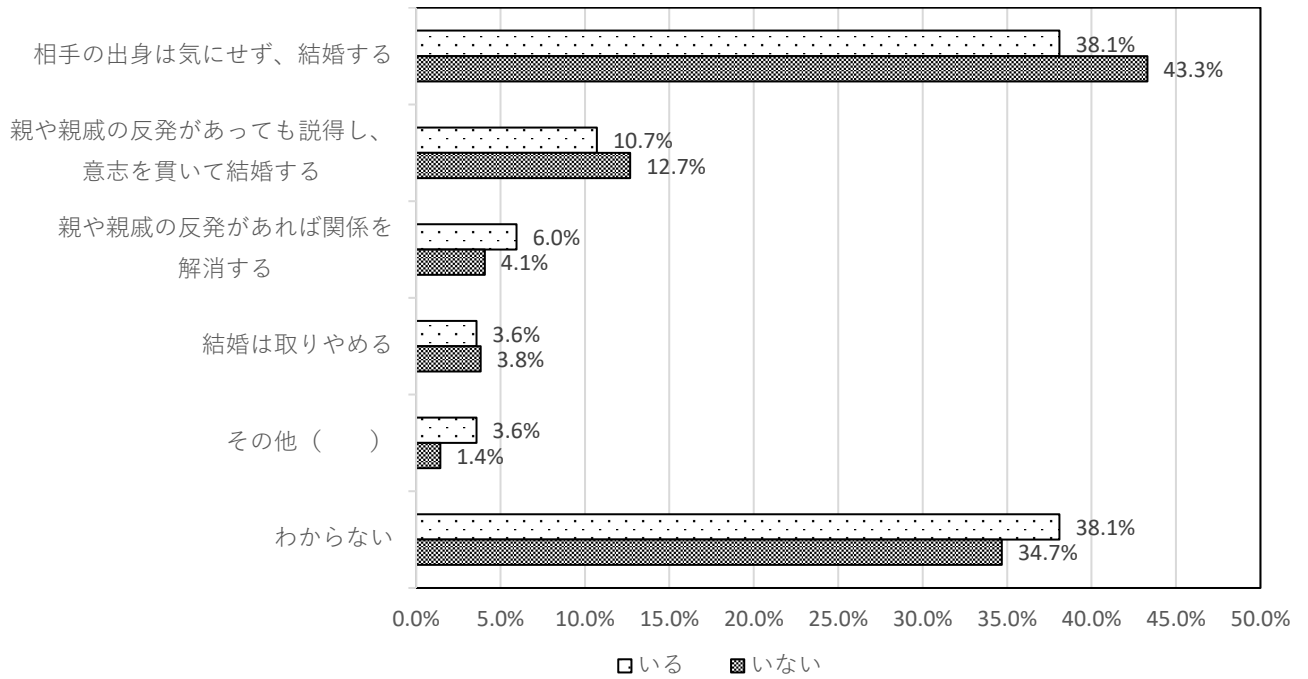
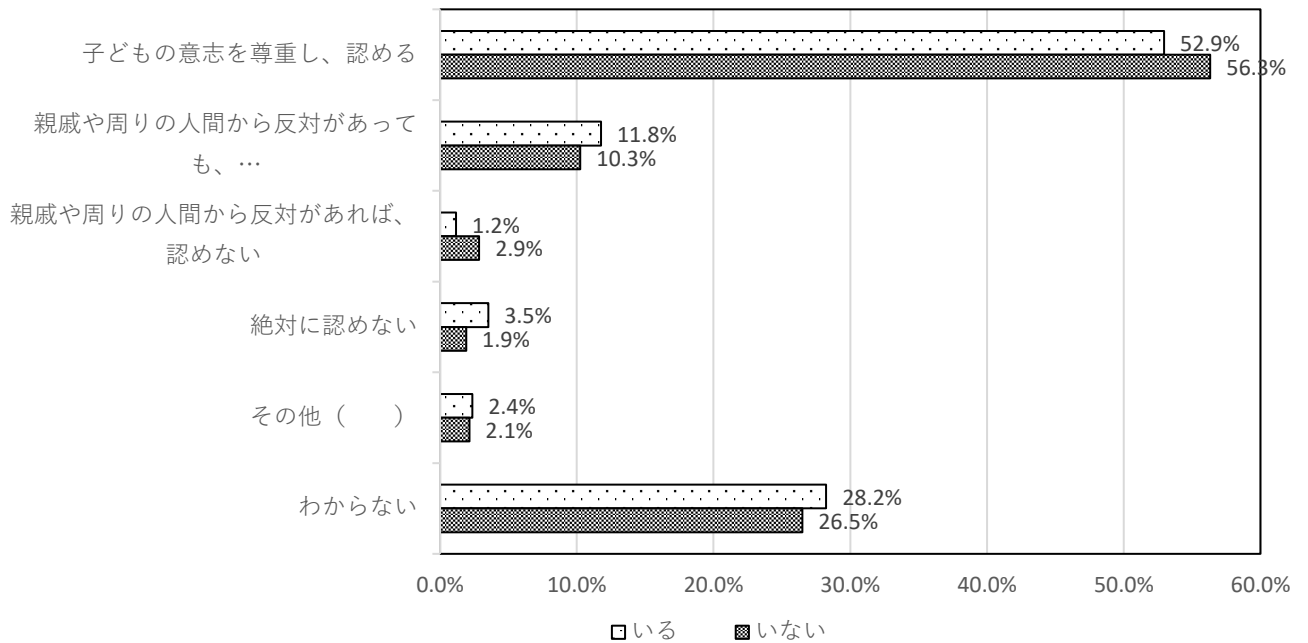


図 3-3-5-7 ② (未成年の子の有無)



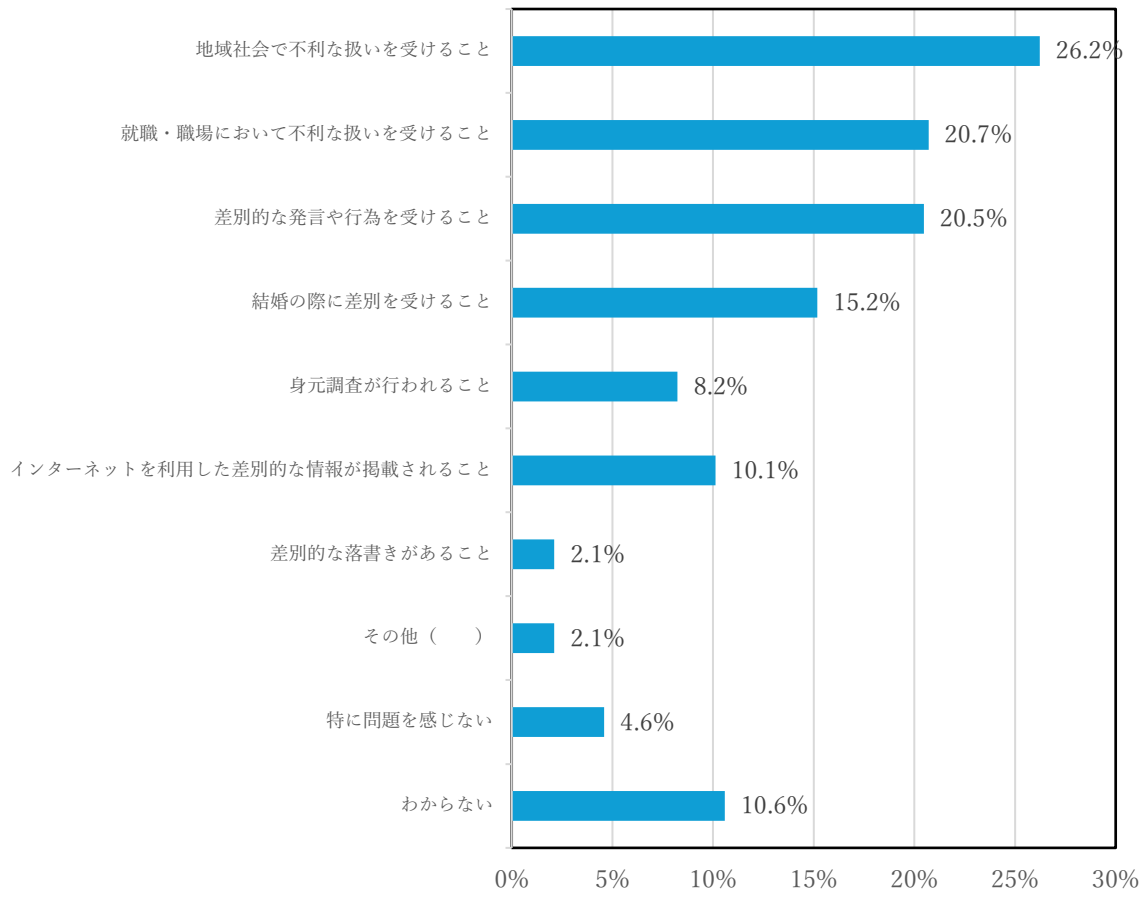
問12 部落差別(同和問題)で問題があると思うものはどのようなことですか。
(特にそう思うもの3つ以内)

「地域社会で不利な扱いを受けること」(26.2%)が最も多く、「就職・職場において不利な扱いを受けること」(20.7%)、「差別的な発言や行為を受けること」(20.5%)が続いた。

表 3-3-6

問12 部落差別(同和問題)で問題があると思うものはどのようなことですか。 (特にそう思うもの3つ以内)	回答数	割合
地域社会で不利な扱いを受けること	223	26.2%
就職・職場において不利な扱いを受けること	176	20.7%
差別的な発言や行為を受けること	174	20.5%
結婚の際に差別を受けること	129	15.2%
身元調査が行われること	70	8.2%
インターネットを利用した差別的な情報が掲載されること	86	10.1%
差別的な落書きがあること	18	2.1%
その他()	18	2.1%
特に問題を感じない	39	4.6%
わからない	90	10.6%
	無回答	16
	無効回答	325
	有効回答数 (n)	1023

図 3-3-6



■その他の内容 22 件（一部抜粋）

- ◇ 学校等で近づくなと教えていたこと 2件
- ◇ 学校などで学生同士がトラブルを起こした場合、それが差別的トラブルではなくても、同和地区出身の学生及び親が学校に訴えると、同和地区出身ではない学生だけが停学処分を受けたりする処置が垣間見られます。これは逆差別です。【60代・女性】
- ◇ 自身の落ち度が一切無いにも関わらず、出身地・出自等で差別的扱いを受けること【60代・男性】
- ◇ 部落差別とかではなく価値観がちがうと思います【40代・女性】
- ◇ 問題があることは知っているが存在する実感があまりない。差別をする理由がわからない。【15～19歳・女性】
- ◇ 30年以上前に知ったが、今も続いているとこの調査で知った【50代・女性】
- ◇ 現代でそんなに問題なことなのですか？【60代・女性】
- ◇ そもそも部落出身者をどうやって特定しているのかわからない【40代・女性】
- ◇ 関東では問題がないのに、問題だと騒ぐこのようなアンケート調査が問題【50代・男性】
- ◇ 部落差別を理由として不当な保護を求めている人々の存在【40代・女性】
- ◇ 本人が同和等であることを強調すること【70歳以上・男性】
- ◇ 同和問題を悪用すること【50代・男性】

■属性別の特徴

- 性別：男女で大きな差はなく、男女ともに「地域社会で不利な扱いを受けること」（男性 22.6%、女性 21.4%）が最も多かった。
- 男性は「差別的な発言や行為を受けること」（16.3%）、「就職・職場において不利な扱いを受けること」（15.4%）が続いた。
- 女性は「就職・職場において不利な扱いを受けること」（18.6%）、「差別的な発言や行為を受けること」（17.5%）が続いた。
- 年齢：世代間で大きな差はみられなかったが、他の年齢層に比べて年齢層の高い世代は、何が問題か「わからない」の割合が高い傾向にあった。

図 3-3-6-1 (性別)

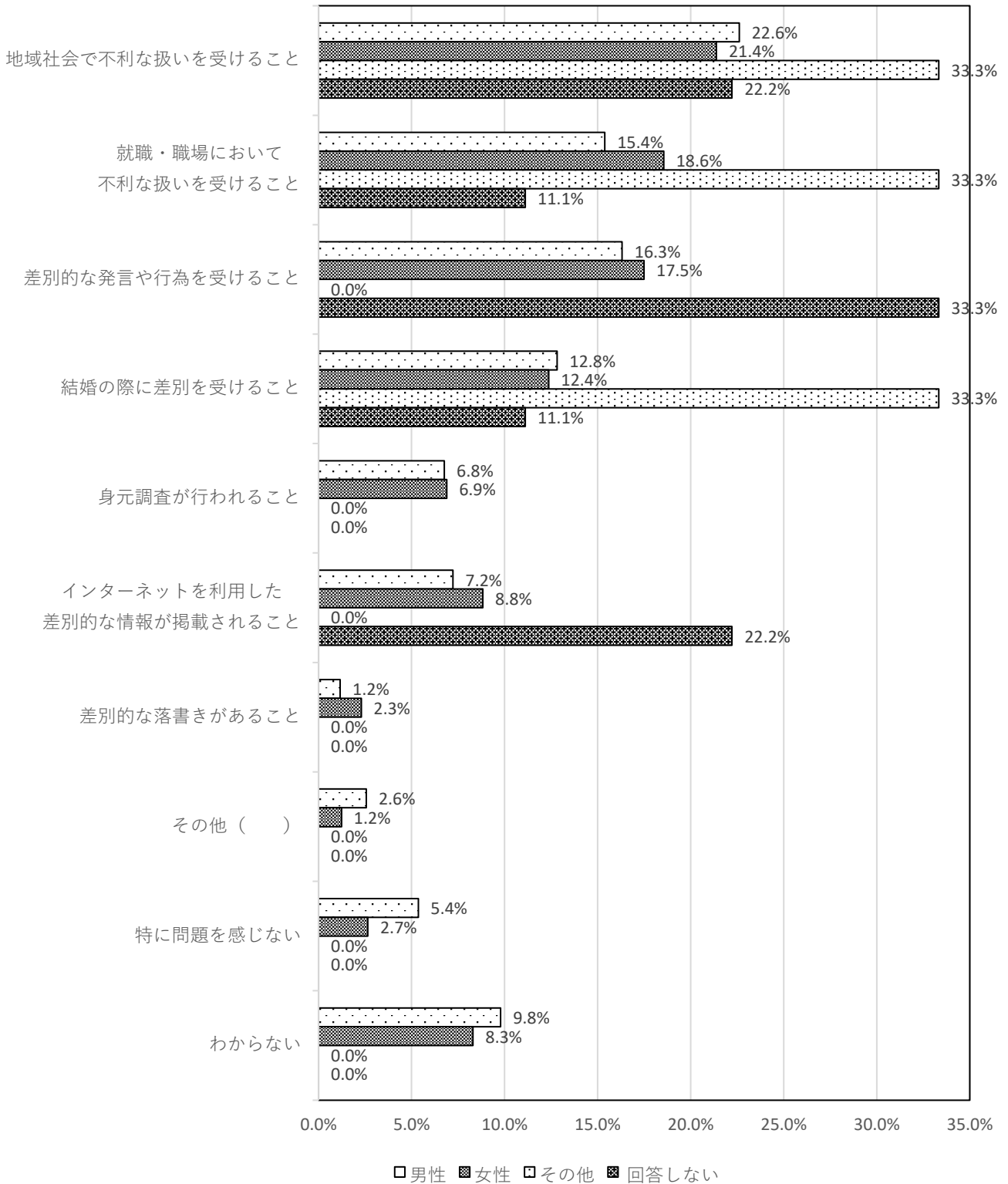
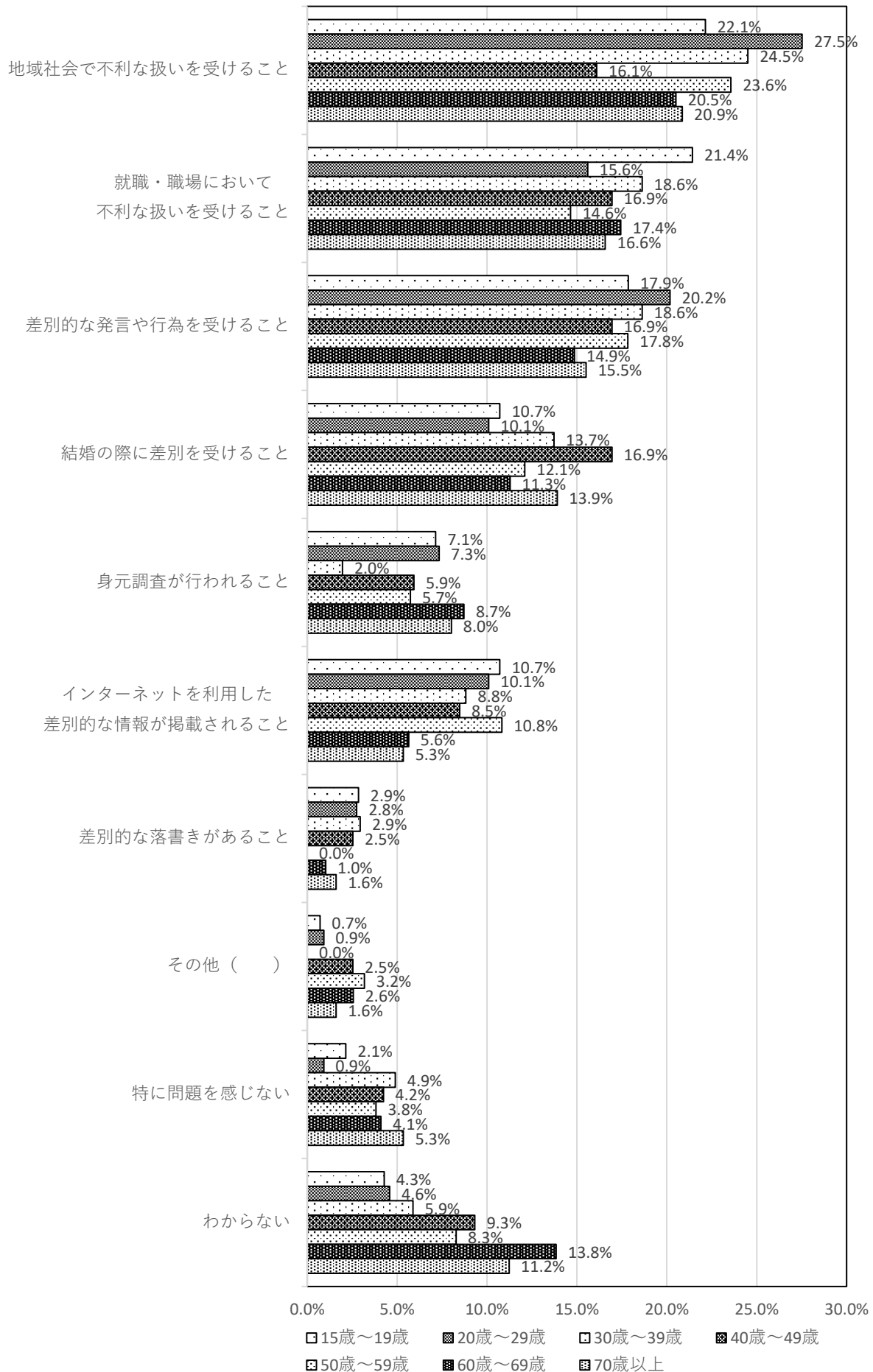


図 3-3-6-2 (年齢別)



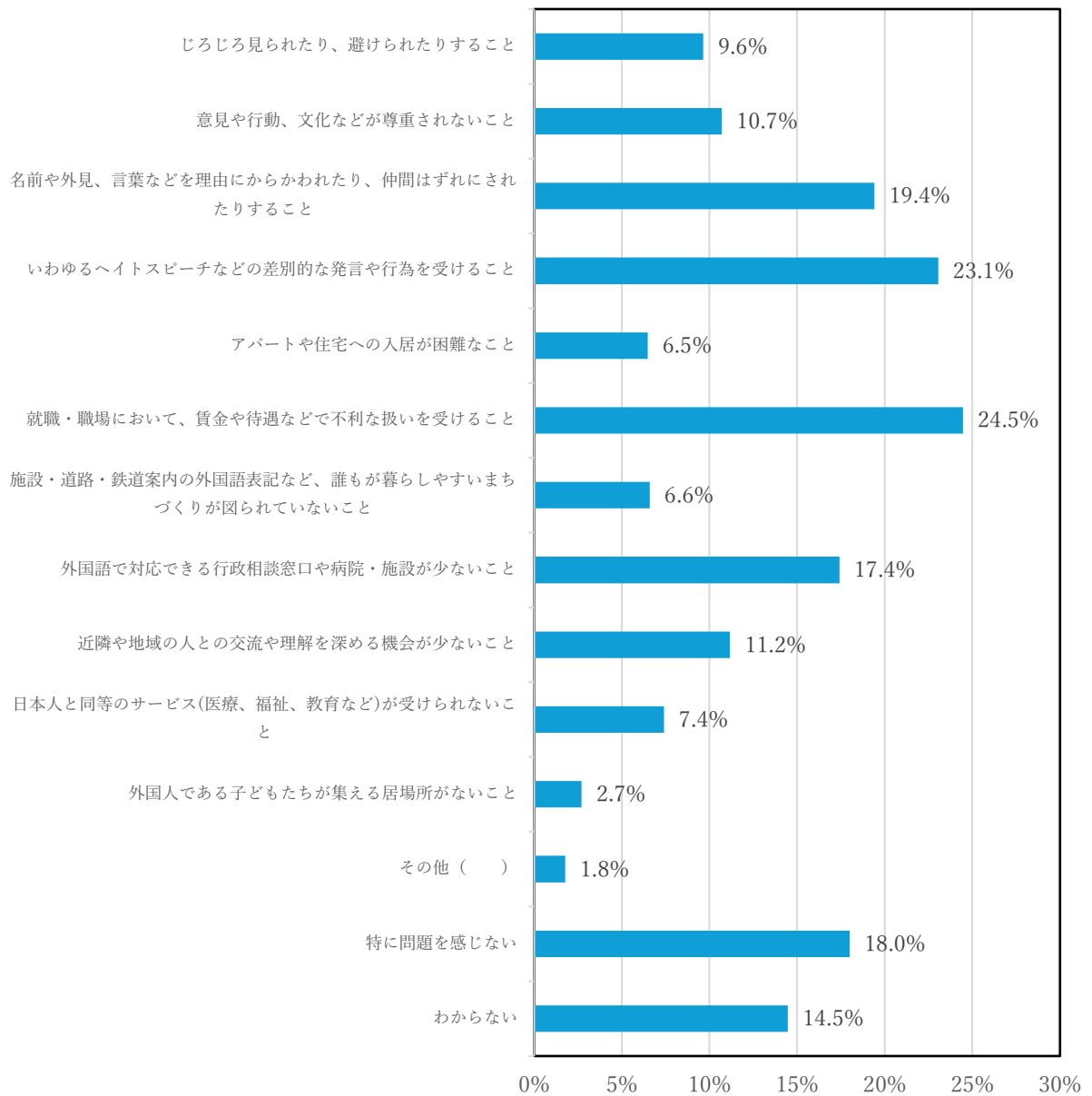
問13 外国人の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

「就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること」(24.5%)が最も多く、「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること」(23.1%)、「名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること」(19.4%)が続いた。

表 3-3-7

問13 外国人の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。 (特に強く感じるもの3つ以内)	回答数	割合
じろじろ見られたり、避けられたりすること	82	9.6%
意見や行動、文化などが尊重されないこと	91	10.7%
名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること	165	19.4%
いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること	196	23.1%
アパートや住宅への入居が困難なこと	55	6.5%
就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること	208	24.5%
施設・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと	56	6.6%
外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと	148	17.4%
近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと	95	11.2%
日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)が受けられないこと	63	7.4%
外国人である子どもたちが集える居場所がないこと	23	2.7%
その他 ()	15	1.8%
特に問題を感じない	153	18.0%
わからない	123	14.5%
	無回答	18
	無効回答	4
	有効回答数 (n)	1473

図 3-3-7



■その他の内容 17 件（一部抜粋）

- ◇ 日本人より守られていると思う 5件
- ◇ 文化の違い、騒音、マナー、日常の事でのトラブル 2件
- ◇ 日本が出身国により差別していること 【50代・男性】
- ◇ タトゥーに対する偏見 【年齢性別無回答】
- ◇ 職場における外国人への理解・対応の教育不足。その反対に外国人スタッフへの日本の文化や社会システムの教育や相談窓口の支援がない（中小企業が多い。） 【60代・男性】
- ◇ 米軍基地に関する反対デモ 【40代・男性】
- ◇ 出入国管理の不透明さ 【60代・女性】
- ◇ 外国の方が迷惑をかけていることが多くなったとのニュースに胸をいためている 【70歳以上・女性】

■属性別の特徴

性別：男女ともに「就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること」（男性 23.7%、女性 25.3%）が最も多く、「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること」（男性 23.7%、女性 22.9%）が続いた。

また、「特に問題を感じない」は、男性が女性より 11.3%高かった。

年齢：「名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること」や「いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること」は、他の年齢層に比べて年齢層が低い世代で割合が高い傾向にあった。また、「就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること」は、他の年齢層に比べて年齢層が高い世代で割合が高い傾向にあった。

図 3-3-7-1 (性別)

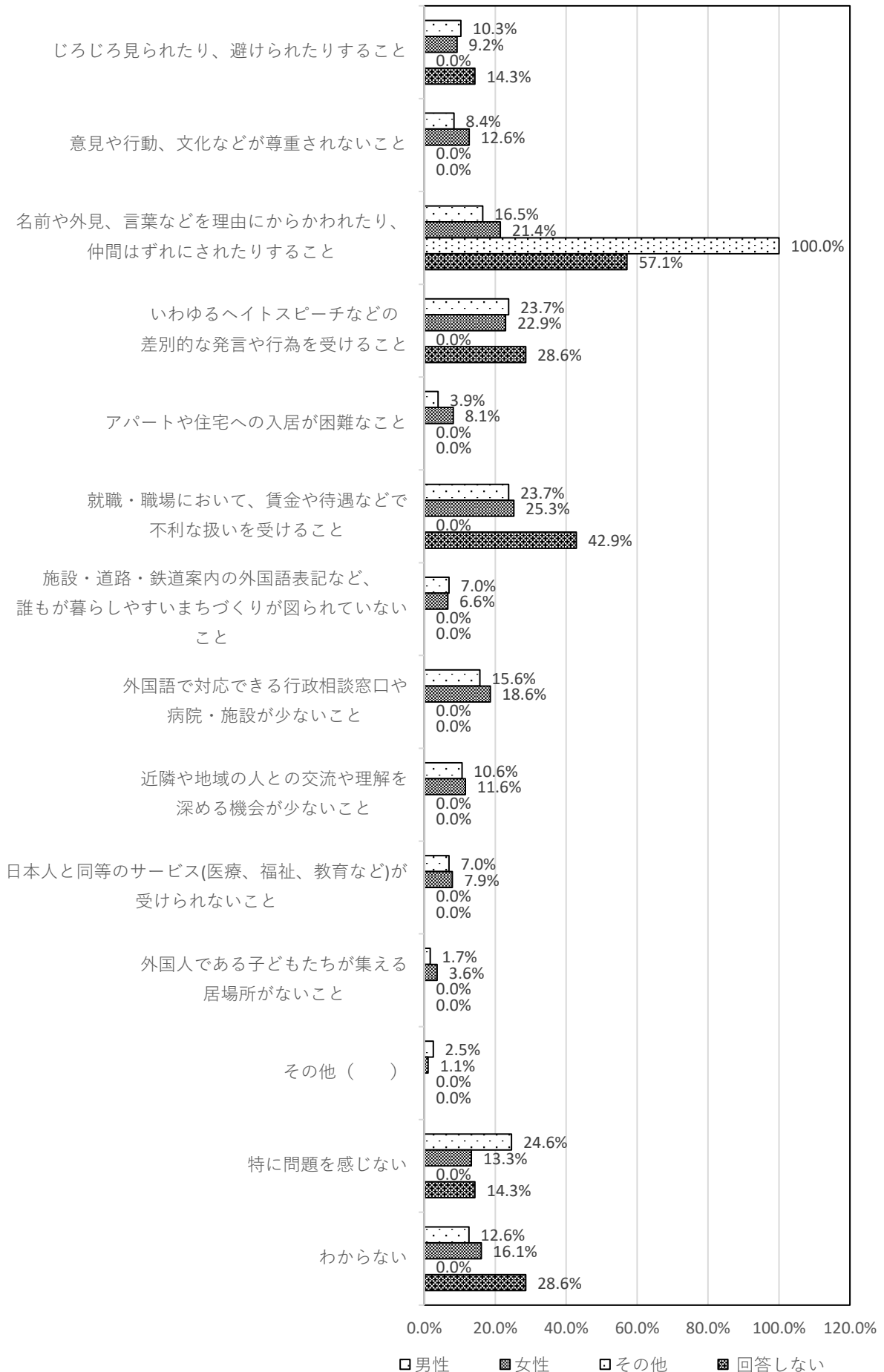
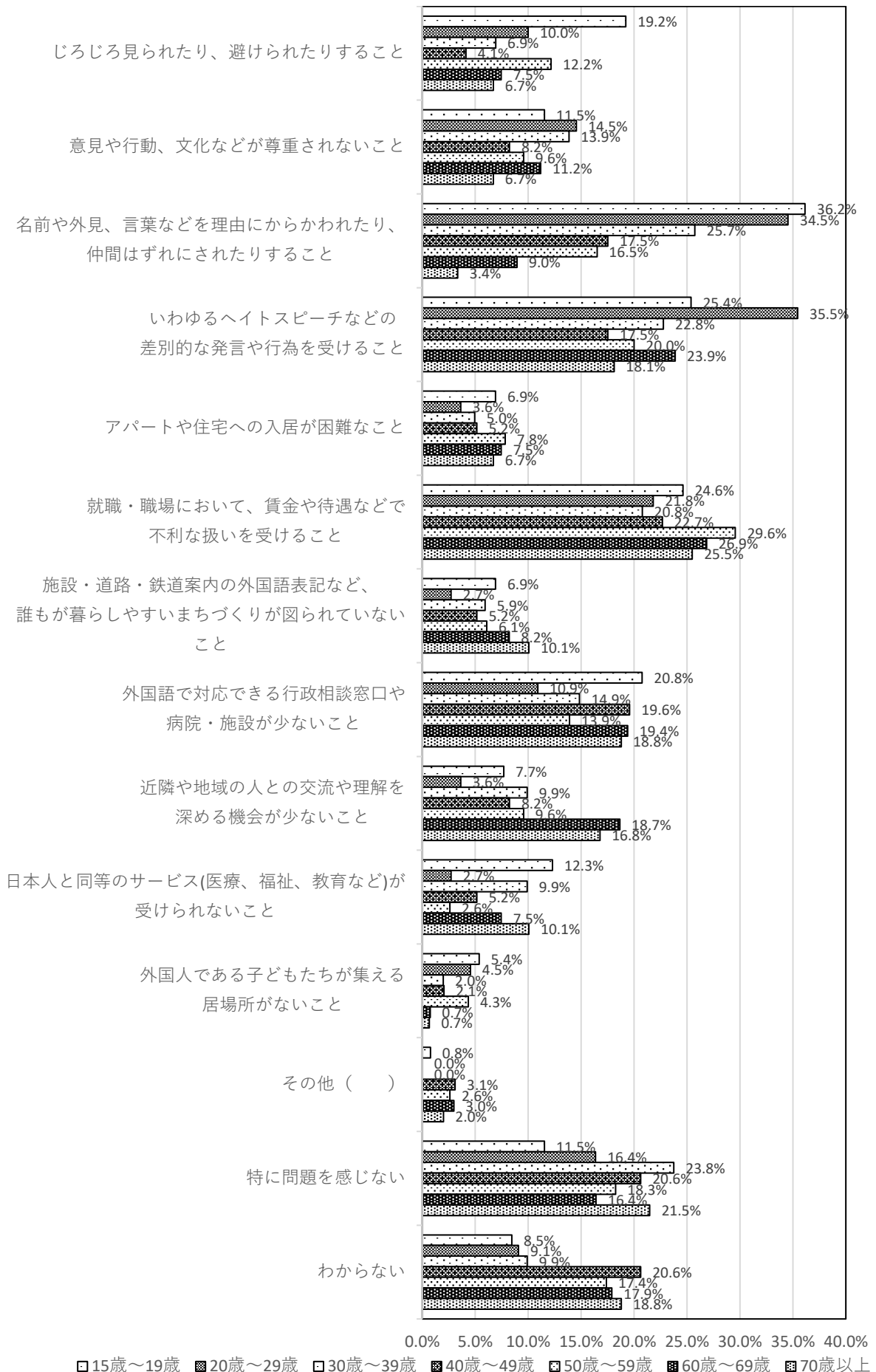


図 3-3-7-2 (年齢別)



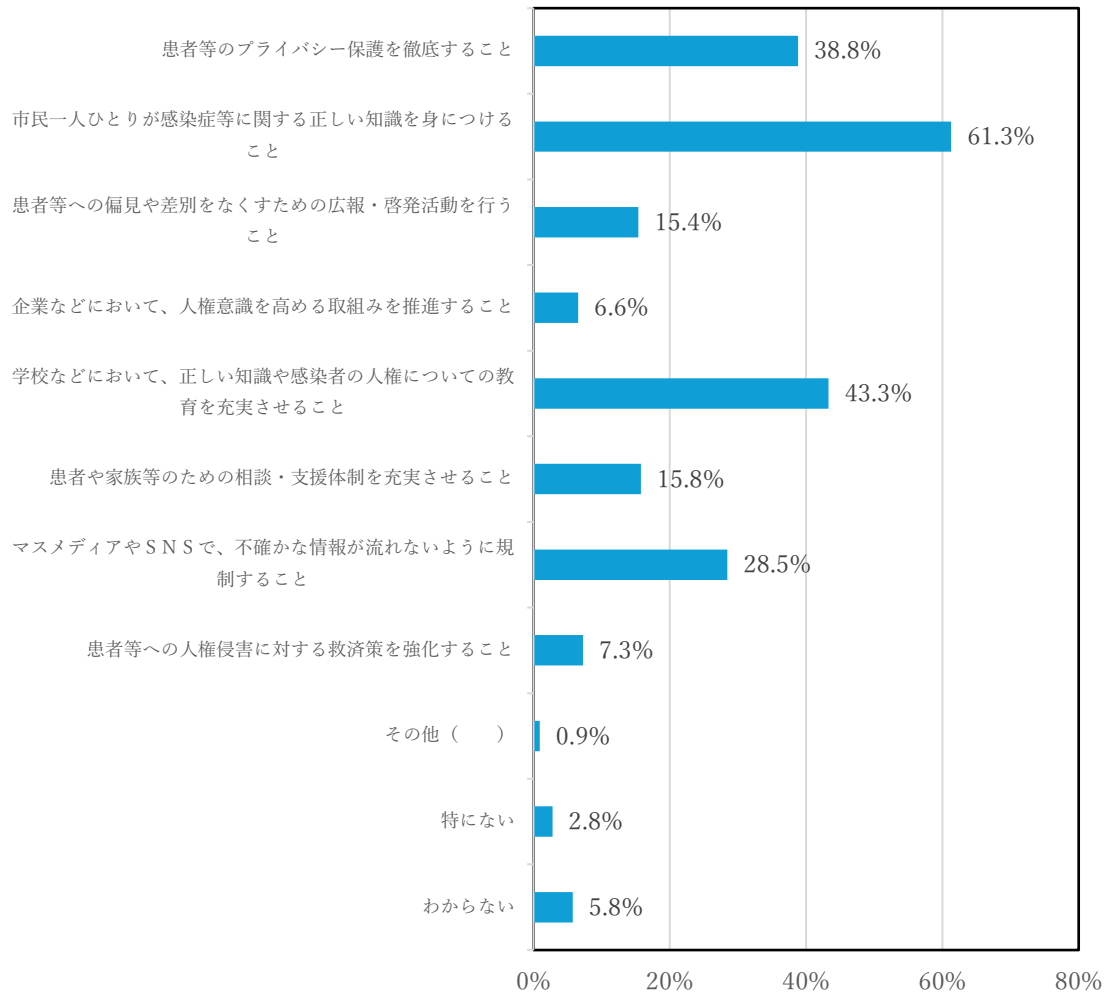
問14 エイズやハンセン病、新型コロナウイルスなどの感染者の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(特に強く感じるもの3つ以内)

「市民一人ひとりが感染症等に関する正しい知識を身につけること」(61.3%)が最も多く、「学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実させること」(43.3%)、「患者等のプライバシー保護を徹底すること」(38.8%)が続いた。

表 3-3-8

問14 エイズやハンセン病、新型コロナウイルスなどの感染者の人権を守るために必要なことは何だと思いますか。(特に強く感じるもの3つ以内)	回答数	割合
患者等のプライバシー保護を徹底すること	330	38.8%
市民一人ひとりが感染症等に関する正しい知識を身につけること	521	61.3%
患者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を行うこと	131	15.4%
企業などにおいて、人権意識を高める取組みを推進すること	56	6.6%
学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実させること	368	43.3%
患者や家族等のための相談・支援体制を充実させること	134	15.8%
マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制すること	242	28.5%
患者等への人権侵害に対する救済策を強化すること	62	7.3%
その他()	8	0.9%
特にない	24	2.8%
わからない	49	5.8%
	無回答	15
	無効回答	10
	有効回答数 (n)	1925

図 3-3-8



■その他の内容 10 件（一部抜粋）

- ◇ 正しい知識の普及、間違った知識を広げないこと 4 件
- ◇ 家庭できちんと話しあうこと 【50 代・女性】

■属性別の特徴

性別：男女ともに「市民一人ひとりが感染症等に関する正しい知識を身につけること」（男性 60.6%、女性 62.3%）が最も多かった。また、「学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実させること」（男性 36.3%、女性 49.3%）は、女性が男性より 13.0%高かった。

男性は「患者等のプライバシー保護を徹底すること」（38.3%）、「学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実させること」（36.3%）が続いた。

女性は「学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実させること」（49.3%）、「患者等のプライバシー保護を徹底すること」（39.8%）が続いた。

年齢：世代間で大きな差はみられず、全ての年齢層で「市民一人ひとりが感染症等に関する正しい知識を身につけること」の割合が高かった。

図 3-3-8-1 (性別)

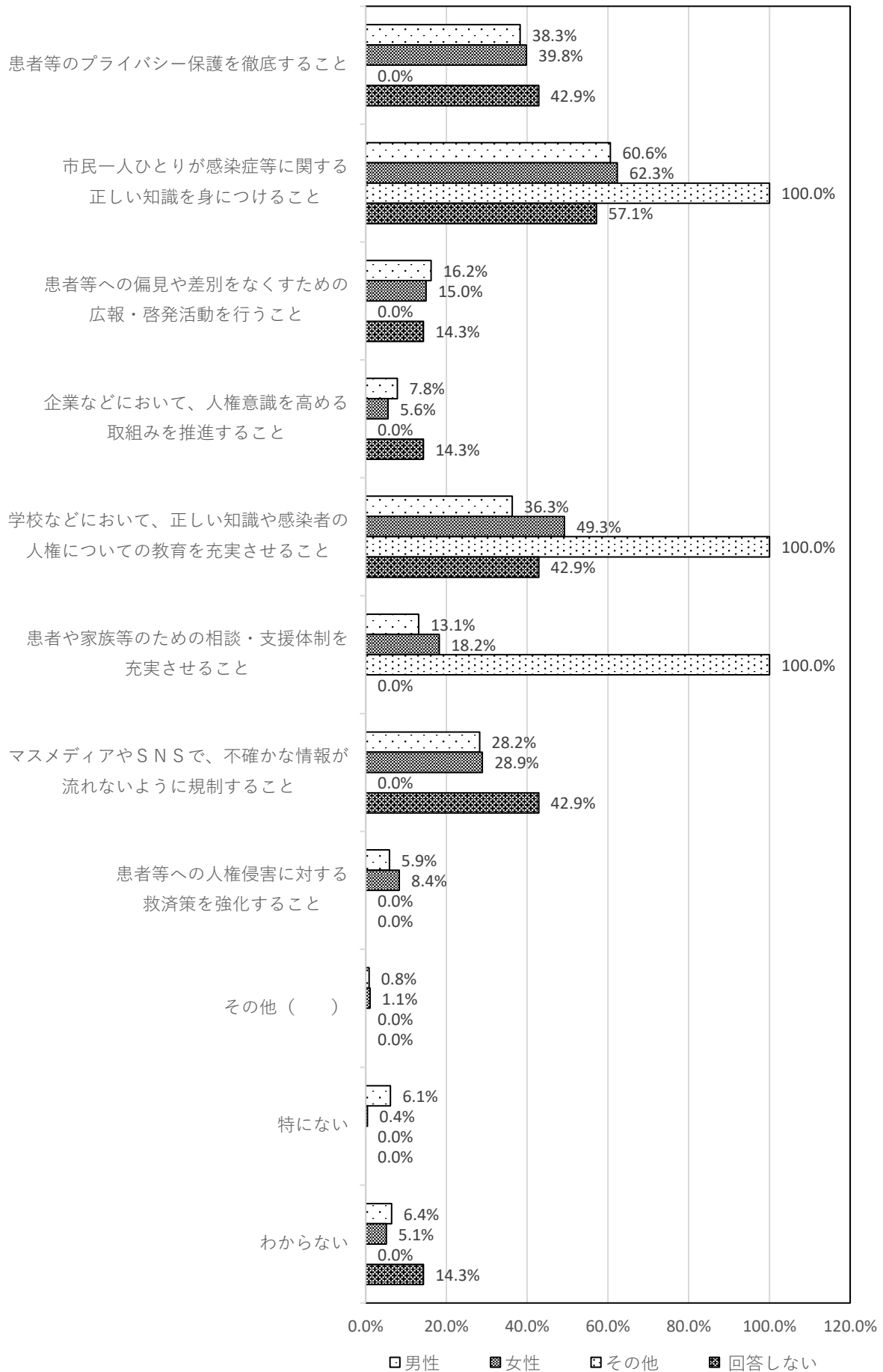
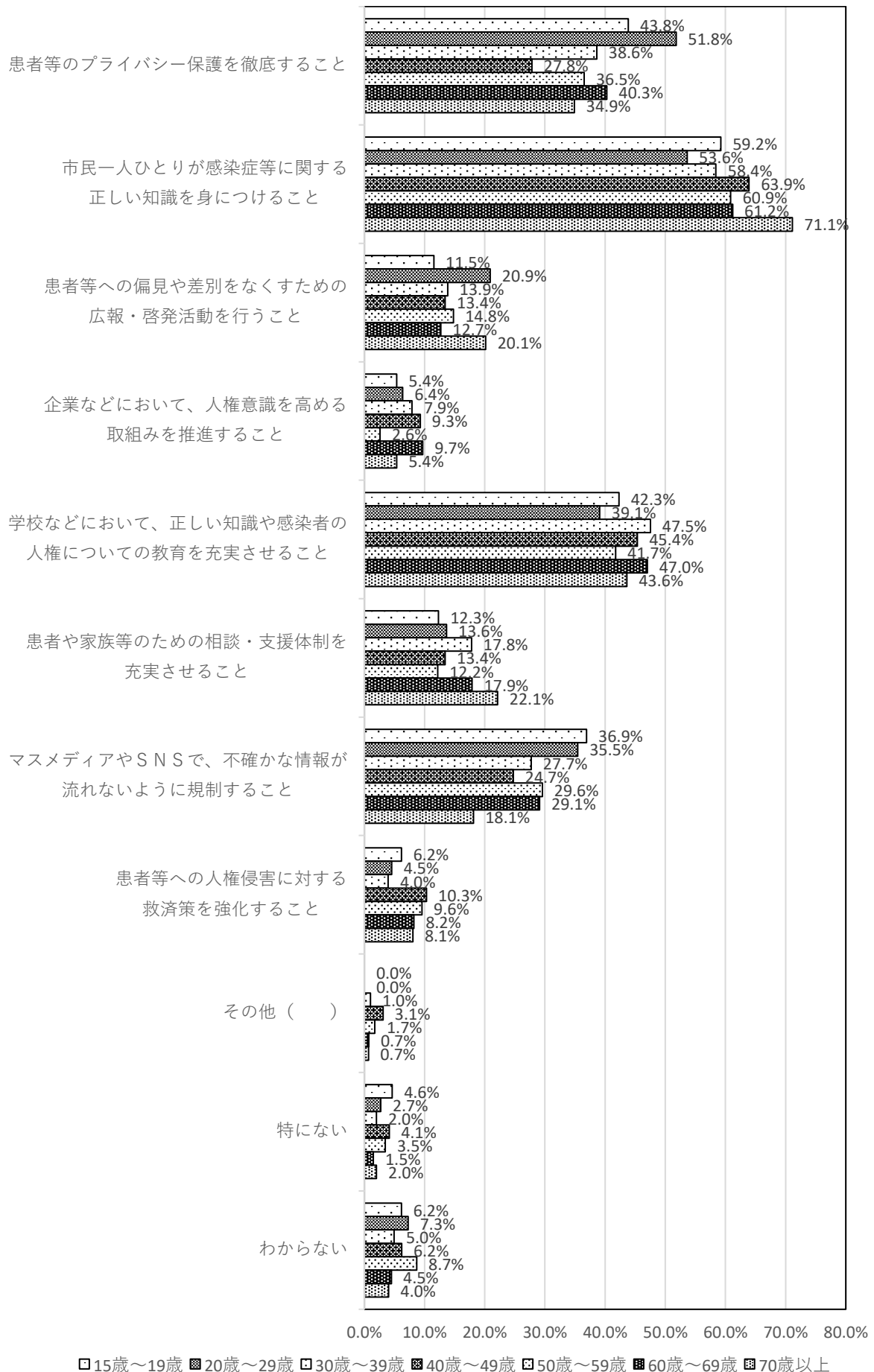


図 3-3-8-2 (年齢別)



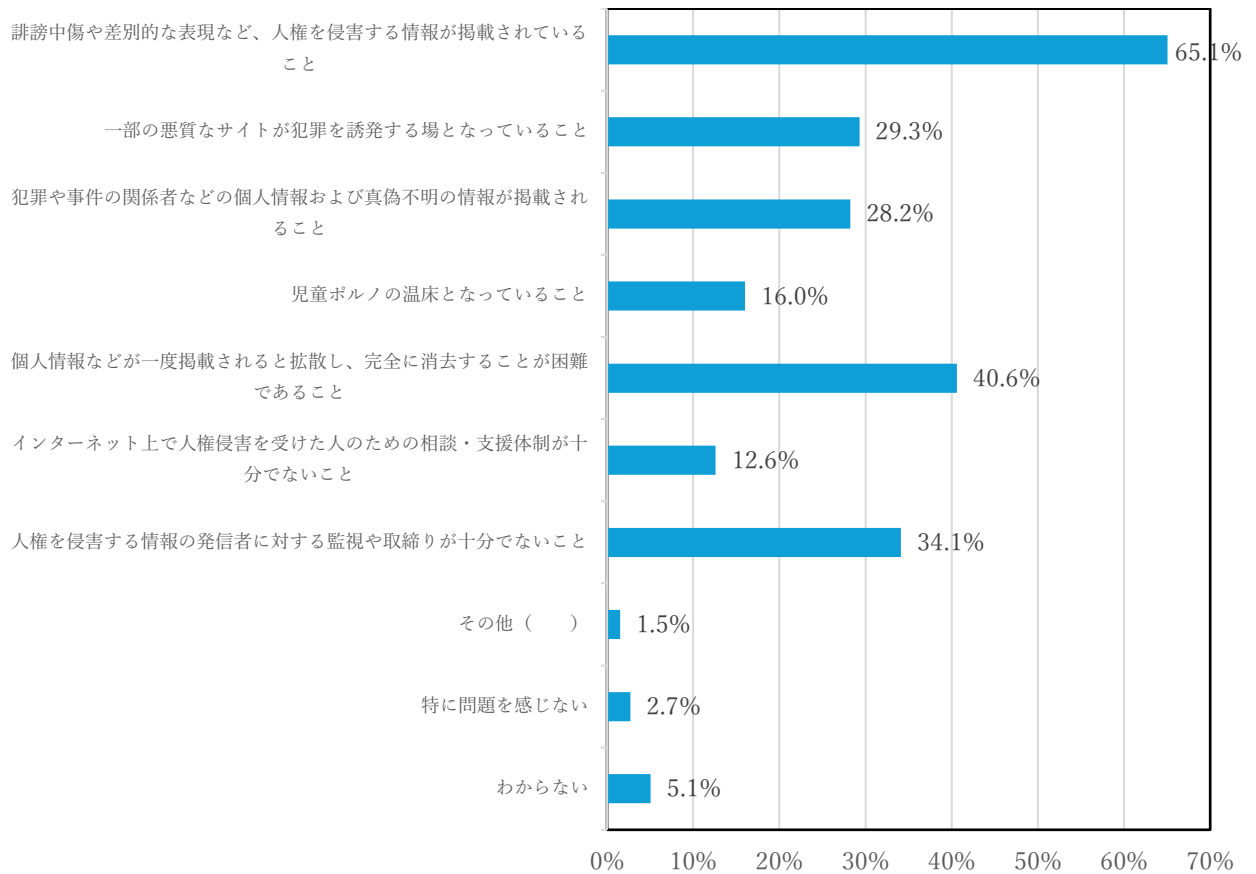
問15 インターネット上で人権問題があると感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

「誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」(65.1%)が最も多く、「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」(40.6%)、「人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと」(34.1%)が続いた。

表 3-3-9

問15 インターネット上で人権問題があると感じることはどのようなことですか。 (特に強く感じるもの3つ以内)	回答数	割合
誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること	553	65.1%
一部の悪質なサイトが犯罪を誘発する場となっていること	249	29.3%
犯罪や事件の関係者などの個人情報および真偽不明の情報が掲載されること	240	28.2%
児童ポルノの温床となっていること	136	16.0%
個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること	345	40.6%
インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと	107	12.6%
人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと	290	34.1%
その他()	13	1.5%
特に問題を感じない	23	2.7%
わからない	43	5.1%
	無回答	21
	無効回答	6
	有効回答数 (n)	1999

図 3-3-9



■その他の内容 13件

- ◇ インターネットをやってない 2件
- ◇ インターネットやらなければいい 【50代・女性】
- ◇ 有害なサイトが発信されていること 【60代・男性】
- ◇ インターネットの監視や取締りがひどく本当の情報が消されて人権を守っていない 【70歳以上・女性】
- ◇ 利用する人間の意識が低い 【20代・男性】
- ◇ 個人情報流出 【15～19歳・女性】
- ◇ 勝手に掲載された個人情報や顔写真が、掲載した者を含む不特定多数の人々に性的に消費されること 【15～19歳・女性】

■属性別の特徴

性別：男女ともに「誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」（男性 65.6%、女性 65.5%）が最も多く、「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」（男性 34.4%、女性 44.8%）が続いた。

また、「児童ポルノの温床となっていること」、「個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること」については、女性が男性より約10%高かった。

男性は「犯罪や事件の関係者などの個人情報および真偽不明の情報が掲載されること」（32.7%）が続いた。

女性は「人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと」（36.8%）が続いた。

年齢：全ての年齢層で「誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること」が最も多かった。「人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと」は、他の年齢層に比べて年齢層が高い世代で割合が高い傾向にあった。

図 3-3-9-1 (性別)

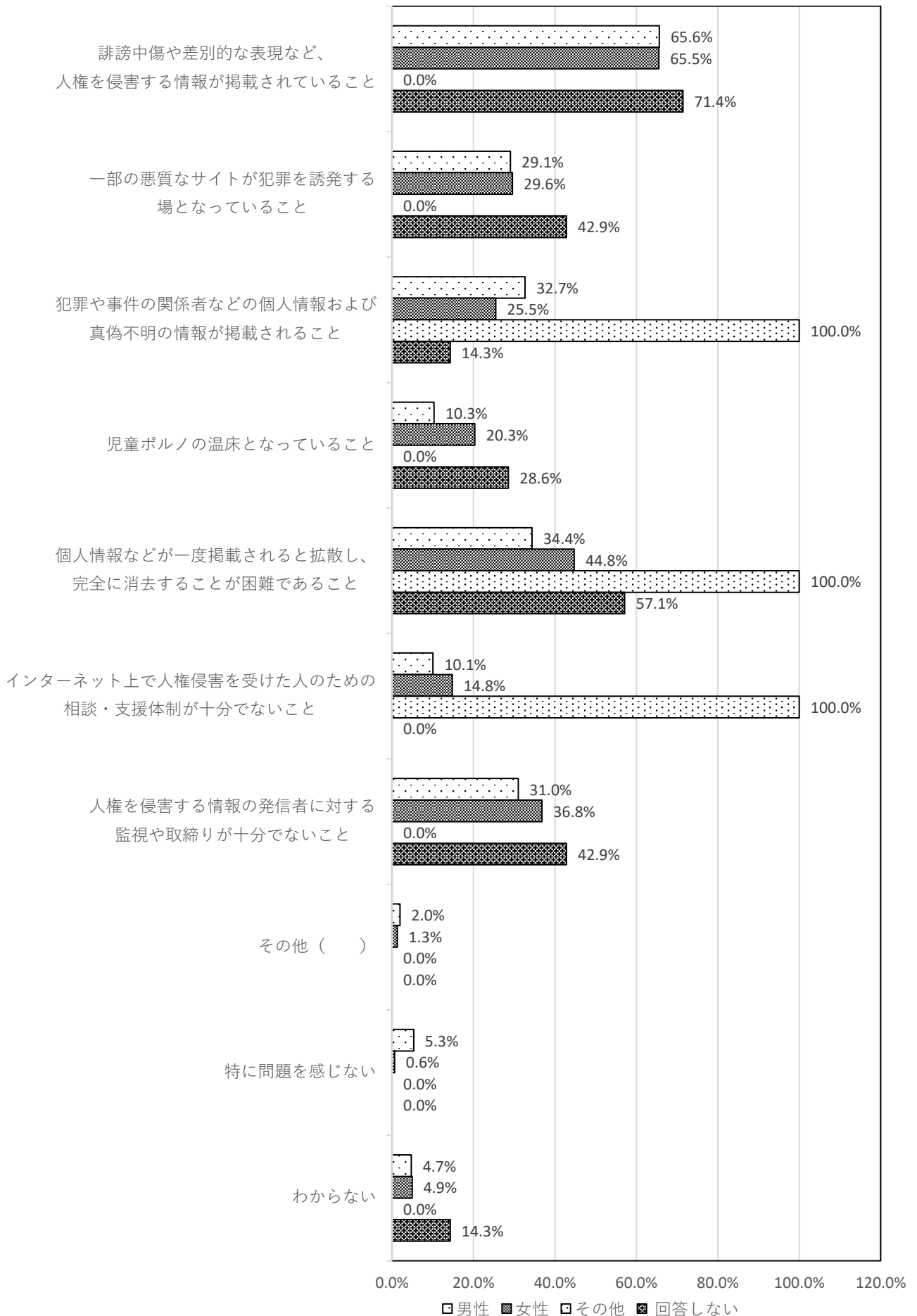
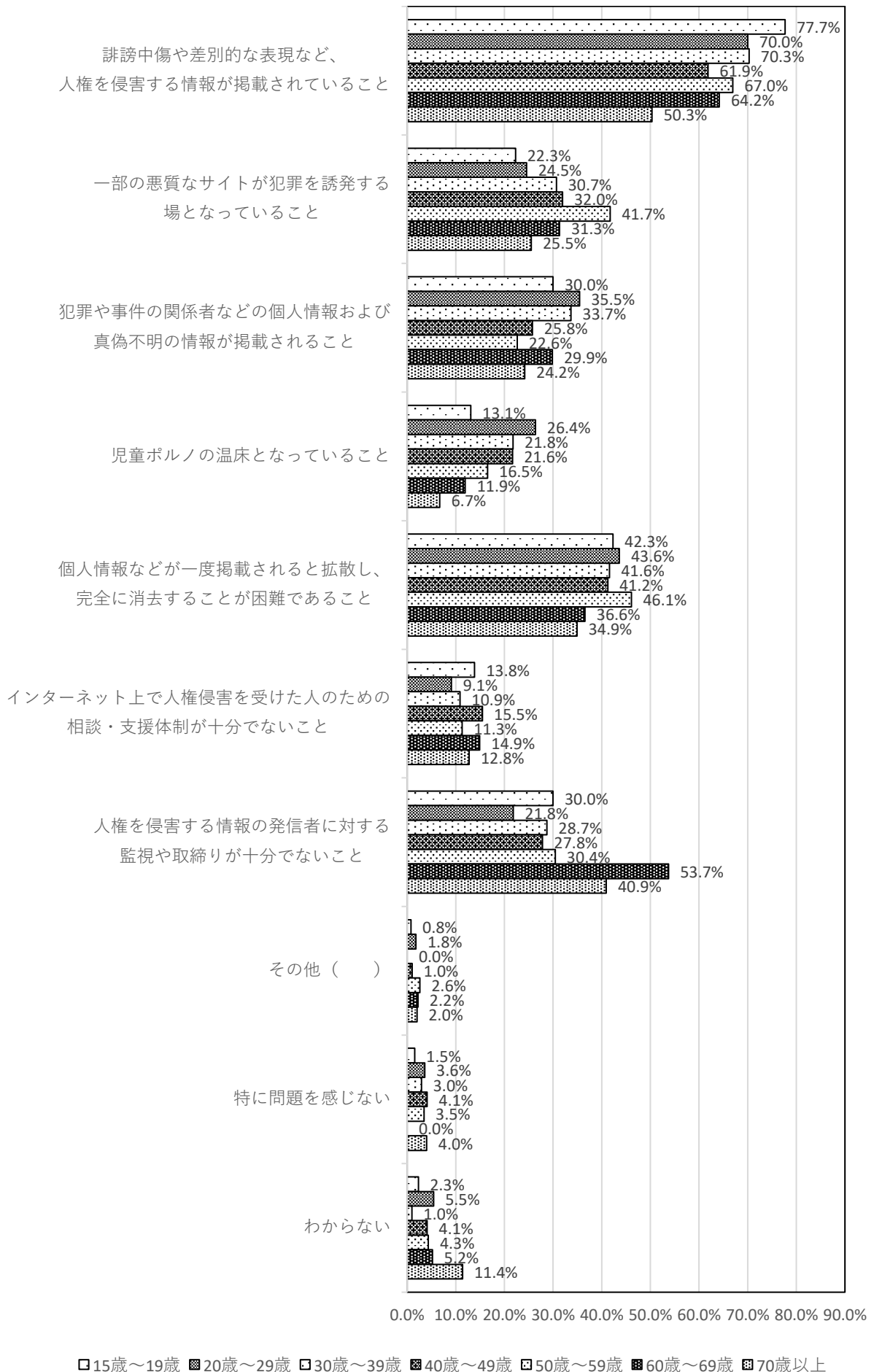


図 3-3-9-2 (年齢別)



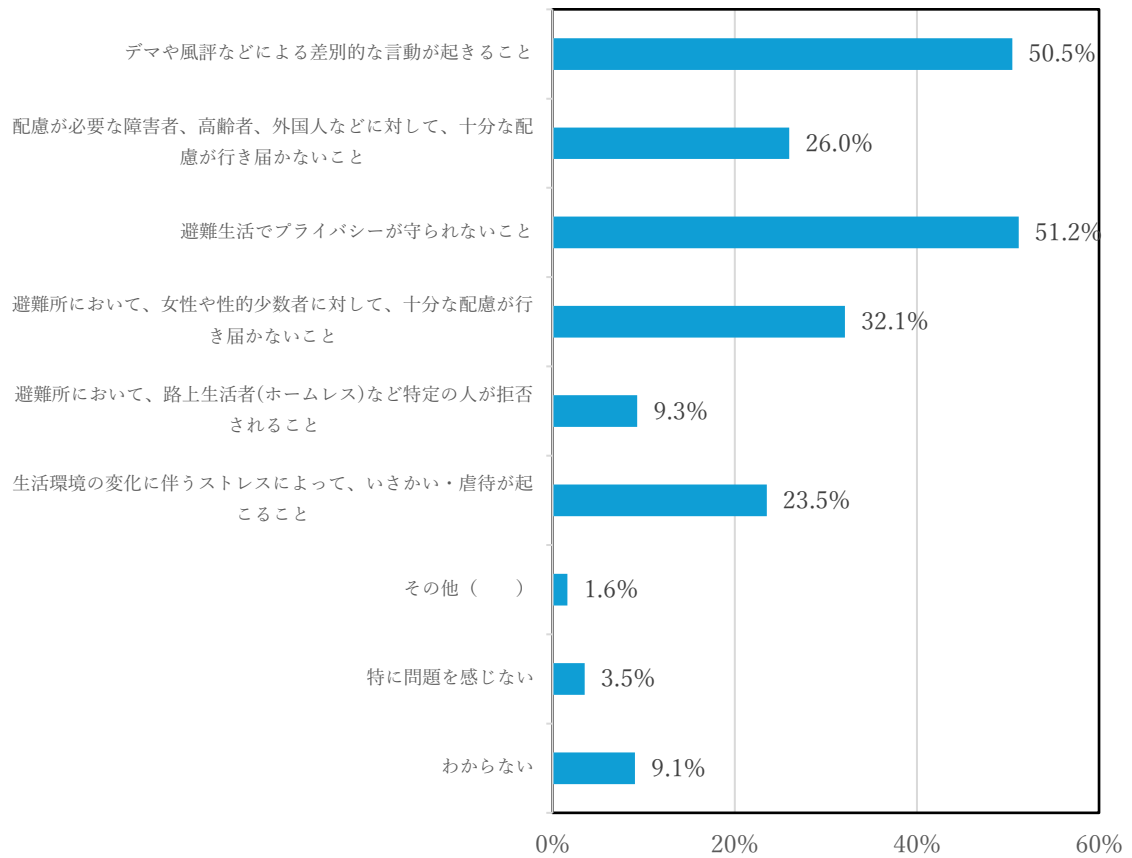
問16 地震などの災害時において人権問題があると感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

「避難生活でプライバシーが守られないこと」(51.2%)が最も多く、「デマや風評などによる差別的な言動が起きること」(50.5%)が続き、「避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと」(32.1%)が続いた。

表 3-3-10

問16 地震などの災害時において人権問題があると感じることはどのようなことですか。 (特に強く感じるもの3つ以内)	回答数	割合
デマや風評などによる差別的な言動が起きること	429	50.5%
配慮が必要な障害者、高齢者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと	221	26.0%
避難生活でプライバシーが守られないこと	435	51.2%
避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと	273	32.1%
避難所において、路上生活者(ホームレス)など特定の人が拒否されること	79	9.3%
生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・虐待が起ること	200	23.5%
その他()	14	1.6%
特に問題を感じない	30	3.5%
わからない	77	9.1%
	無回答	21
	無効回答	4
	有効回答数(n)	1758

図 3-3-10



■その他の内容 14 件（一部抜粋）

- ◇ 大切なのは人のいのち 3 件
- ◇ 避難生活のレベルが阪神淡路の時と、まったく変わっていないように思う。政治がそこにお金をかけてこなかったことがよくわかる 【40 代・女性】
- ◇ プライバシーを守れる避難所を作ってほしい 【70 歳以上・女性】
- ◇ 災害発生時の設備不足 【50 代・男性】
- ◇ 避難所の管理者やリーダー的な者が避難者の優先順位をつけたり、いじめの主導となったりする事 【60 代・男性】
- ◇ 避難所において過度な共助を強要されること 【30 代・女性】
- ◇ ペットを飼っている人の待遇 【30 代・女性】

■属性別の特徴

性別：「避難生活でプライバシーが守られないこと」、「避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと」は、女性が男性より 10%以上高かった。

男性は「デマや風評などによる差別的な言動が起きること」（52.5%）が最も多く、「避難生活でプライバシーが守られないこと」（43.0%）、「配慮が必要な障害者、高齢者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと」（27.9%）が続いた。

女性は「避難生活でプライバシーが守られないこと」（56.5%）が最も多く、「デマや風評などによる差別的な言動が起きること」（49.9%）「避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと」（41.1%）が続いた。

年齢：「避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと」は、他の年齢層に比べて 20 代と 30 代で割合が高かった。また、「配慮が必要な障害者、高齢者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと」は、他の年齢層に比べて年齢層の高い世代で割合が高い傾向にあった。

図 3-3-10-1 (性別)

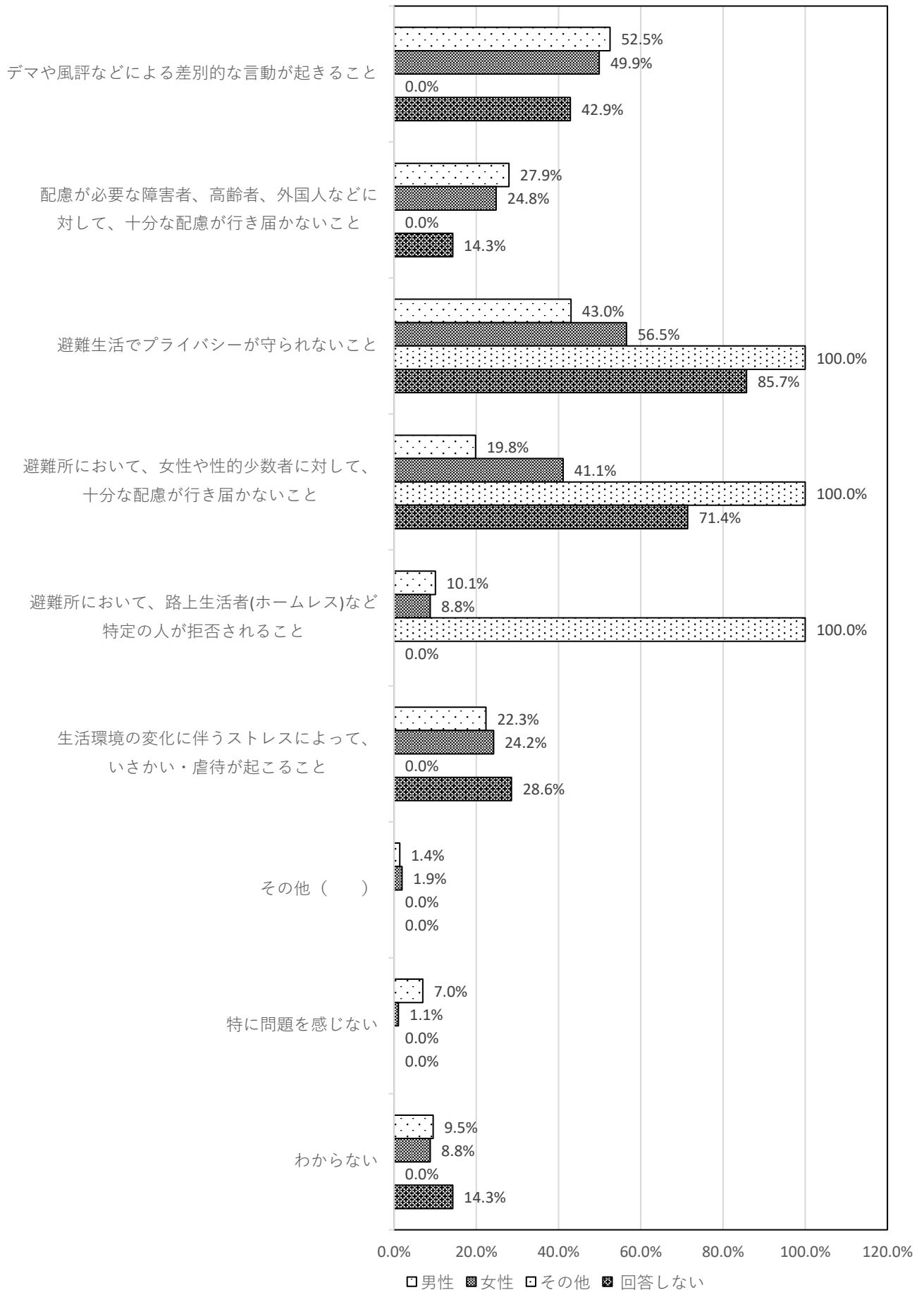
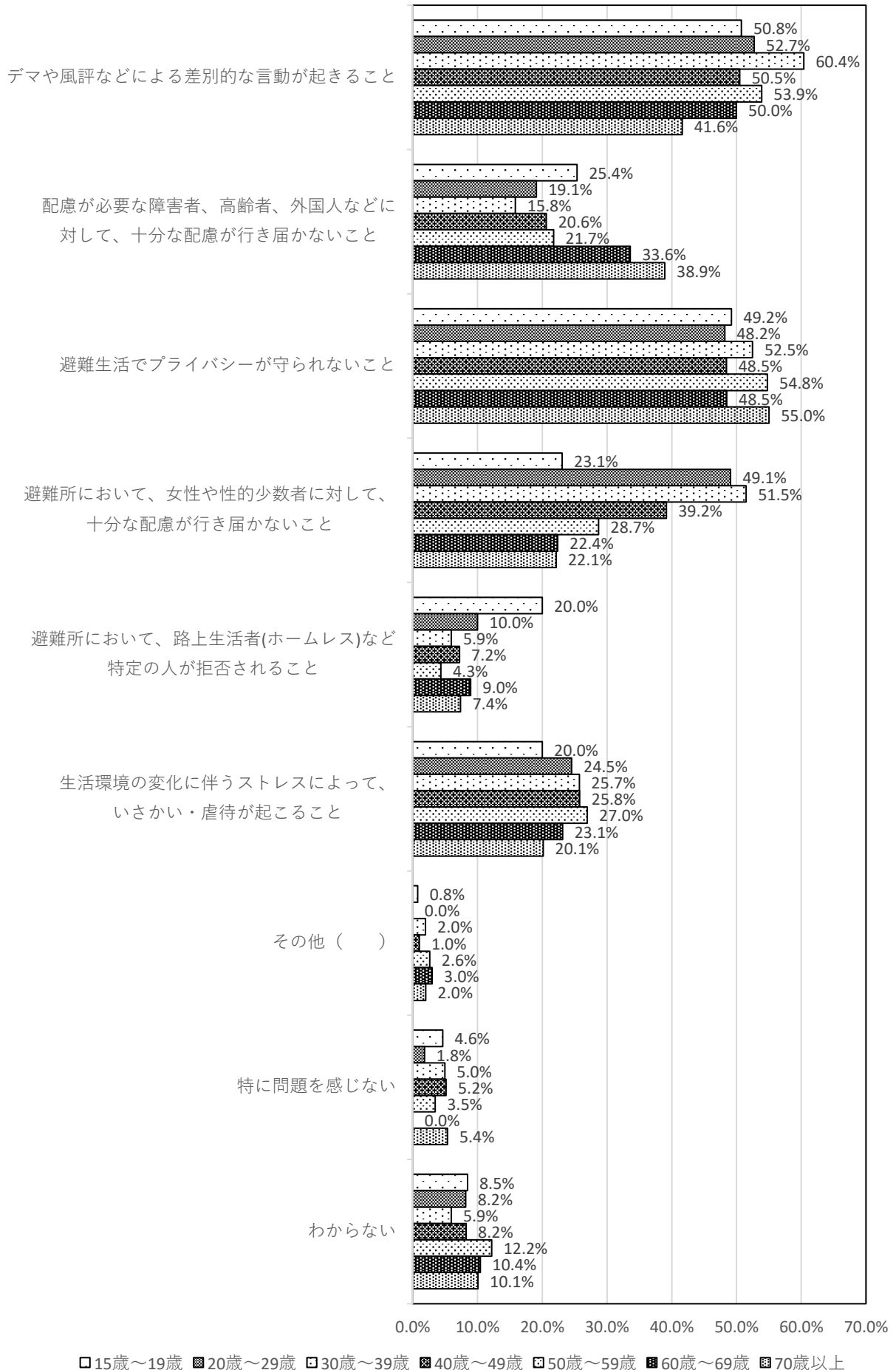


図 3-3-10-2 (年齢別)



3-4 人権を守るための意識

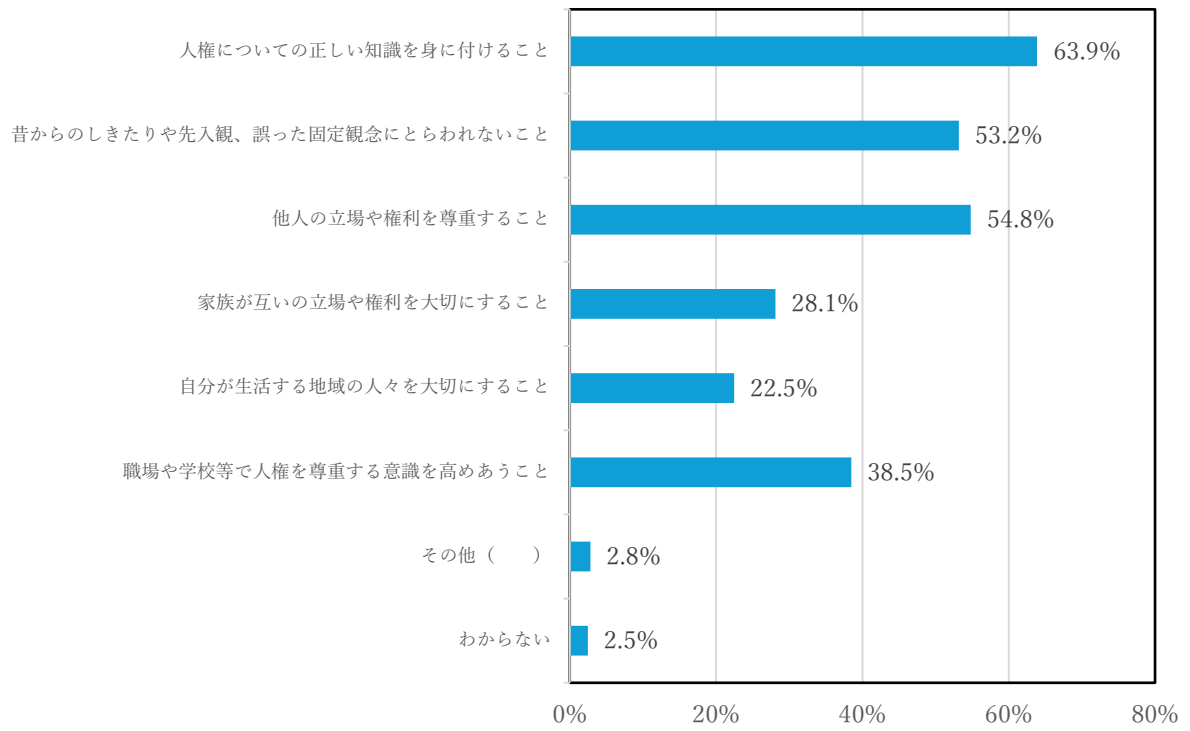
問17 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。(複数回答可)

「人権についての正しい知識を身に付けること」(63.9%)が最も多く、「他人の立場や権利を尊重すること」(54.8%)、「昔からのしきたりや先入観、誤った固定観念にとらわれないこと」(53.2%)が続いた。

表 3-4-1

問17 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。(複数回答可)	回答数	割合
人権についての正しい知識を身に付けること	543	63.9%
昔からのしきたりや先入観、誤った固定観念にとらわれないこと	452	53.2%
他人の立場や権利を尊重すること	466	54.8%
家族が互いの立場や権利を大切にすること	239	28.1%
自分が生活する地域の人々を大切にすること	191	22.5%
職場や学校等で人権を尊重する意識を高めあうこと	327	38.5%
その他()	24	2.8%
わからない	21	2.5%
	無回答	
	無効回答	
	有効回答数(n)	2263

図 3-4-1



■その他の内容 21 件（一部抜粋）

- ◇ 行政等による罰則化 2件
- ◇ 人権は互いにあると自覚すること 【70 歳以上・男性】
- ◇ まずは横須賀市役所に勤務されている方からの意識改革が必要。【50 代・女性】
- ◇ 日頃より隣近所の人々と仲良く助け合って生きていくこと 【70 歳以上・男性】
- ◇ SNS の情報を鵜呑みにしない 【20 代・男性】
- ◇ どう声かけたらいいのか学びたい 【60 代・女性】
- ◇ 命は平等に頂いたもの 【60 代・男性】
- ◇ まず自分の人権を大切にすること 【50 代・女性】
- ◇ 他者が嫌だと感じるような行動を回避すること 【15～19 歳・男性】
- ◇ 互いを知るコミュニティ作りをすること 【15～19 歳・女性】
- ◇ 日本は協調性を重んじる傾向があるが、エンバシーを身につける事、自己の価値観を理解する文化的背景が出来れば良いと思う 【60 代・女性】
- ◇ その他意見 9件

■属性別の特徴

性別：男女で大きな差は見られず、男女ともに「人権についての正しい知識を身に付けること」（男性 64.5%、女性 63.8%）が最も多かった。

男性は「他人の立場や権利を尊重すること」（56.4%）、「昔からのしきたりや先入観、誤った固定観念にとらわれないこと」（49.4%）が続いた。

女性は「昔からのしきたりや先入観、誤った固定観念にとらわれないこと」（57.0%）、「他人の立場や権利を尊重すること」（53.7%）が続いた。

年齢：世代間で大きな差はみられないが、「家族が互いの立場や権利を大切にすること」は、他の年齢層に比べて 30 代と 40 代で割合が高かった。また、「職場や学校等で人権を尊重する意識を高め合うこと」は、他の年齢層に比べて 30 代と 60 代で割合が高かった。

図 3-4-1-1 (性別)

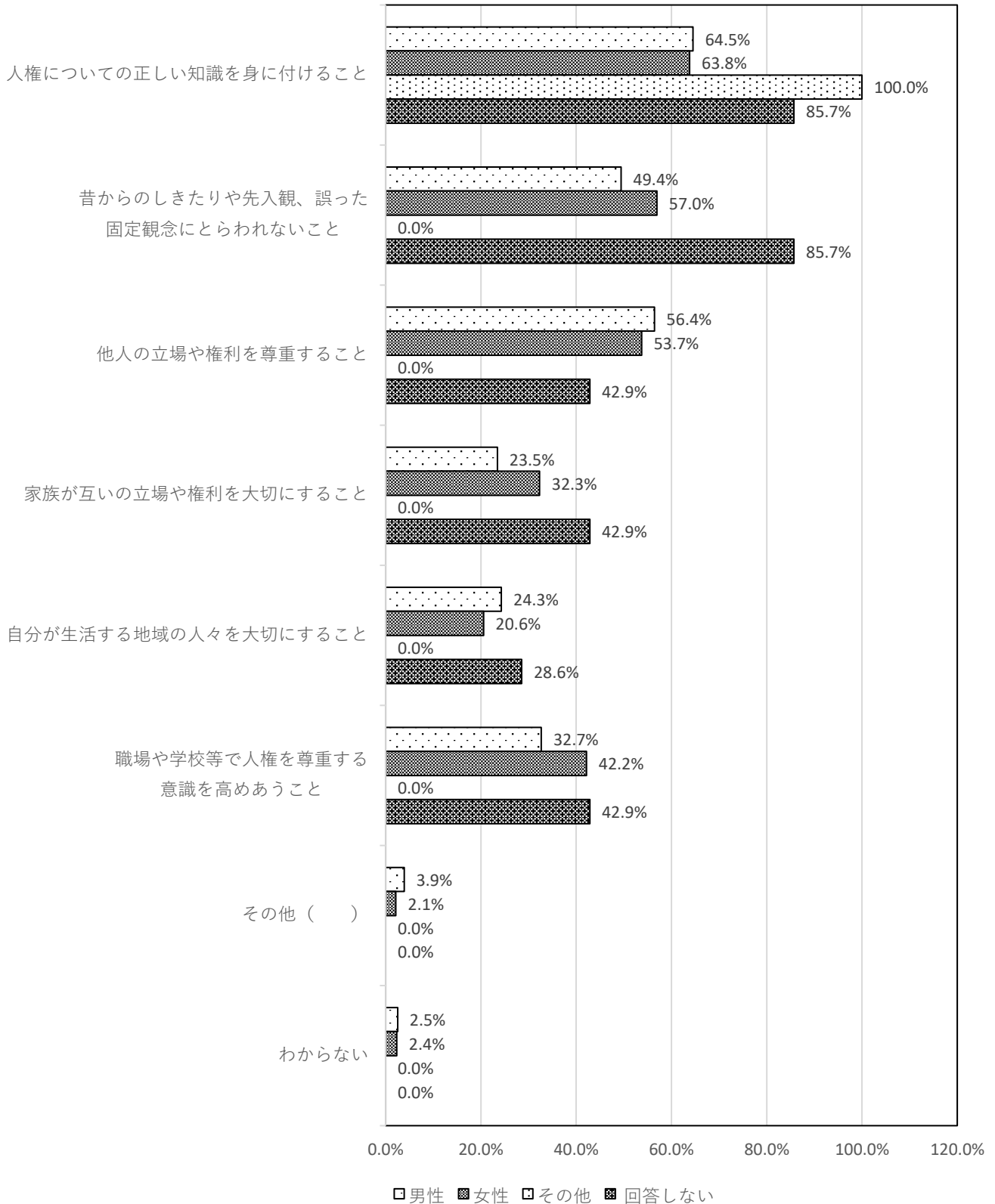
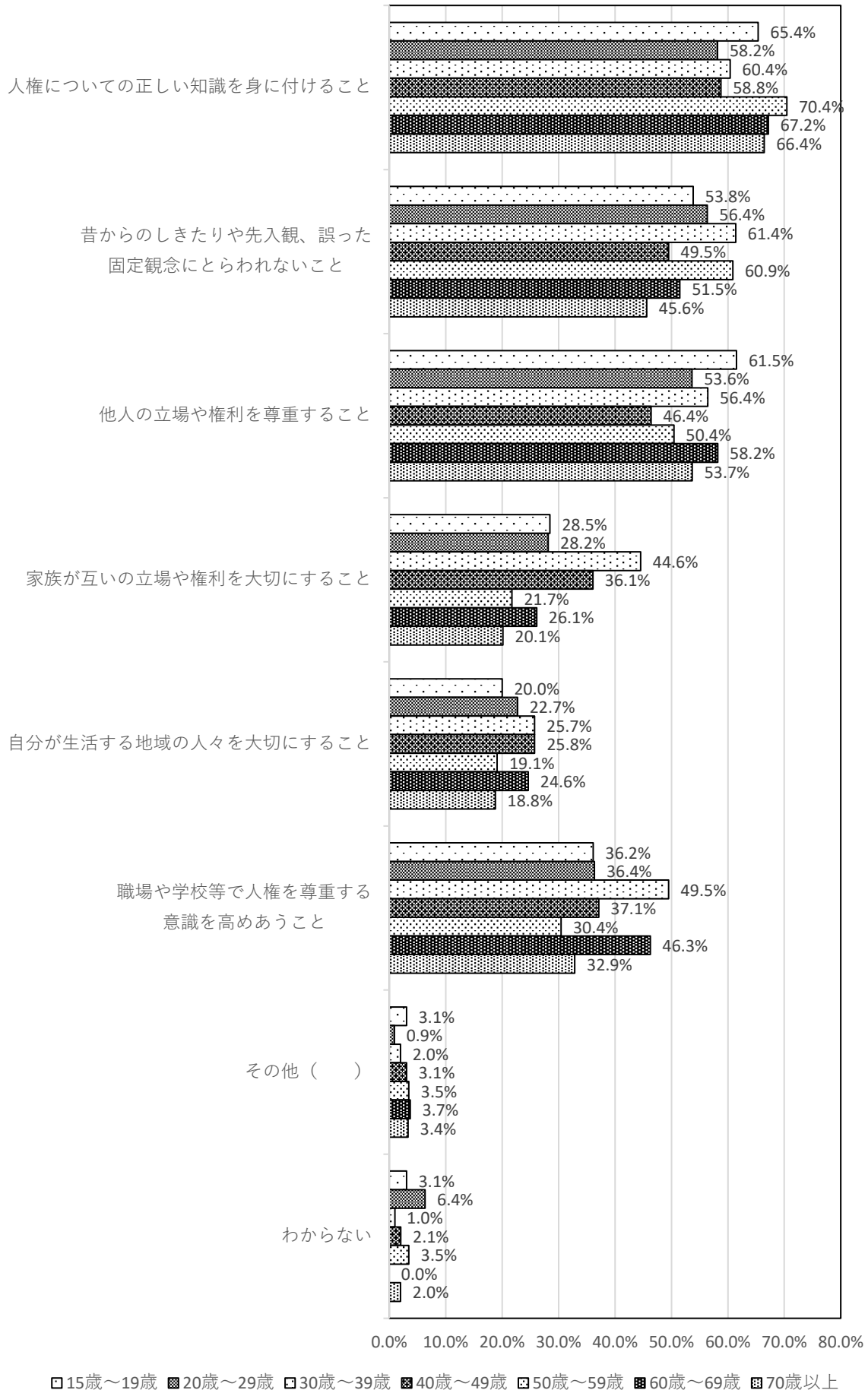


図 3-4-1-2 (年齢別)



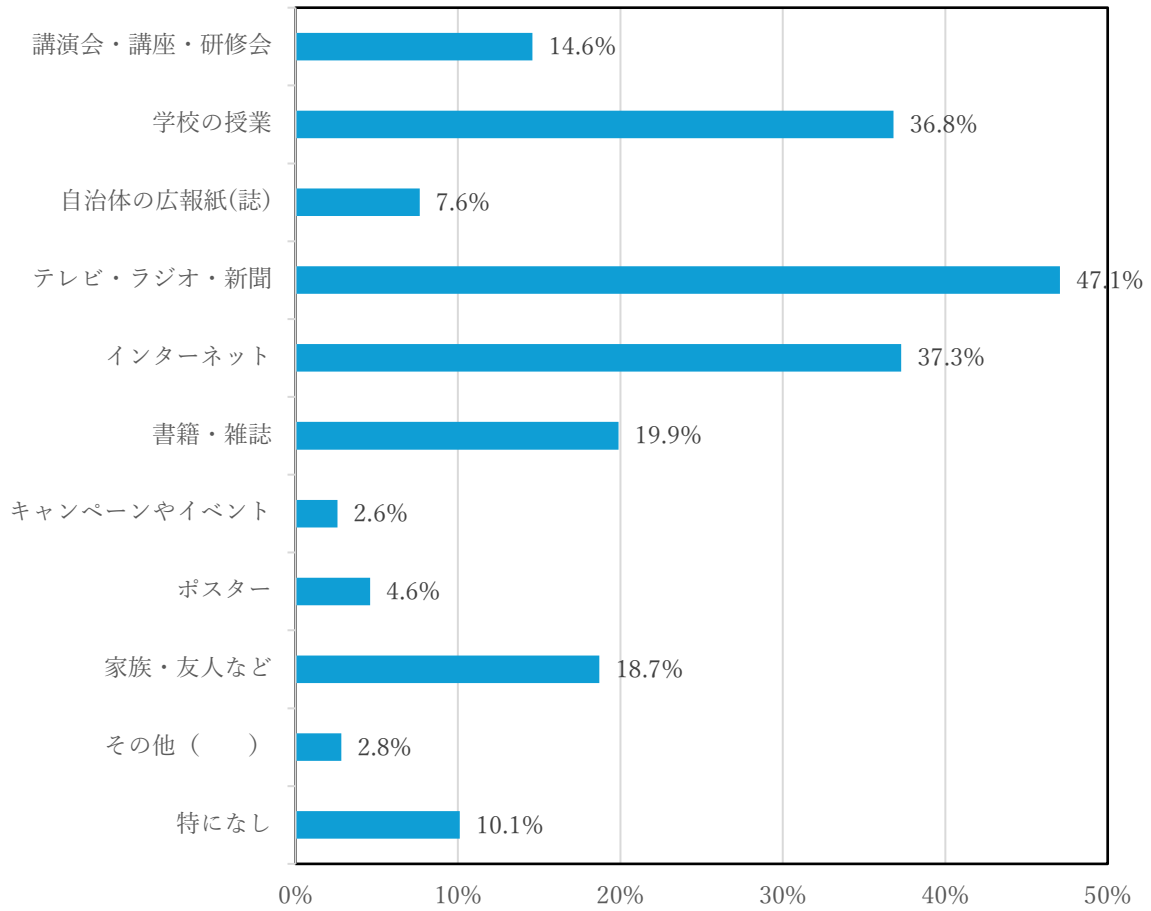
問18 あなたの人権問題に関する知識や情報は何かから得ましたか。(複数回答可)

「テレビ・ラジオ・新聞」(47.1%)が最も多く、「インターネット」(37.3%)、「学校の授業」(36.8%)が続いた。

表 3-4-2

問18 あなたの人権問題に関する知識や情報は何かから得ましたか。(複数回答可)	回答数	割合
講演会・講座・研修会	124	14.6%
学校の授業	313	36.8%
自治体の広報紙(誌)	65	7.6%
テレビ・ラジオ・新聞	400	47.1%
インターネット	317	37.3%
書籍・雑誌	169	19.9%
キャンペーンやイベント	22	2.6%
ポスター	39	4.6%
家族・友人など	159	18.7%
その他()	24	2.8%
特になし	86	10.1%
	無回答	23
	無効回答	0
	有効回答数 (n)	1718

図 3-4-2



■その他の内容 23 件（一部抜粋）

- ◇ 職場の研修 12 件
- ◇ 支援者 【30 代・女性】
- ◇ 平和である現在、特に人権問題を身近に感じることなく日常生活を送っている。このような問題をかかえ苦しんでいる人たちもいるということを知りたいです 【70 歳以上・女性】
- ◇ 自身の経験、年齢を重ねた事で考え方に柔軟性が生まれた事 【60 代・男性】
- ◇ このアンケート 【70 歳以上・男性】
- ◇ 海外居住経験 【60 代・女性】

■属性別の特徴

性別：男女で大きな差は見られず、男女ともに「テレビ・ラジオ・新聞」（男性 46.6%、女性 47.8%）が最も多かった。

男性は「インターネット」（38.3%）、「学校の授業」（34.6%）が続いた。

女性は「学校の授業」（39.6%）、「インターネット」（36.4%）が続いた。

年齢：「学校の授業」や「インターネット」は、他の年齢層に比べて年齢層の低い世代で割合が高い傾向にあった。また、「テレビ・ラジオ・新聞」や「書籍・雑誌」は、他の年齢層に比べて年齢層の高い世代で割合が高い傾向にあった。

図 3-4-2-1 (性別)

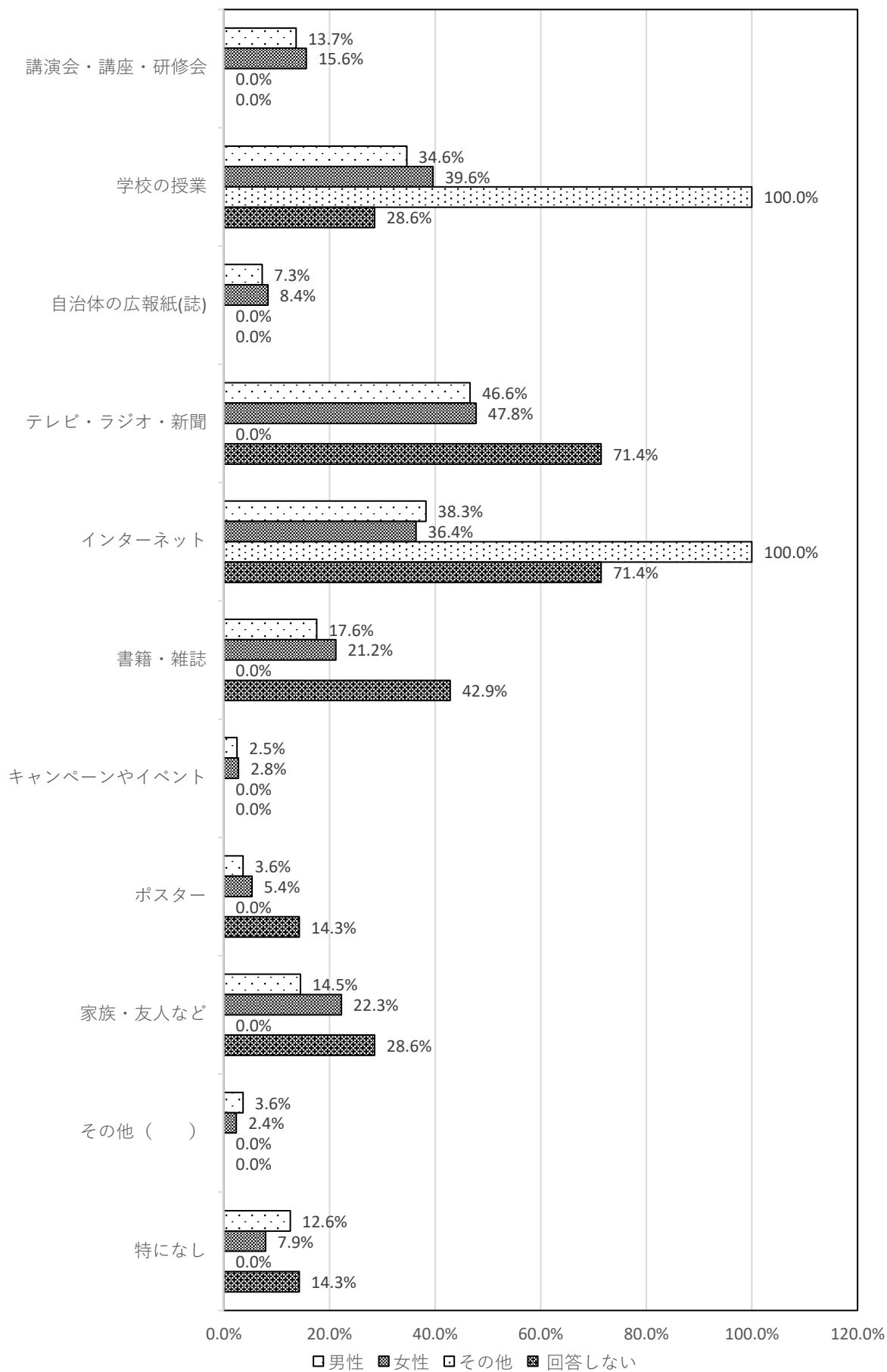
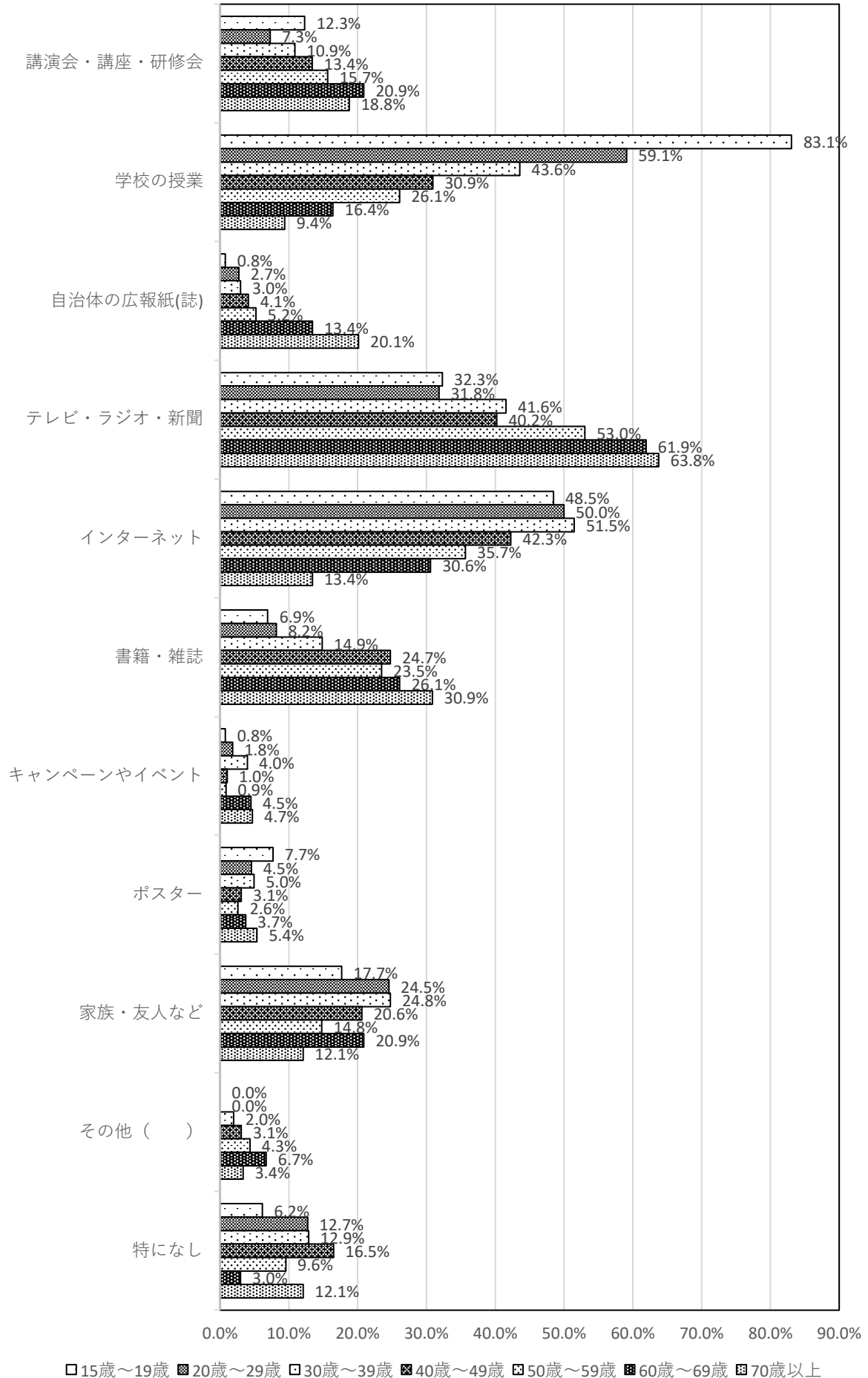


図 3-4-2-2 (年齢別)



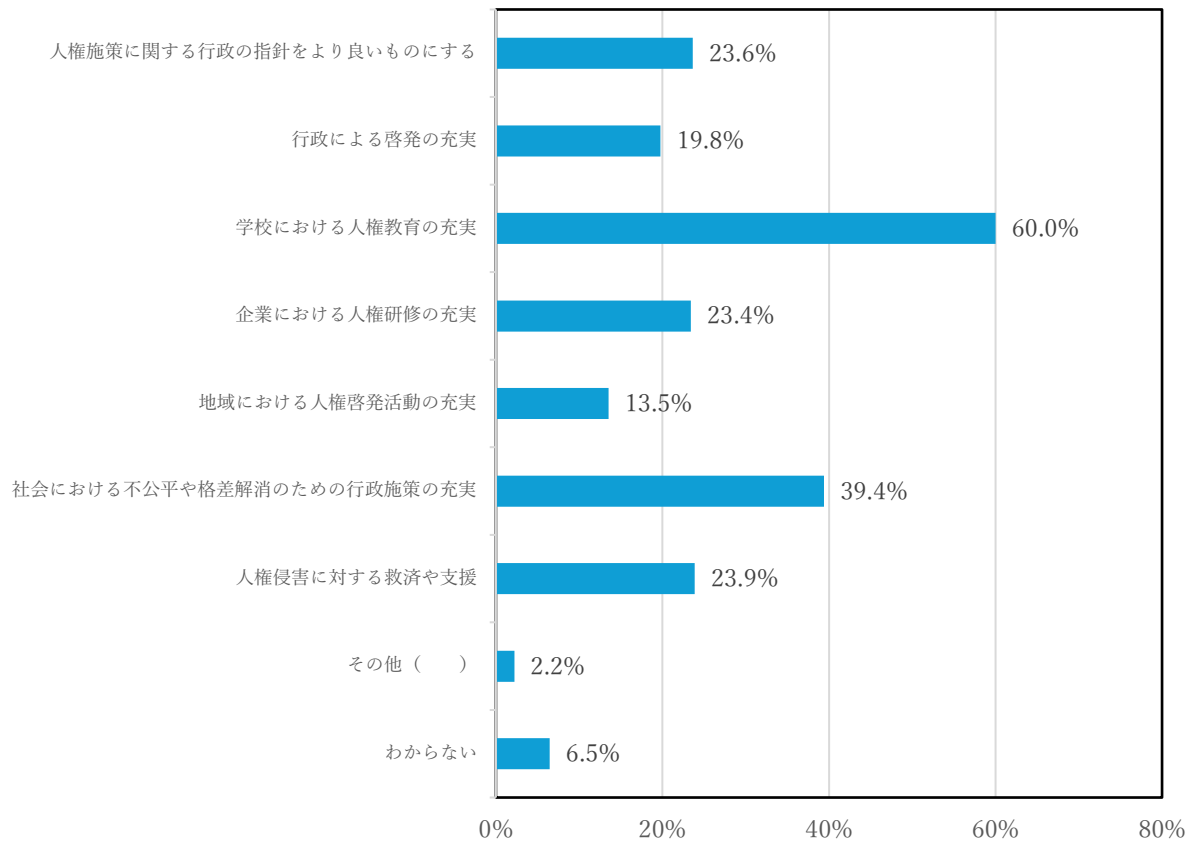
問 19 人権意識の向上のために力を入れるべき取組みはどのようなことだと思いますか。
(特に思うことを3つ以内)

「学校における人権教育の充実」(60.0%)が最も多く、「社会における不公平や格差解消のための行政施策の充実」(39.4%)、「人権侵害に対する救済や支援」(23.9%)、「人権施策に関する行政の指針をより良いものにする」(23.6%)、「企業における人権研修の充実」(23.4%)が続いた。

表 3-4-3

問19 人権意識の向上のために力を入れるべき取組みはどのようなことだと思いますか。 (特に思うことを3つ以内)	回答数	割合
人権施策に関する行政の指針をより良いものにする	201	23.6%
行政による啓発の充実	168	19.8%
学校における人権教育の充実	510	60.0%
企業における人権研修の充実	199	23.4%
地域における人権啓発活動の充実	115	13.5%
社会における不公平や格差解消のための行政施策の充実	335	39.4%
人権侵害に対する救済や支援	203	23.9%
その他 ()	19	2.2%
わからない	55	6.5%
	無回答	21
	無効回答	9
	有効回答数 (n)	1805

図 3-4-3



■その他の内容 18 件（一部抜粋）

- ◇ 家庭内での教育 3 件
- ◇ インターネット等も含めてメディアでとりあげる 2 件
- ◇ 各家庭内で子供のうちから人権に関する事柄を教育することが必要で、そのサポートを学校でする事がいいのではないかと思う 【40 代・女性】
- ◇ 家庭環境の充実 【50 代・女性】
- ◇ 幼い頃の教育が人権意識を高めることにつながるので、学校だけではなく親も人権を学び、子に教えることができるような取組み 【15～19 歳・男性】
- ◇ 指針となる法整備がないと自分の都合の良いように考えたり、感情的になる人物をコントロール出来ない 【60 代・男性】
- ◇ 厳罰化 【30 代・男性】
- ◇ 興味深い見出しの人権に関する問題の動画をあげる 【15～19 歳・女性】

■属性別の特徴

性別：男女で大きな差は見られず、男女ともに「学校における人権教育の充実」（男性 56.1%、女性 63.4%）が最も多く、「社会における不公平や格差解消のための行政施策の充実」（男性 36.0%、女性 42.4%）が続いた。

年齢：全ての年齢層で「学校における人権教育の充実」が最も多かった。

図 3-4-3-1 (性別)

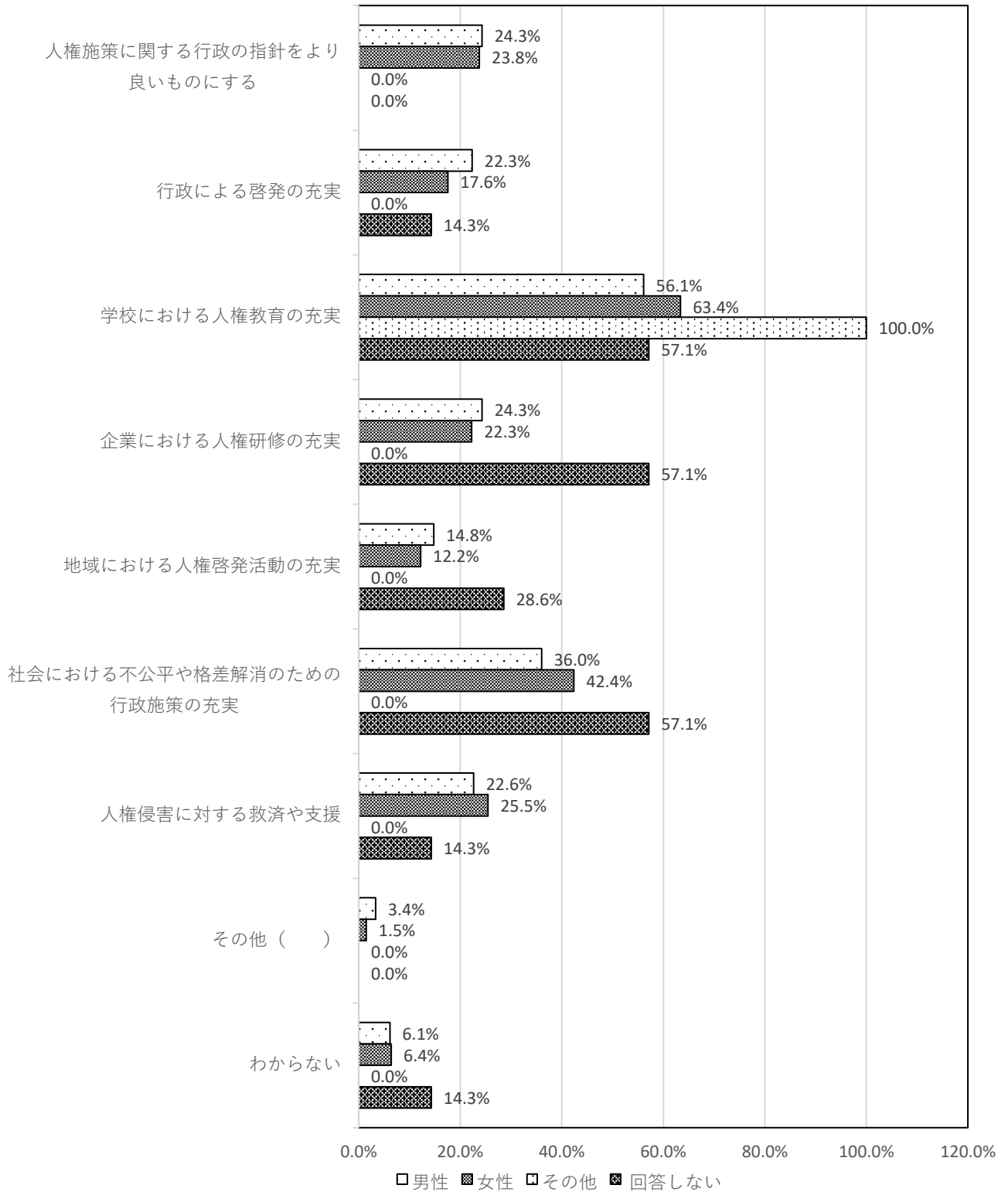
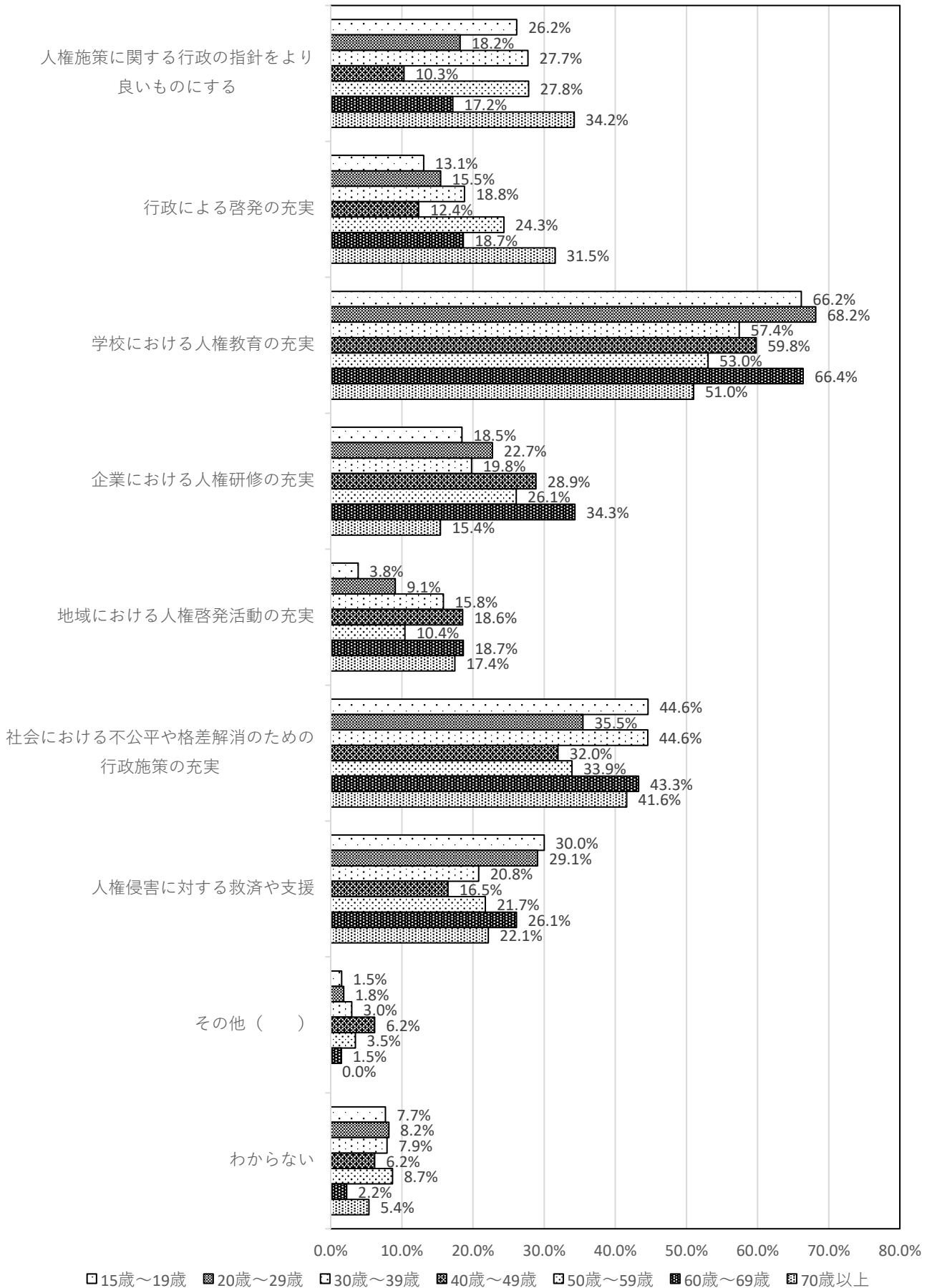


図 3-4-3-2 (年齢別)



問 20 人権全般に関することで、ご意見などがありましたら自由にご記入ください。

<自由意見> 194 件別紙のとおり

4 アンケート用紙

「横須賀市市民人権意識調査」ご協力をお願い

「人権」とは、だれもが生まれたときから平等に持っている大切な権利です。

横須賀市では私たち一人ひとりが「人権」を大切にし、お互いを認め合い、安心して暮らせるまちづくりを進めていくために、「横須賀市人権都市宣言」を行い、人権擁護のための様々な取組みを進めています。人権が守られる地域社会の実現のためには、市民の皆さまのご意見や日頃感じていることがとても大切です。

この市民人権意識調査を通してお寄せいただいた声は、人権施策推進指針の改定や今後の横須賀市の人権に関する取組みの参考とさせていただきます。ぜひ多くの方のお考えを伺いたく、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年(2025年)6月

横須賀市長 上地 克明

回答目安時間 10分～15分程度

皆さまの声をお聞かせください！

○ アンケート調査について

- ・ 調査は、無記名で実施します。**回答者が特定されることは一切ありません。**
- ・ 調査票は、住民基本台帳（2025年5月31日現在）から無作為に抽出した15歳以上の2,000人の皆さまにお送りしています。調査結果は、後日、市ホームページなどで公表します。

○ 回答方法について

次の①、②のいずれかの方法でご回答ください。

① 調査票（この冊子）で回答

- ・ 設問ごとに「○は1つ」などと指定していますので、あてはまる番号に○を付けてください。
 - ・ 調査票(この冊子)は、同封の返信用封筒(切手不要です。)に入れ、郵便ポストに投函してください。
- ※ 表紙(この紙)は取らずに、このまま投函をお願いします。

② パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答

【オンライン回答ページ (e-kanagawa 電子申請システム)】

https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0531/2507resident_survey_limited0531.html

- ・ ブラウザのURL欄に上記URLを入力して画面を開いてください。
(スマートフォンからは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。)
- ・ 回答の際は、はじめに以下の「オンライン回答用パスワード」を入力してください。



オンライン回答用パスワード _____

7月29日(火)まで に、ご回答(ご投函)をお願いします。

- お問い合わせ先 この調査に関するご不明な点は、下記部署までお問い合わせください。

横須賀市 市長室 人権・ダイバーシティ推進課
電話 046(822)8219(直通)
メール we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

令和7年度 横須賀市市民人権意識調査

調査票

■ご記入にあたって

- ① 設問は、選択肢の中からご自分の考えに最も近いものを選ぶ「選択式」です。
あてはまる番号を選んで○で囲んでください。
- ② 設問によっては、1つではなく複数の選択肢を選んでいただく場合があります。

0 はじめに、あなた自身のことについて伺います

①から⑤それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。

① 性別 ※	1 男性 2 女性 3 その他 4 回答しない
② 年齢	1 15歳～19歳 4 40歳～49歳 6 60歳～69歳 2 20歳～29歳 5 50歳～59歳 7 70歳以上 3 30歳～39歳
③ 働き方等	1 正社員・正職員 5 家事専業・無職 2 契約・派遣社員 6 学生 3 パート・アルバイト 7 その他 4 自営業
④ 結婚していますか	1 している（事実婚・パートナーシップを含む） 2 していない（離別・死別含む）
⑤ 未成年（18歳未満）のお子さんはいますか	1 いる 2 いない

※ 多様な性の視点から、選択肢に「その他」「回答しない」を設けています。
身体上、戸籍上の性別に関わらず、ご自身がどんな性別であると感じているか（性自認）に○をお願いします。

1 人権問題への関心について伺います

問1 あなたは、どの人権問題に関心がありますか。(複数回答可)

- 1 男女共同参画(ジェンダー平等)
- 2 子どもの人権
- 3 高齢者の人権
- 4 障害者の人権
- 5 部落差別(同和問題)
- 6 外国につながる人々の人権
- 7 患者等の人権
- 8 性的マイノリティの人々の人権
- 9 自殺(自死)者、自殺により残された人々の人権
- 10 インターネットによる人権侵害
- 11 災害時における人権侵害
- 12 犯罪被害者およびその家族の人権
- 13 刑を終えて出所した人や犯罪者の家族の人権
- 14 路上生活者(ホームレス)・生活困窮者の人権
- 15 就労支援を必要とする人々の人権
- 16 職場における人権侵害
- 17 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題
- 18 アイヌ民族の人権問題
- 19 その他()
- 20 ない

問2 問1で選んだ理由をご記入ください。(任意回答)

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

問3 あなたは世の中の人権意識は高くなっていると感じますか。(あてはまるもの1つ)

- 1 感じる
- 2 どちらかといえば感じる
- 3 どちらかといえば感じない
- 4 感じない

問4 あなたは横須賀市で行っている人権に関する取組みについて、どのようなものをご存じですか。(複数回答可)

- 1 講演会・講座の開催
- 2 広報紙(誌)への記事の掲載
- 3 ホームページへの情報の掲載
- 4 チラシ・リーフレットなどの配布
- 5 学校における人権啓発活動
- 6 パートナーシップ宣誓証明制度
- 7 くらしの人権相談
- 8 ピンクシャツデー運動
- 9 人権施策推進指針の制定
- 10 その他()
- 11 知っているものはない

2 いじめや差別に関して伺います

問5 あなたはこれまでに、他人に対して「いじめ」や「差別」をしたことがありますか。
ある場合は、何についていじめや差別をしたことがありますか。(複数回答可)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 年齢 | 9 性的指向・性自認・性表現 |
| 2 学歴・出身校 | 10 人種・民族・国籍 |
| 3 容姿 | 11 被差別部落出身 |
| 4 職業・収入・財産 | 12 思想・信条・宗教 |
| 5 家柄・家庭環境 | 13 その他() |
| 6 障害(精神、身体、知的) | 14 いじめや差別をしたことはない |
| 7 病気・疾病 | |
| 8 性別 | |

問6 あなたはこれまでに、「いじめ」や「差別」をされたことがありますか。
ある場合は、何についていじめや差別をされましたか。(複数回答可)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 年齢 | 9 性的指向・性自認・性表現 |
| 2 学歴・出身校 | 10 人種・民族・国籍 |
| 3 容姿 | 11 被差別部落出身 |
| 4 職業・収入・財産 | 12 思想・信条・宗教 |
| 5 家柄・家庭環境 | 13 その他() |
| 6 障害(精神、身体、知的) | 14 特に理由なくいじめや差別された |
| 7 病気・疾病 | 15 いじめや差別をされたことはない |
| 8 性別 | |

※ 用語解説

【性的指向】(好きになる性)

恋愛や性愛の対象となる性のこと。異性愛、同性愛、両性愛などもあれば、いずれの性別にも性的関心や恋愛感情を感じない(もたない)無性愛もあります。

【性自認】(心の性)

自分が思う自分の性のこと。体の性と異なる場合もあれば、男女のどちらでもあると感じる人、どちらでもないと感じる人もいます。

【性表現】(表現する性)

言葉遣いやファッションなど、自分を表現する性のこと。身体的な特徴に限らず、外見・言動・態度など様々な方法で自分らしさを表す人もいます。

3 様々な人権問題について伺います

問7 子どもの人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

- 1 子ども同士で仲間はずれや無視、暴力や嫌がらせなどのいじめがあること
- 2 教師やコーチ等からたたかれる、暴言を言われるなどの体罰を受けること
- 3 親などから暴力や育児放棄(ネグレクト)などの虐待を受けること
- 4 大人から子どもの意見を無視されたり、大人の考えを押しつけられたりすること
- 5 児童買春や児童ポルノなどの性被害があること
- 6 不審者によるつきまといなど、安全が脅かされること
- 7 インターネットや SNS 等を通じてトラブルや犯罪に巻き込まれること
- 8 生まれ育った環境によって将来が左右されたり、貧困が世代を超えて連鎖したりすること
- 9 男の子らしさ、女の子らしさを求められること
- 10 その他 ()
- 11 特に問題を感じない
- 12 わからない

問8 高齢者の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

- 1 家庭や地域社会で孤立した状態に置かれたりすること
- 2 本人の意思が尊重されないこと
- 3 文字の大きさや分かりやすい表現、話し方などのコミュニケーション手段の配慮がされないこと
- 4 悪徳商法や詐欺などの被害を受けること
- 5 アパートや住宅への入居が困難なこと
- 6 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
- 7 家庭内での看護や介護において、虐待があること
- 8 病院や福祉施設内において、虐待があること
- 9 道路の段差解消など、誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと
- 10 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
- 11 その他 ()
- 12 特に問題を感じない
- 13 わからない

問9 障害者の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。

(特に強く感じるもの3つ以内)

- 1 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2 本人の意思が尊重されないこと
- 3 差別的な発言や行為を受けること
- 4 結婚を周囲から反対されること
- 5 アパートや住宅への入居が困難なこと
- 6 働ける場所や能力を発揮する機会が少ないこと
- 7 家庭内での看護や介護において、虐待があること
- 8 病院や福祉施設内において、虐待があること
- 9 病院や福祉施設内において、障害を理由に利用制限があること
- 10 在宅で生活する場合の支援体制が十分でないこと
- 11 道路の段差解消、音声案内の設置などの誰もが暮らしやすいまちづくりが十分に図られていないこと
- 12 学校等の受け入れ体制が十分でないこと
- 13 店舗や施設等を気軽に利用できないこと
- 14 スポーツ、文化活動に気軽に参加できなかったり、地域の人などと交流する機会が少なかったりすること
- 15 手話、筆談、書類の読み上げ、文字へのルビふりなど、障害の特性に応じたコミュニケーション手段をとられないこと
- 16 その他 ()
- 17 特に問題を感じない
- 18 わからない

問 10 あなたは、日本の社会に「部落差別」、「同和問題」などと言われる問題があることを知っていますか。知っている場合、初めて知ったきっかけは何ですか。

- | | |
|---------|----------------|
| 1 知っている | 2 知らない（問 13 へ） |
|---------|----------------|

問 10 で知っているとお答えの方。初めて知ったきっかけについてもお答えください。

- | |
|-----------------------|
| 1 家族(父母、きょうだいなど)から聞いた |
| 2 親戚の人から聞いた |
| 3 近所の人から聞いた |
| 4 学校の友達から聞いた |
| 5 学校の授業で教わった |
| 6 職場の人から聞いた |
| 7 テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った |
| 8 インターネットで知った |
| 9 同和問題に関する研修会で知った |
| 10 自治体の広報紙(誌)などで知った |
| 11 その他 () |
| 12 わからない |

問 11 被差別部落(同和地区)出身の人との結婚について、お尋ねします。

- ① これから自分が結婚しようとする相手が被差別部落(同和地区)出身の人であると
わかった場合どうしますか。 (あてはまるもの1つに○)

- 1 相手の出身は気にせず、結婚する
- 2 親や親戚の反発があっても説得し、意志を貫いて結婚する
- 3 親や親戚の反発があれば関係を解消する
- 4 結婚は取りやめる
- 5 その他 ()
- 6 わからない

- ② もし、あなたの子どもの結婚相手が被差別部落(同和地区)出身の人であると
わかった場合あなたは どうしますか。 (あてはまるもの1つに○)

- 1 子どもの意志を尊重し、認める
- 2 親戚や周りの人間から反対があっても、親として認める
- 3 親戚や周りの人間から反対があれば、認めない
- 4 絶対に認めない
- 5 その他 ()
- 6 わからない

問 12 部落差別(同和问题)で問題があると思うものはどのようなことですか。
(特にそう思うもの3つ以内)

- 1 地域社会で不利な扱いを受けること
- 2 就職・職場において不利な扱いを受けること
- 3 差別的な発言や行為を受けること
- 4 結婚の際に差別を受けること
- 5 身元調査が行われること
- 6 インターネットを利用した差別的な情報が掲載されること
- 7 差別的な落書きがあること
- 8 その他 ()
- 9 特に問題を感じない
- 10 わからない

問13 外国人の人権が守られていないと感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

- 1 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 2 意見や行動、文化などが尊重されないこと
- 3 名前や外見、言葉などを理由にからかわれたり、仲間はずれにされたりすること
- 4 いわゆるヘイトスピーチなどの差別的な発言や行為を受けること
- 5 アパートや住宅への入居が困難なこと
- 6 就職・職場において、賃金や待遇などで不利な扱いを受けること
- 7 施設・道路・鉄道案内の外国語表記など、誰もが暮らしやすいまちづくりが図られていないこと
- 8 外国語で対応できる行政相談窓口や病院・施設が少ないこと
- 9 近隣や地域の人との交流や理解を深める機会が少ないこと
- 10 日本人と同等のサービス(医療、福祉、教育など)が受けられないこと
- 11 外国人である子どもたちが集える居場所がないこと
- 12 その他 ()
- 13 特に問題を感じない
- 14 わからない

問14 エイズやハンセン病、新型コロナウイルスなどの感染者の人権を守るために必要なことは何だと思えますか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

- 1 患者等のプライバシー保護を徹底すること
- 2 市民一人ひとりが感染症等に関する正しい知識を身につけること
- 3 患者等への偏見や差別をなくすための広報・啓発活動を行うこと
- 4 企業などにおいて、人権意識を高める取組みを推進すること
- 5 学校などにおいて、正しい知識や感染者の人権についての教育を充実させること
- 6 患者や家族等のための相談・支援体制を充実させること
- 7 マスメディアやSNSで、不確かな情報が流れないように規制すること
- 8 患者等への人権侵害に対する救済策を強化すること
- 9 その他 ()
- 10 特にない
- 11 わからない

問15 インターネット上で人権問題があると感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

- 1 誹謗中傷や差別的な表現など、人権を侵害する情報が掲載されていること
- 2 一部の悪質なサイトが犯罪を誘発する場となっていること
- 3 犯罪や事件の関係者などの個人情報および真偽不明の情報が掲載されること
- 4 児童ポルノの温床となっていること
- 5 個人情報などが一度掲載されると拡散し、完全に消去することが困難であること
- 6 インターネット上で人権侵害を受けた人のための相談・支援体制が十分でないこと
- 7 人権を侵害する情報の発信者に対する監視や取締りが十分でないこと
- 8 その他 ()
- 9 特に問題を感じない
- 10 わからない

問16 地震などの災害時において人権問題があると感じることはどのようなことですか。
(特に強く感じるもの3つ以内)

- 1 デマや風評などによる差別的な言動が起きること
- 2 配慮が必要な障害者、高齢者、外国人などに対して、十分な配慮が行き届かないこと
- 3 避難生活でプライバシーが守られないこと
- 4 避難所において、女性や性的少数者に対して、十分な配慮が行き届かないこと
- 5 避難所において、路上生活者(ホームレス)など特定の人拒否されること
- 6 生活環境の変化に伴うストレスによって、いさかい・虐待が起こること
- 7 その他 ()
- 8 特に問題を感じない
- 9 わからない

4 人権を守るための意識について伺います

問17 市民一人ひとりが、人権を尊重しあうために心がけたり、行動すべきこととして、あなたはどのようなことが求められると思いますか。（複数回答可）

- 1 人権についての正しい知識を身に付けること
- 2 昔からのしきたりや先入観、誤った固定観念にとらわれないこと
- 3 他人の立場や権利を尊重すること
- 4 家族が互いの立場や権利を大切にすること
- 5 自分が生活する地域の人々を大切にすること
- 6 職場や学校等で人権を尊重する意識を高めあうこと
- 7 その他（ ）
- 8 わからない

問18 あなたの人権問題に関する知識や情報は何かから得ましたか。（複数回答可）

- 1 講演会・講座・研修会
- 2 学校の授業
- 3 自治体の広報紙(誌)
- 4 テレビ・ラジオ・新聞
- 5 インターネット
- 6 書籍・雑誌
- 7 キャンペーンやイベント
- 8 ポスター
- 9 家族・友人など
- 10 その他（ ）
- 11 特になし

問19 人権意識の向上のために力を入れるべき取り組みはどのようなことだと思いますか。
(特に思うことを3つ以内)

- 1 人権施策に関する行政の指針をより良いものにする
- 2 行政による啓発の充実
- 3 学校における人権教育の充実
- 4 企業における人権研修の充実
- 5 地域における人権啓発活動の充実
- 6 社会における不公平や格差解消のための行政施策の充実
- 7 人権侵害に対する救済や支援
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問20 人権全般に関することで、ご意見などがありましたら自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
ご記入がおわりましたら、同封の返信用封筒にて 7月29日(火)までにご投函をお願いします。

横須賀市市民人権意識調査
調査結果報告書

発行年月日：令和8年（2026年）4月

編集・発行：横須賀市市長室人権・ダイバーシティ推進課

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話：046-822-8219